



【令和7年度 臨床検査学科1年次 時間割表】

<前期>

\*：選択科目

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ~ 10:30	物理学 (齋賀)	人体の構造と機能Ⅰ(解剖学) (山岸)	統計学 (椎橋)	化学Ⅰ (土田)	生物学 (大間)	
2 10:40 ~ 12:10	数学 (鈴木正)	文学* (芳賀) 看1・検1合同	心理学* 検1・工1合同 (大野)	人体の科学入門 (柴崎)	英語Ⅰ (上滝)	
3 13:10 ~ 14:40	物理学実験 (鈴木正)	倫理学* (野々村) 検1・工1合同	情報科学実習 (水谷)	基礎臨床検査技術 (小野川)	生物学実験 (川村)	
	化学実験 (森口)		人体の構造と機能Ⅱ(生理学) (藤原)	人体の構造と機能Ⅰ(解剖学) (山岸)		
4 14:50 ~ 16:20	物理学実験 (鈴木正)	情報科学実習 (水谷)	情報科学実習 (水谷)	基礎臨床検査技術 (小野川)		
	化学実験 (森口)	臨床検査概論 (小野川)	基礎臨床検査技術 (小野川)	人体の構造と機能Ⅰ(解剖学) (山岸)		
5 16:30 ~ 18:00	物理学実験 (鈴木正)	情報科学実習 (水谷)				
	化学実験 (森口)					

<後期>

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ~ 10:30		スポーツ科学* (古泉)	化学Ⅱ (森口)	医療の基本Ⅰ (辻)	ドイツ語* (マルクス) 検1・理1合同	
2 10:40 ~ 12:10	哲学* (ジリオ)	病理学 (木下)	人体の構造と機能Ⅲ(生化学A) (伴場)		人体の構造と機能Ⅱ(生理学) (藤原)	
3 13:10 ~ 14:40	英会話* (上滝)	人体の構造と機能Ⅰ(解剖学) (山岸)	情報科学 (鈴木康)	基礎臨床検査技術 (小野川)	人体の構造と機能Ⅱ(生理学実験) (藤原)	
		情報科学実習 (水谷)		情報科学実習 (水谷)		
4 14:50 ~ 16:20	英語Ⅱ (上滝)	人体の構造と機能Ⅰ(解剖学) (山岸)	社会学* (勝野) 検1・工1合同	基礎臨床検査技術 (小野川)		
		人体の構造と機能Ⅱ(生理学) (藤原)		情報科学実習 (水谷)		
5 16:30 ~ 18:00	法学* (植田) 看1・検1・工1合同					

※日程の詳細は、シラバスにて確認すること。

令和7年度学事予定(臨床検査学科)

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
											1	1		1	1	1	1	2	2		2	2	2	2	3	3		3		3	
	春季休暇 (4/1~6)						入学式	新入生オリエンテーション			前期授業開始 ①	②							③					④	昭和の日	④					
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	3	4					4	4	5	4		4	3	5	5	6	5		5	4	6	6	7	6		6	5	7	7	8	7
	④	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日	⑤						⑥						⑦					⑧								
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
		7	6	8	8	9	8		8	7	9	9	10	9		9	8	10	10	11	10		10	9	11	11	12	11		11	
	⑨						⑩						⑪						⑫					⑬							
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	10	12	12	13	12		12	11	13	13	14	13		13	12	14	14	15	14		14	13	15	15	16	15		15	14	16	16
	⑬						⑭						⑮						海の日	⑯					⑰	前期授業終了⑰					
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	夏季休暇 (8/1~31)										山の日	夏季休暇 (8/1~31)															修士課程入試 第1回				
	夏季休暇 (8/1~31)										山の日	夏季休暇 (8/1~31)															修士課程入試 第1回				
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
																													1	1	
	前期定期試験						前期定期試験						敬老の日	追・再試験					追・再試験	秋分の日	追・再試験	補習・自習	自己学習	編入学/総合型選抜	後期授業開始	①					

1年生行事日程等	2年生行事日程等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式:4月7日(月)</li> <li>・オリエンテーション:4月9日(水)</li> <li>・前期授業開始:4月11日(金)</li> <li>・定期健康診断:4月10日(木)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション:4月10日(木)</li> <li>・前期授業開始:4月11日(金)</li> <li>・定期健康診断:3月21日(金)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション:</li> <li>・後期授業開始:9月29日(月)</li> <li>・就職説明会:10月から11月(予定)</li> <li>・自己分析講座:12月(予定)</li> <li>・臨床検査技師国家試験プレ模擬試験:3月(国試受験希望者必須)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション:</li> <li>・後期授業開始:9月29日(月)</li> <li>・就職説明会:10月から11月(予定)</li> <li>・自己分析講座:12月(予定)</li> <li>・臨床検査技師国家試験プレ模擬試験:3月(国試受験希望者必須)</li> </ul>
※(予定)は実施する場合には詳細を掲示等で連絡	※(予定)は実施する場合には詳細を掲示等で連絡

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	1	1	1	1		2	2	2	2	2/				3	3	3	3/2	2		3	4	4	4	4/3			4	5	5	5	5/4
	①			領域別実習要件	②				越華祭	スポーツの日	③				④				総合型選抜試験	⑤											
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
	3		5	6	6	6	6/5	4		6	7	7	7	7/6	5		7	8	8	8	8/7	6		9	9	9	9/8	7			
	解剖体慰霊祭	文化の日	⑥				⑦				⑧				学校推薦型試験	振替休日	⑨														
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	8	10	10	10	10/9	8		9	11	11	11	11/10	9		10	12	12	12	12/11	10		11	13	13							
	⑩				⑪				⑫				⑬				冬季休暇 (12/25~1/3)														
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					12	14	14	13	13/12				15	15	14	14/13	11		13	16	16	15	15/14	12		14					
	冬季休暇 (12/27~1/3)			⑭				修士課程入試 第2回	成人の日	⑮				⑯				後期授業終了 ⑰	補習・自習			自己学習									
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
	一般選抜	補習・自習	後期定期試験				後期定期試験		建国記念の日	後期定期試験		後期定期試験		追・再試験		天皇誕生日	追・再試験			総合型選抜											
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	補習・自習				謝卒業 会式	補習・自習				春分の日				補習・自習																	

※入学試験予定日は、大学構内への立ち入りおよび講義室・セミナー室使用を制限します。

3年生行事日程等	4年生行事日程等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション:4月10日(木)</li> <li>・前期授業開始:4月11日(金)</li> <li>・定期健康診断:3月28日(金)</li> <li>・就職活動スタートアップ講座:6月(予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション:4月1日(火)</li> <li>・前期授業開始:4月11日(金)</li> <li>・定期健康診断:4月1日(火)</li> <li>・ハローワーク講師による面接対策(4月)</li> <li>・卒業研究発表会:8月(予定)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション:</li> <li>・後期授業開始:9月29日(月)</li> <li>・就職説明会:10月から11月(予定)</li> <li>・面接ワークショップ:10月から11月(予定)</li> <li>・臨床検査技師国家試験プレ模擬試験:3月(国試受験希望者必須)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション:</li> <li>・臨床検査技師国家試験模擬試験(8月~2月)</li> <li>・後期授業開始:9月29日(検査学特論、他)</li> <li>・卒業研究論文提出締切:10月下旬</li> <li>・検査学特論試験(12月)</li> <li>・国家試験補講(12月~2月)</li> <li>・第72回臨床検査技師国家試験(2月中旬)</li> </ul>
※(予定)は実施する場合には詳細を掲示等で連絡	※(予定)は実施する場合には詳細を掲示等で連絡

# 目 次

## 科目名(科目責任者)

### <基礎科目>

#### —人文科学—

倫理学(野々村 伊純) .....	9
哲学(ジリオ、インヌエル・ダビデ) .....	12
心理学(大野 美佐子) .....	19
文学(芳賀 祥子) .....	23

#### —社会科学—

法学(植田 俊太郎) .....	26
社会学(勝野 有美) .....	29

#### —数学・自然科学—

人体の科学入門(柴崎 智美) .....	33
統計学(椎橋 実智男) .....	37
数学(鈴木 正) .....	41
物理学(齋賀 康宏) .....	44
物理学実験(鈴木 正) .....	48
化学Ⅰ(土田 敦子) .....	53
化学Ⅱ(森口 武史) .....	57
化学実験(森口 武史) .....	60
生物学(大間 陽子) .....	64
生物学実験(川村 勇樹) .....	68

#### —外国語—

英語Ⅰ(上滝 圭介) .....	75
英語Ⅱ(上滝 圭介) .....	79
英会話(上滝 圭介) .....	84
ドイツ語(マルクス・フォン・フライベルク) .....	88

#### —体育—

スポーツ科学(古泉 一久) .....	91
---------------------	----

### <専門基礎科目>

#### —医療の基本—

医療の基本Ⅰ(コミュニケーション、患者-医療人関係)(辻 美隆) .....	95
--	----

#### —基礎医学系—

人体の構造と機能Ⅰ(解剖学)(山岸 敏之) .....	99
人体の構造と機能Ⅱ(生理学)(藤原 智徳) .....	105
人体の構造と機能Ⅲ(生化学A)(伴場 裕巳) .....	111
人体の構造と機能Ⅱ(生理学実験)(藤原 智徳) .....	115
病理学(木下 勇一) .....	129

### <専門科目>

#### —臨床検査系—

臨床検査概論(小野川 傑) .....	128
基礎臨床検査技術(小野川 傑) .....	131

—総合科目—

情報科学 (鈴木 康文) .....	137
情報科学実習 (水谷 諭史) .....	141

講義名	倫理学		
(副題)	基礎科目 (人文科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 野々村 伊純	非常勤教員 (大学外部)

担当教員	野々村伊純
科目の目標	今日の医療現場における倫理的諸問題についての基本的な知識と、実際にそれらの問題について思考する能力を身につける。また、より一般的に哲学的なものごとを考えるための能力を身につける。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自己決定権・パターナリズム等の基本的な諸概念について正しく説明できる。</li> <li>2) 生殖補助医療の現状と、それにまつわる倫理的な問題について説明できる。</li> <li>3) 人工妊娠中絶についての基本的な知識を獲得し、それにまつわる倫理的な問題について説明できる。</li> <li>4) 脳死、ターミナル・ケア、安楽死、尊厳死等、死をめぐる諸問題について理解し、説明できる。</li> <li>5) 現象学的人間論を観点に治療をめぐる諸問題について理解し、説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	ガイダンス		
	授業内容	1. 半年間の講義の概要を確認する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	倫理学とは何か		
	授業内容	1. 生命倫理学がどのような問題を扱う思考の営みであるのかを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月26日(土)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	自己決定権①		

授業内容	1. 自己決定権についての基礎的な知識を獲得し、その歴史的経緯を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	自己決定権②		
	授業内容	1. 医療現場における自己決定権の現状と、それにまつわる倫理的問題を検討することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	生殖補助医療技術①		
	授業内容	1. 生殖補助医療の現状について基本的な知識を獲得し、この問題についての基本的な論点を説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	生殖補助医療技術②		
	授業内容	1. 前回の授業において得られた理解に基づいて、生殖補助医療にまつわる倫理的問題を検討することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	人工妊娠中絶①		
	授業内容	1. 人工妊娠中絶がどういった権利として思考されてきたか、その歴史を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	人工妊娠中絶②		
	授業内容	1. 前回の授業において得られた理解に基づいて、人工妊娠中絶に関する倫理的問題をさらに考えることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	人工妊娠中絶③		
	授業内容	1. 日本における中絶の現状を理解し、前回の授業までに得られた考え方に基いて倫理的に検討することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	脳死・臓器移植		
	授業内容	1. 脳死・臓器移植に関する歴史を理解し、脳死および臓器移植にまつわる倫理的問題を検討することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		

テーマ	安楽死・尊厳死①			
授業内容	1. 安楽死・尊厳死について、その歴史と現状を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	安楽死・尊厳死②		
	授業内容	1. 前回の授業において得られた理解に基づいて、安楽死・尊厳死にまつわる倫理的問題を検討することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	医療ケアと現象学的倫理学①		
	授業内容	1. 医療ケアにおける現状を現象学的に理解し、説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	医療ケアと現象学的倫理学②		
	授業内容	1. 前回の授業において得られた理解に基づいて、医療とケアの倫理にまつわる議論を検討することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	野々村		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 講義全体のまとめを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 前期定期試験期間に筆記試験を行う。 2. 内容は全範囲(語句記入問題および記述問題) 3. 再試験は行わない。			
教科書	授業毎に、内容に沿ったレジュメと資料を適宜配布する。			
参考書	レイチェルズ著(次田恵和訳)『新版 現実をみつめる道徳哲学——安楽死・中絶・フェミニズム・ケア』 (晃洋書房、2017年)			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどは授業後に教室にて受け付ける。 随時メールにて相談を受け付ける。メールアドレスは初回の授業にて通達する。			
履修上の注意、履修要件	毎回の授業終了時に次回の授業のテーマを通達し、適宜資料を配布するので、それを使って予習すること。 放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して、授業中に紹介した文献などを図書館等で 入手して読み、学習内容を深めること。また、授業の内容に関連するニュースの存在を日ごろから気にかけて いることが望ましい。			

講義名	哲学		
(副題)	基礎科目 (人文科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ GIGLIO Emanuele Davide	非常勤教員 (大学外部)

担当教員	ジリオ、インマヌエル・ダビデ
科目の目標	<p>医療の世界でも「哲学的な知識は専門的な知識と同じように大事で不可欠である」という意識が高まりつつある (医学書院の公式HP『医学界新聞』より: 対談「医療と哲学の交差点で対話を育む」、行岡 哲男氏 (東京医科大学名誉教授) 等)。</p> <p>本講義では、古代から現代にいたる哲学者たちの思想に触れることで、次のような内容について受講生と共に考えていく:</p> <p>○「哲学 (すべての分野にその基本概念と方法論を提供してくれる最も基礎的な営み、すべての学問を基礎づける特別な学問、すべてのサイエンスを繋ぎ統一できる特別なサイエンスとしての哲学)」、○「感覚 (=万物の変化と多様性を捉える能力、「パーツ」を個別に扱う能力)」と「理性 (=論理的思考を用いて不変の真実を捉える能力、全体的なものを捉える能力としての理性)」、○「感性 (=感覚器官を通して環境からの刺激を外部データとして集め整理する能力)」と「知性 (=外部データを様々な概念に統一し「手段」または「道具」として理解する能力)」、○「存在 (今あるモノと、そこから可能になっていく物事の総体)」という謎、○「認識 (目に見えるモノと目に見えないモノの認識を可能にしてくれる先験的な要素)」という謎、「言語 (=思考を可能にしてくれるもの)」という謎、「歴史 (=世界と人間存在の真実が明らかになっていく道のりとしての歴史)」など。</p>
学習の具体的な目標	<p>1) 「哲学」、「感覚」と「理性」、「感性」と「知性」、「存在」の謎、「認識」の謎、「言語」の謎、「歴史」など (=人間の最も基本的な知識) について自分の言葉で説明できる。</p> <p>2) 「哲学をする」という営みに関する基礎知識を習得する。</p> <p>3) 批判精神 (=自分の様々な考え方の根拠・妥当性の範囲・リミットをチェックする能力)、自由思考 (=自分の時代と文化の様々な制約と影響を超えたところで考える能力)、問題解決能力などを身につけ、思想の多様性を理解する。</p>

授業計画表				
1	年月日 (曜日)	令和 7年09月29日 (月)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	哲学とは何か? 哲学の誕生。		
	授業内容			

「哲学は知への愛！探求！チャレンジ！」「哲学の様々な領域（11つ）」「ルネサンス期以降の哲学：「理性の科学」という専門分野」「哲学の誕生：オリエンタリズム（哲学は東洋で生まれたとする説）VS「オクスデンタリズム（通説＝哲学は古代ギリシアで生まれたとする説）」「通説：哲学は古代ギリシアの港町とアテナイの道端で生まれた！」「哲学と宗教の違い」「哲学と民主主義の関わり」「哲学の出発点：古代ギリシアの詩人たち、神話と密教的な宗教が設定した、いくつかの根本的な問い」などについて共に考える。  
 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。  
 （予習時間30分、復習時間30分）

2	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	ソクラテス以前の思想家たち：一元論的自然観：ミレトス学派、ピュタゴラス；ヘラクレイトスとパルメニデス；「多元論的自然観」の思想家たち；ソフィストたち。		
	授業内容	<p>「ソクラテス以前の哲学：「万物の根源」への関心」「自然科学的な博識としての哲学：「一元論」「物活論」「汎神論」（自然科学の起源）」「最も古い進化論的な発想」「最も古い機械論的な発想（物理学の始まり）」「純粋に論理的な（抽象的な）数学の誕生：靈魂を浄化していくための「救いの手段」としての数学」「すべてを数字で捉えることができるという立場の起源と問題点」「万物の変化と多様性を捉える「感覚」VS不変の真実を捉える「理性」」「科学思想のベース：いつのどこの誰とでもシェアできる確かな知識にたどり着きたいなら、「感覚」は信用できない！「理性」に頼るしかない！！」「「感覚」と「理性」は世界について正反対のことを伝えている！」「万物の構成元素：いくつかの説」「構成元素を結合させたり分離させたりする力は、宇宙の優れた知性のような合理的な力だ！」最初の「原子論」と「唯物論」」「「職業教師」の登場と文化の普及」「「相対主義（＝「絶対の真実は存在しない」「すべての意見には同じ重さと同じ価値がある」という立場）」の起源と問題点」「レトリック（弁論術）と「言語学」の誕生」などについて共に考える。          ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。          （予習時間30分、復習時間30分）</p>		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	ソクラテス（前470年／前469年-前399年）とプラトン（前427年-前347年）：『ソクラテスの弁明』『クリトン』『クラテュロス』『エウテュデモス』『パイドロス』『国家』『シンポジオン（饗宴）』『テアイテス―知識について』『パルメニデス―イデア論について』『ソピステス―「存在」について』『ティマイオス』『政治家』『法律』。		
	授業内容	<p>「世界で最も賢い人はどんな人？（デルフォイのお巫女さんの予言）」「ソクラテスの登場：哲学をする方法が変わる！」「道ばたで人をとめて子供のような質問をするソクラテス」「自分の知識の「前提」について誰も答えられない！」「「無知の知（自分は何も知らないということをよく知る）＝哲学をする条件」「逃げていく真実」「ソクラテスの方法：「エイロネイア」（「アイロニー」＝何も知らないふりをする）と「マイエウティケ（産婆の術）」」「エデュケーション（人間教育＝真実を人の中から引き出すという方法）の誕生」「善と悪とは何か？」「ソクラテスの死とその意味」；          「大学の誕生：プラトンの「アカデメイア（アカデミー）」」「「科学」の誕生：いつのどこの誰とでもシェアできる知識＝客観的な知識、これを「科学」と呼ぶ」「理性が捉える「イデア（観念）」とは何か？（諸事物の理想的な姿）」「「イデアの世界（超天上界）はどこにあるのか？」「「二元論」：世界は二つ（地上と超天上界）、知識も二種類！（地上的なものを捉える「感覚」による「意見」と、観念的なものや諸事物の理想的な姿を捉える「理性」による「知識」）」「イデアの種類（4つ）」「「理想」と「現実」の関わり＝地上の万物と超天上界のイデアたちとの関わり：「ミメシス（真似／不完全な複写）」」「学ぶことは思い出すことだ！（「メテムサイコシス（輪廻転生）」と「アナムネシス（思い出すこと）」）」「プラトンの「神」（デミウルゴス）：イデアに基づいて物質を形づける「宇宙形成の原理」」「靈魂の三分説：理性、意志と欲望」「プラトンの国家論：理想的な共和国とその三つの社会階級」「経済的なことをやっている人たちは好きなように生きていい；しかし、政治に関わってはいけない！」「哲人王思想：政治は哲人にしかできない！」「哲人が送るべき生活様式：プラトンの共産主義」「政治家を目指す哲人のカリキュラム：少なくとも50歳まで「理論哲学」と「応用哲学」を勉強しなきゃ！」などについて共に考える。          ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。          （予習時間30分、復習時間30分）</p>		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	アリストテレス（前384年-前322年）：『オルガノン』『形而上学』『自然学』『靈魂論』『ニコマコス論理学』。		
	授業内容			

「高校の誕生：アリストテレスの「リュケイオン」「何かについて考えたいなら、まず「考えることとは何か」からスタートすべきだ！」「考えること」とは頭の中で言語で喋ることだ！」「すべての学問のベースとなった論理学：「考える行為」は何で出来ているのか？概念⇒命題⇒論法！」「三段論法（最も完璧な論法）」「最初に「妥当な前提」を見つけることの重要性」「モノの定義をつくるための方法（2つ）：Aの定義＝Aが所属するジャンル＋他のスペースとの違い；Aの「実体（本質的な特徴）を直観的に特定すること」「形而上学：「存在」というものの様々な表現（「実体」「偶有性」「原因」「可能態」と「現実態」等）」「万物の変化（生成）とその進み方：「可能性」⇒「現実」」「可能性＝まだ特定のかたちをとっていない物質」「現実＝物質的なものが一つのかたちになった状態」「目に見えるもの（現実）は、目に見えないところ（可能性）から来ている！」「神：すべてを動かす「不動の動者」」「最後は、すべてが「神（これ以上の可能性がない、すべてが完成した最終的な「かたち」）」になる！」「自然学＝場所移動の科学」「靈魂の三つの機能：植物と動物にも靈魂がある！」「倫理：欲望を制限するための「倫理的な卓越性」、すべての極端を避けるための「中庸（「思考の卓越性）」などについて共に考える。  
※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。  
（予習時間30分、復習時間30分）

5	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	T. ホブズ (1588-1679) の自然法思想：『リヴァイアサン』（1651）、『市民について』（1642）、『身体について』（1642）、『人間について』（1648）。		
	授業内容	<p>「人権」のもと：自然に与えられた「自然権（自然法）」と、人間たちが一緒に決めた「人定権（人定法）」「自然法思想の起源：ソフィストのヒッピアス」「自然法思想が16世紀と17世紀によみがえった原因：M. ルターの宗教改革、イギリスの「清教徒革命」と「無血革命」」「ユートピア（理想郷）の思想」「ホブズの政治論の前提：理性と言語の関わり」「演繹法（最初から分かっている原因から可能な結果を予想していく方法／最初から決めた前提から様々な結論を論理的に引き出す方法）」とそれに基づいている諸学問：数学、倫理学、政治学」「帰納法（結果から原因を仮説的に推定していく方法）」とそれに基づいている諸学問：自然科学、物理学、ケミストリー等」「ホブズの「機械論的唯物論」」「ホブズから見た「自由」と「善と悪」の問題」「政治論：人間の本質に関する最も確かな公理（「自然の欲求」と「自然の理性」）」「自然状態：万人の、万人に対する戦い」「国家形成の根本原理（3つ）」「絶対主義国家：リヴァイアサンという恐ろしい怪物としての国家」「ホブズが考えた社会契約の特徴」「ホブズにおける社会契約と国家の権力の関わり」「自然法思想の他の思想家たちとの違い」「国家の権力とそのリミット」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）</p>		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月08日(土)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	R. デカルト (1596-1650)：『世界論』（1633）、『みずからの理性を正しく導き、もろもろの学問において真理を探究するための方法についての序説およびこの方法の試論（方法序説）』（1637）、『情念論』（1649）。		
	授業内容	<p>「歴史的背景：科学革命の時代」「デカルト：近世合理主義の父」「学生時代のデカルトの不満足：学校は最も大事なこと（考えること、生きること）を教えてくれない！」「デカルトの目的：「何にでも使える万能な方法」とそのルール」「デカルトが最初に採用した立場：方法的懐疑（懐疑主義）」「私たちは、考える主体性としては間違いなく存在している！（我思う、故に我在り）」「私たちの「考える主体性」：「思考する実体（精神）」「私たちの「考える主体性」以外のもの：延長する実体（身体とその他の物質的なもの）」「観念の種類（3つ）：「人為観念」「外来観念」「生得観念」」「神が存在する合理的な証拠」にいたるデカルトの考察」「自然学：延長と運動、宇宙定数：質量と運動量」「遠距離で働く力」に対する、デカルトとガリレオ・ガリレイの抵抗感」「神を必要としない科学の始まり：神が世界と諸事物を創造した後、世界と諸事物はそれぞれで（神の関与なしで）動き始めたんだ！」「現在の医療文化のベース：「心身二元論」」「延長する実体（身体）」は生物学的なマシンと考えていいんだ！」「思考する実体（精神）」と「延長する実体（物質的なもの）」はどこでやり取りをしているのか？（松果体の役割）」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）</p>		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	J. J. ルソー (1712-1778) の自然法思想：『学問芸術論』（1750）、『人間不平等起源論』（1755）、『社会契約論』（1762）。		
	授業内容			

「歴史的背景：「啓蒙思想」の時代」「ルソーの「退歩史観」：人間の「学問」と「芸」はすべて、人間の悪徳から生まれた！学問と技術にこのまますべてをかければ、人間の歴史はどんどん悪くなっていく！」「ルソーが考えた「原初の自然人（最初の人間）」の特徴：「自愛心」と「隣人愛」「最初の人間は自然に善い人間だった！」「最初の人間は欲求が少なめで満たしやすく、自然に幸せな人間だった！」「現代人は不自然で無駄な欲求が多すぎて不幸だ！」「人間の悪いところ：自分の状況をよりよくしたいという自然の衝動」「最初の社会契約＝「欺瞞の不平等条約」：最初の社会契約は、すでにあった不平等を正規化したものに過ぎない！」「最初の「欺瞞の不平等条約」にいたるまでの歴史（「退歩」の三段階）」「新しい社会契約：不平等を無くすための社会契約」「国家のベースは法律ではない！政治組織としての「人民」だ！」「「理性」と「利益」の関わり：政治でも、数学のような「純粹理性」を使うべきだ！」「「純粹理性」を活用することの目的：「総意（／一般意思）」＝「共通善」にたどり着くこと」「「純粹理性」は皆にある！皆で「純粹理性」を選ぶことは皆が自分自身を選ぶことだ！」「ルソーが考えた「総意」の特徴」「初めての「人民主権」の理論」「自然法思想の他の思想家たちとの違い」「直接民主制のすすめ」「「人民代表」と、単なる執行部としての政府の関わり」「国会」よりも「人民総会」がいい！」「社会主義思想への影響」などについて共に考える。  
※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。  
（予習時間30分、復習時間30分）

8	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	I. カント (1724-1808) : 『可感界と可想界の形式と原理』 (1770)、『純粹理性批判』と『学として現れるであろうあらゆる将来の形而上学のための序論 (プロレゴメナ)』 (1771)。		
	授業内容	<p>「デカルトの「合理主義」 (=「理性」だけで充分だという立場) のリミット」「ニュートンの物理学が描いた世界観 (=「空間」と「時間」と「因果関係」は絶対だ！人間がいてもいなくても、宇宙で客観的なものとして存在している！という世界観) の問題点」「イギリス経験論 (「経験主義」=私たちに「生得観念」などない！人間は「外の世界」に書き込まれていく白紙の状態だ！という立場) の問題点」「カントの「批判主義」：理性は自分を自分で裁判にかけなければならない！(理性のリミットを理性でチェックする!)」「カントの認識論：「時間」と「空間」と「因果関係」は、「外の世界」の特徴ではない！私たちが最初から持っている「先験的な認識形式」(頭の中の「フィルター」や頭の中の「引き出し」のようなもの)だ！」「人間の3つの認識能力：感性と知性と理性」「重要な区別：「現象」(＝私たちの頭の中で出ていく物のイメージ)と「物自体」「人間たちの知識の「客観性」と「妥当性」は人間たちの世界に限られている！(自然科学のリミット)」「哲学のコペルニクスの転回 (哲学革命)：「客観的」だと思っていたものは、すべて「主観的」なものだった！」「人間の主体性こそ自然界の立法者 (コ・クリエーター)だ！」「人間的な知識 (数学的な知識、自然科学的な知識と従来の存在論) の根拠と妥当性の範囲」「「全体的なもの」を評価しようとする「理性」とそこから生まれた「存在論」：「理性は根拠のない認識能力だ！」「「存在論」は「科学」にはなれない！(従来の存在論のリミット)」「哲学は、人間の「先験的な認識形式」だけを研究すべきだ！という結論」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ (試験問題)」というかたちで提供する。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	G. W. F. ヘーゲル (1770-1831) : 『精神現象学』 (1807)、『哲学体系の百科事典 (エンチクロペディ一)』 (1817-1830)。		
	授業内容	<p>「歴史的背景：「ロマン主義」と「観念論哲学」の時代」「ロマン主義：すべてのリミットを超えたい！すべてにリミットをつけようとする「理性」は頼りにならない！何にもリミットをつけない「感情」のほうがいい！」「ヘーゲル哲学の前提：「有限なもの (パーツ)」と「無限なもの (全体的なもの=宇宙)」との関わり」「「全体的なもの」だけがリアル！個別に存在しているような「パーツ」は私たちが一方的に抽象していく「リアルでない」もの！」「リアルなもの (＝全体的なもの) は100%合理的なものだ！」「「理性」 (=「無限なもの」の全体性・無限性・合理性を捉える能力) 」と「現実」の関わり」「在ること＝在るべきこと：世界と歴史と人生のすべては「計画的」で合理的だ！」「「絶対精神」 (／「宇宙精神」=宇宙という巨大な、優れた知性) とはどのようなものなのか？」「宇宙という巨大な、優れた知性の中から捉えた「人間」：人間は宇宙の話ができる宇宙の一つの活動だ！人間は宇宙の「自己意識」だ！」「世界と歴史と人生が進んでいく合理的な法則：「弁証法」とその三つの段階」「カントは間違っていた！全体的なもの (「宇宙精神」) との一致の体験は可能だ！」「励ましの哲学：自分を動かしている「精神 (個性)」は「宇宙精神」の一側面だ！自分の「夢」は宇宙的な計画の一側面だ！」「「宇宙精神」の全体性・無限性・合理性が人間の心に現れてくる三つの段階：意識⇒自己意識⇒理性」「世界 (全体的なもの) は世界 (全体的なもの) としてしか変わらない！一人だけで世界を変えることはできない！」「哲学の役割は、まず世界の合理性を解説することだ！」「私たちに最も近い「全体的なもの」：「倫理性」としての国家 (全体的なものとの一致の体験はまず共同体として実現されていく！)」「「宇宙精神」は「文化」というかたちでどのようにその全体性・無限性・合理性を段階的に表現していくのか：物質的なもので「宇宙精神」の無限性等を表現しようとする「芸術」⇒精神的な内容を物語で伝えようとする「宗教」⇒純粹に観念的なものだけで「宇宙精神」の全体性・無限性等を解説してくれる「哲学」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ (試験問題)」というかたちで提供する。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	K. マルクス (1818-1883) : 『独仏年誌』『共産党宣言』 (1848)、『資本論』 (1867)。		

授業内容	<p>「自由主義社会への批判」「労働者たちが体験していく4種類の「自己疎外」とその原因：「生産手段」は誰が独占しているのか？」「唯物史観（／史的唯物論）：歴史を「労働の歴史」として見るべきだ！」「社会の経済的なベースとしての「構造（＝生産力と生産関係）」と「上部構造（その上に建っている「抽象的なもの」＝「文化」「道徳」「宗教」等）」」「ヘーゲル批判：先に抽象的なものがあるそれが世界の諸事物に具体化していくのではなく、先に具体的な（物質的なもの＝労働者の経済的な状況等）があって、抽象的なものは後から出てくるんだ！」「「生産力」と繋がる社会階級と「労働協約」と繋がる社会階級との「階級闘争」の歴史」「歴史の合理性と必然性：「生産力」と繋がる社会階級は必ず次の支配階級になる！」「資本制生産の様々な欠陥：資本制生産と資本主義社会は自滅する運命だ！」「「商品」と「価値」の関わり：商品自体にはなんの価値もない！」「「商品」に価値を与えるもの：労働の量（労働者たちすら気づいていない「労働者たちの重要性」）」「「お金⇒生産物⇒お金＋αというプロセスで発生する「＋α」：「剰余価値（資本家の利益）」」「資本制生産は労働者たちの労働力の「搾取」に基づいている！」「革命のプロセスの二つの段階：生産手段の所有を国に返す「社会主義的段階」と、革命が成功した後に始まるはずの「共産主義的段階」の特徴」などについて共に考える。</p> <p>※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）</p>			
11	年月日（曜日）	令和 7年12月15日（月）	時限	2限
講義室	C208			
担当者	ジリオ			
テーマ	F. ニーチェ（1844-1900）：『悲劇の誕生』（1872）、『反時代的考察』（1873-1876）『悦ばしき知識』（1882）、『ツアラトウストラはこう語った』（1883-1885）、『道徳の系譜』（1887）。			
授業内容	<p>「ニーチェの「変わったスタイル（野蛮な思想、ハリケーンのような文章等）」」「ニーチェ哲学の様々な段階」「「アポロンの精神（理性）」と「デュオニソスの精神（カオス、諸事物の多義性と汎用性など）」の関わり」「ソクラテス以降の哲学と西洋文明に対する批判：西洋文明は「理性」のみの文明！自分の本当の起源を忘れてしまった文明だ！」「ショーペンハウエルとこれまでの「道徳」に対する批判：「命の本当の本質（溢れること、制限がないこと）」を否定する道徳ばかりだ！」「これまでの歴史観（3つ）はすべて問題だらけだ！」「人間たちが成し遂げなければならない次の進化：これまでの歴史の重みにつぶされた「ラクダのような人間」⇒古い価値観をすべて吹っ飛ばす「ライオンのような人間」⇒自分で新しい価値と世界をつくる「新しい人類の赤ん坊」」「神は死んだ！しかし、これはどういう意味か人間たちはまだ分かっていない！」「人類の次の進化：新しい人類の赤ん坊としての「超人」」「「超人」の能力：「力への意志（＝常に自分を超えたいという意志＝命そのものの根本的な衝動）」」「「超人」が生きている時間＝「永劫回帰」：一人一人の人生と人類の歴史は永遠に同じように繰り返されていく！」「「永劫回帰」が存在しているかのように生きなさい！どの瞬間も楽しめるようにしなさい！」「これまでの「反生命主義的道徳」を誰がなぜつくったのか：歴史的な「司祭階級」の「負の感情」とそれによる「価値の転動」」「これまでの道徳は「奴隷たちのための道徳」だ！「奴隷の道徳」だ！」「古い価値観が減びて、新しい価値観が生まれるまでの間：「ニヒリズム（虚無主義）」の時代」「「ニヒリズム」をどう乗り越えるか？「ニヒリズム」の様々な種類」などについて共に考える。</p> <p>※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）</p>			
12	年月日（曜日）	令和 7年12月22日（月）	時限	2限
講義室	C208			
担当者	ジリオ			
テーマ	L. ヴィトゲンシュタイン（1889-1951）：『論理哲学論考』（1921）。			
授業内容	<p>「ヴィトゲンシュタイン：謎の多い思想家」「「事実」とは何か？」「「言語」と「事実」との関わり：言語は「モノ」ではなく「事実（モノの今の状態が続いていること）」を指し示すものだ」「「言語」は「世界」の論理的写像だ！」「「言語」と「世界」の関わり：言語と世界は同形だ！」「「価値観」と「意味」は「事実」ではない！よって、表出不能なものだ！」「「原子的事実」と「複合的事実」」「人間の「命題」はどのように機能しているのか？」「「意味」と「真実」の違い」「「完全な自然科学」：意味を持ち、同時に本当である命題の集合」「反科学者のヴィトゲンシュタイン：「因果関係」は「事実」ではない！様々な「事実」との関わりだ！よって、「因果関係」は存在しない！」「特殊な種類の命題：「矛盾」と「ナンセンス」」「「世界の本質」は「事実」ではない！」「「ナンセンス」の代表的な例：哲学の命題（反科学者のヴィトゲンシュタイン）」「哲学を「言語批判としての哲学」に生まれ変わるべきだ！」「意味を持たない問い（哲学的な問い）には答えがない！黙るしかない！」「「言い表せないもの：不可思議なるものは沈黙の中で体験するしかない！」などについて共に考える。</p> <p>※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）</p>			
13	年月日（曜日）	令和 8年01月05日（月）	時限	2限
講義室	C208			
担当者	ジリオ			
テーマ	E. フッサール（1859-1938）：『算術の哲学—論理的かつ心理学的研究』（1891）、『論理学研究』（1900-1901）、『純粹現象学、および現象学的哲学のための考察イデー』（1913）、『ヨーロッパ哲学の危機と超越論的現象学』（1953）。			
授業内容				

「現代での哲学の「居場所」と「必要性」：科学は「方法の学」、哲学は「観念（＝本質）の学」だ！」「科学は諸事物の「可変で偶発的な特徴」を研究する；哲学は諸事物の「不変で本質的な特徴（観念）」を研究する！」「諸事物の「観念」：諸事物の「本質的な特徴」が人間の意識に現れてくるイメージ（諸事物の観念＝諸事物の本質）」「モノの本質（観念的なもの）は、どのような意味で人間たちの意識に現れてくるのか：「現象学」としての哲学の誕生」「「エポケー」という実践：現象の、時代と地域によって変化する部分を取り除くこと」「エポケーを行ったところ：残るものは常に変わらない「現象学的な剰余（＝最も本質的なもの）」」「万物のそれぞれの本質（観念的なもの）は人間たちの意識の中でどのように関わっているのか？」「「意識」とは何で出来ているのか：何かを意識する主体性（＝「ノエシス」）＋意識されたもの（＝「ノエマ」）」「「ノエマ」：可変で偶発的な「事実的なもの（所与）＋不変で本質的なもの（観念的なもの）」の結合」「最後に残る「意識の最も根本的な行為」は「モノの本質を直観する行為」だ！」「我々の意識は何に影響されているのか：「真意の地平線」「体験の地平線」（＝我々の「背景」にあるもの＝個人の歴史、文化の歴史、スピーシスとしての進化の歴史等）」「科学はモノの「目的」と「意味」については何も言えない！それは「哲学」の仕事だ！」などについて共に考える。  
※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。  
（予習時間30分、復習時間30分）

14	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	M. ハイデッガー（1889-1976）：『存在と時間』（1927）。		
	授業内容	<p>「ナチス政権との関わり」「「存在」の問題：「存在」は構造的に定義不能だ！」「人間は「現存在」で、「世界内存在」だ！今ここで世界に投げ込まれているものだ！」「「実存論的分析」：人間の研究は「存在」そのものの研究に入るための手段だ！」「「現存在（＝人間）は「可能性」である！」「「人生は「選択」「企画」である！」「人間の特徴：「理解」ができること、「可能性」であること」「二種類の「理解」：「存在的理解（日常的、感覚的理解）」と「存在論的理解（生活の具体性を超えた、「存在」そのものの理解）」」「二種類の存在様式：「存在的存在（深くは考えないで存在しているだけという在り方）」と「存在論的存在（「存在」そのものについて考えながら生きていくという在り方）」」「モノの理解と用具性：人間は何かを理解している時、「道具」として理解している！」「人間は「超越的」！人間の視点は本質的に操作的で技術的だ！」「人間によるモノのケア：モノを自分の企画性に含んでいくこと」「他者のケア：他者が、自分で自分の選択肢を行えるように、他者を助けてあげること；他者が、自分で自分の責任をとれるように、他者を助けてあげること」「他者への「非真正なケア」：他者の代わりに他者の企画と選択肢まで自分で背負ってしまうこと」「「企画」と「先理解」：人間は自分の計画に合わせてモノの意味を事前に決めている！」「「非真正な生活」「非人称的な生活」：みんながそうするなら自分もそうしよう；みんながそう考えるなら自分もそう考えよう（＝どの可能性も選ばない；自分の行動の責任もとらない）」「「真正な生活」：自ら考えて、自ら決める！」「「非真正な生活」：無駄な好奇心、噂話、曖昧さに支配された生活」「「真正な生活」：死を念頭においておく生活（「死のための生活」）」「「死」と「不安」」「「存在」は、「存在を否定するもの（死）」を通して人間たちに語り掛けてくる」「時間：「現存在（＝人間）」が生活をしている基本的な次元」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）</p>		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	2限
	講義室	C208		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	女性哲学者・H. アーレント（1906-1975）：『全体主義の起源』（1951）、『活動的生活—人間の条件について』（1958）、『悪の凡庸さ』（1963）。		
	授業内容	<p>「悪の凡庸さ：自分の行動の結果に関して責任を持たないこと、深く考えないこと＝悪の正体」「全体主義：現代社会の文化が生んだ現象」「全体主義の原因：「反ユダヤ主義（自民族中心主義、排外主義）」と「帝国主義の危機」」「全体主義の特徴：「恐怖」と「イデオロギー（＝すべてを簡単に解説しようとする分かりやすい理論）」」「「恐怖」と「イデオロギー」がもたらす結果：「体制順応（迎合主義）」と「孤立」」「人間の本性の二つの側面：「活動的生活」と「観照的生活」」「「活動的生活」の3つの形式：「労働（人間の動物性が表現される場）」と「仕事（人間の創造性が表現される場）」と「活動（人間の「政治的な共同体的な生き物としての本性」が表現される場）」」「「公共性（世界観レベルで他者と関わること＝自己の「生存」のための戦いと生活の物質的な側面を超えた次元）」と「プライベート（「労働」と「仕事」＝自己の「生存」が中心になっている次元）」」「「労働」と「仕事」：「必然性」に支配された次元；「活動」：自由を得られる次元」「「労働」と「仕事」（技術的な営み）：人々が必然的に「個人主義」と「エゴイズム」に仕向けられる次元」「「技術」が支配的になること＝「労働」と「仕事」ばかりの生活になること＝人間の共同体的な在り方（「活動」）がなくなること」「私的生活に還元された公共性」「公共性（共同体的な在り方）の喪失、「孤立」、「意味のなさ」と「虚しさ」の体験」「現代社会での「虚しさ」等を利用して行う全体主義的な現象とイデオロギー」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 ※これまでの「まとめクイズ」の正解もお伝えする。 （予習時間30分、復習時間30分）</p>		

評価方法	1. 定期試験期間内に筆記試験を行う（再試験は行わない）。 2. 定期試験100%で成績評価を行う。 ※ 定期試験を受験できるための条件は十分な受講率であるということをお忘れずに！
教科書	竹田青嗣・西研『高校生のための哲学・思想入門』（筑摩書房）
参考書	授業中に適宜紹介する（例：先生自作のPowerPoint資料を使用した講義と試験問題集）。 ※毎回、その内容のまとめをクイズのかたちで提供する；期末試験の実際の試験問題はそこから選ぶ。

	その他の参考書：行岡哲男『医療とは何か』「第三章 医療を哲学する—現象学と言語ゲームを手がかりに」 (河出書房新社)
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に相談を受け付ける。
履修上の注意、履修要件	予備知識は必要としませんが、授業後には学習内容を見直してください。

講義名	心理学		
(副題)	基礎科目 (人文科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
公認心理師/学校心理士	◎ 大野 美佐子	看護学科教員

担当教員	大野美佐子
科目の目標	1) 人間理解のための心理学の基礎的知識を学ぶ。人間を科学的に分析する心理学の諸理論を理解し、人間の行動について考察し、日常生活や将来の仕事場面で活かせることを目指す。 2) 心理学の学びを踏まえて、各自が自己理解を深めることを目指す。
学習の具体的な目標	授業形態としては、授業前に各自が疑問を持ち、講義中は知識を得て、自分の疑問に対する答えを能動的に探し、ワークで気づきを得る。授業後は、自己についての気づきを振り返り、各自が自己理解を進める。新たに獲得した知識を問題解決に適用するプロセス (PBL) を意識して授業を行う。 1) 感覚や知覚、記憶について、心 (認知) のメカニズムとして説明することができる。 2) 環境に適応していくための人間の動機づけや学習について説明することができる。 3) 人間の性格や知能について学び、個人差について考察することができる。 4) 人間の発達について基本的知識を学び、発達段階の特徴を説明することができる。 5) 人と直接関わる臨床場面での心理学的技法について説明することができる。 6) 心の病等についてその特徴的症狀を説明することができる。 7) 社会の中でみられる心理学的現象を学び、日常場面と結び付けて考察することができる。 8) 自分自身の特徴について、心理学的な視点から説明することができる。

授業計画表				
1	年月日 (曜日)	令和 7年04月16日 (水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	心理学とは		
	授業内容	1. 心理学の誕生と現代にいたるまでの流れについて説明できる。 2. 心理学を学ぶ意味について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日 (曜日)	令和 7年04月23日 (水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	感覚と知覚		
	授業内容			

1. 感覚の特徴を説明できる。
  2. 認知の働きとして、知覚のメカニズムについて説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	記憶		
	授業内容	1. 記憶の種類について説明できる。 2. 人はどのように記憶しているのか、そのプロセスについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	学習と行動		
	授業内容	1. 条件付けなどの学習理論について説明できる。 2. 学習が人の行動に与える影響を考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	動機づけと欲求		
	授業内容	1. 欲求の種類を列挙できる。 2. 人に行動を起こさせる動機づけについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	性格		
	授業内容	1. 性格に関する理論(類型論と特製論)について説明できる。 2. 性格検査の種類と特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	知能と学力		
	授業内容	1. 知能とその測定方法について説明できる。 2. 知能と学力の違いについて考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	遺伝と環境		
	授業内容	1. 遺伝と環境の影響について説明できる。 2. 悩みや問題について発達のプロセスから考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	ライフサイクル		
	授業内容	1. ライフサイクルでの各発達段階の特徴を説明できる。 2. 生涯発達の視点から、自分の人生を考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	2限

講義室	C402			
担当者	大野			
テーマ	ストレスと感情			
授業内容	1. ストレスの原因と反応の関連について説明できる。 2. 感情とそのコントロールについて考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	精神的な疾患と発達特性		
	授業内容	1. 主な精神疾患について、その特徴的徴状を説明できる。 2. 発達の問題(発達障害)でみられる主な特性と対応について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	適応と話の聴き方		
	授業内容	1. 適応と不適応の心理的メカニズム、防衛機制について説明できる。 2. 資料を基に話を聴くことについて考察し、自分の考えを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	カウンセリングと心理療法		
	授業内容	1. カウンセリングの基本的な技法を説明できる。 2. 精神分析など代表的な心理療法の理論と特徴について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	対人関係と集団の心理		
	授業内容	1. 印象形成、対人認知について説明できる。 2. 集団や社会的役割が人の行動に及ぼす影響について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	自己理解とまとめ		
	授業内容	1. 自分自身について、心理学的な視点で考察できる。 2. まとめとして、心理学を学ぶ意味を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験(多肢選択式と論述式)と提出物で評価する 定期試験(50%) 課題などの提出物(50%) 2. 再試験は実施する			
教科書	毎回の授業の内容に沿ったプリントを配布する。			
参考書	『はじめて出会う心理学 第3版』 長谷川寿一他(著), 有斐閣, 2020 『心理学・入門』 サトウタツヤ他(著), 有斐閣, 2019 『新しい心理学へのアプローチ』 小林芳郎(編), 保育出版社, 2014 『心理学 第5版補訂版』 鹿取廣人他(編), 東京大学出版会, 2015			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 水曜日 13時10分から14時40分 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントを取ること。 メールアドレス: mohna@saitama-med.ac.jp			

履修上の注意、履修要件

心理学では、得た知識を自分の経験や今後を重ねて考えられることを重要視します。学んだことを皆さん自身と結び付けて考える習慣をつけてください。  
授業前には参考書等を用いて該当の内容に関して予習し、自分にとっての疑問をもって授業に臨んでください。授業後には学習内容を見直し、自分についての気づきをもとに、自己理解を深めるようにしてください。さらに余暇を利用して関連図書などを読み、理解を深めることを心がけてください。

講義名	文学		
(副題)	基礎科目 (人文科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 芳賀 祥子	非常勤教員 (大学外部)

担当教員	芳賀 祥子
科目の目標	近現代文学や映像表象を中心に、病や死の場面を読むことを通して、人間理解を深める。それと共に、病や死の描写の文学的効果に意識的になることで、そうしたものの適切な距離の取り方を学ぶ。
学習の具体的な目標	1. 病や死を描くことの文学的な効果を説明できる。 2. 近現代文学における病や死の表象について、考察し分析できる。 3. 親しい人の死に向き合うこと、自分の死を思うことの文学表現を分析し、説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	ガイダンス／近現代文学と死、ケア		
	授業内容	1. 「ケア」の基礎概念を説明できる。 2. 「春は馬車に乗つて」を中心に、病やケアの描写を鑑賞する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	近現代文学と死、ケア／横光利一「春は馬車に乗つて」を起点として		
	授業内容	1. 「春は馬車に乗つて」を中心に、病やケアの描写を鑑賞する。 2. 文学における病やケアの様々な扱われ方について考察する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月26日(土)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学と結核 1 / 徳富蘆花「不如帰」を読む		

授業内容	1. 「結核」のロマン化について説明できる。 2. メロドラマにおける死と病の表象を鑑賞する。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学と結核2 / 堀辰雄「風立ちぬ」を読む		
	授業内容	1. 「風立ちぬ」を中心に、結核とサナトリウムの描写を鑑賞する。 2. 文学における、サナトリウムや、結核の表象について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学と結核3 / 映像作品「風立ちぬ」を見る		
	授業内容	1. 文学が映像化したり、引用されたりする中で、病の表象がどう変容するのか鑑賞する。 2. メディアと表象の変質について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学と結核4 / 正岡子規「病床六尺」・葉山嘉樹「淫売婦」を読む		
	授業内容	1. 「病床六尺」「淫売婦」を中心に、苦しい病としての「結核」の表象を鑑賞する。 2. 「結核」表象の多様性について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学とハンセン病1 / 「北条民雄」という存在		
	授業内容	1. 隔離されていた病について知り、当事者が書くことについて考察できる。 2. ハンセン病について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学とハンセン病2 / 風見治「不在の街」を読む		
	授業内容	1. 戦後のハンセン病を巡る隔離政策について説明できる。 2. 社会復帰の難しさについて知り、その表象を分析できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学とハンセン病3 / 映像作品「あん」を鑑賞する		
	授業内容	1. 現代まで残る差別や忌避について知り、その表象を分析する。 2. 「東村山市」というトポスについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学とハンセン病4 / 神谷美恵子「生きがいについて」を読む		
	授業内容	1. 医療従事者の側から残されたハンセン病についての文章を読み、その表象を分析する。 2. 医療従事者と病の関わりについて考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	2限

講義室	講堂2F			
担当者	芳賀			
テーマ	文学とハンセン病5／ハンセン病患者の詩を読む			
授業内容	1. ハンセン病患者の詩を通して、病と書くことへの理解を深める。 2. 詩に込められた思いを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	死と文学1／菊池寛「愛児不死」で考えるグリーフケア		
	授業内容	1. 「グリーフケア」という概念をふまえて、文学作品を読む。 2. 作中の「グリーフケア」について分析・考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	死と文学2／幽霊が語るもの		
	授業内容	1. 幽霊の実話や、ジェントルゴーストストーリーを読み、幽霊の表象を分析できる。 2. 幽霊の物語と、グリーフケアの関わりを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	死と文学3／震災と怪談		
	授業内容	1. 東日本大震災における「怪談」を鑑賞する。 2. 幽霊について語ることが、どのように人の心をケアするのか説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	死と文学4／井上ひさし「父と暮らせば」		
	授業内容	1. 「幽霊」を効果的に取り込んだ文学を鑑賞する。 2. 戯曲と映像作品を鑑賞し、幽霊の表象を分析できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 評価配分は以下の通り。 50% (提出物・授業態度) 50% (レポート) 2. レポートの再評価は行わない。 3. 提出されたレポートに対して、コメントを返す。			
教科書	授業中にプリントを配布する。			
参考書	1. 上野千鶴子『ケアの社会学——当事者主権の福祉社会へ』（太田出版 2011） 2. 坂口幸弘『死別の悲しみに向き合う——グリーフケアとは何か』（講談社現代新書 2012） 3. 米村みゆき・佐々木亜紀子編『〈介護小説〉の風景 高齢社会と文学〔増補版〕』（森話社 2015） 4. 福田真人『結核の文化史—近代日本における病のイメージ』（名古屋大学出版 1995）			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後、教室にて相談を受け付ける。			
履修上の注意、履修要件	授業前に当該時間で扱う作品（プリント配布）を読み、感想を持った上で、授業に参加することが求められる。また、放課後には学習内容の見直しを行うこと。余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けてほしい。			

講義名	法学		
(副題)	基礎科目(社会科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	5限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 植田 俊太郎	非常勤教員(大学外部)

担当教員	植田俊太郎
科目の目標	この科目では、法の基本的な役割や仕組みを理解した上で、日本国憲法、民法、刑法の主要三法、さらに医療に関する法の基礎知識を学習する。各回の授業では、関連する身近なトピックを紹介することで、法が私たちの日常生活に深く関わっていることを実感しながら、社会生活上不可欠な法的知識・法的リテラシーを身に着けることを目指すとともに、法をめぐる現象を多角的に考察することで、ひとつひとつが関わりあう社会そのものへとまなざしを向け、人間にたいする理解を深めることも目的とする。
学習の具体的な目標	1) 法の基本的な仕組みを説明できる。 2) 主要三法の基本的事項を説明できる。 3) 医療に関わる法の基礎知識を習得し関連する様々な問題について考察できる。 4) いま社会でどのような問題が生じ誰が困っているかという視点で、日ごろのニュース(特に法律、政治、社会問題について)にアクセスでき、それらを法的な視点で考察できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	ガイダンス 法とは何か?		
	授業内容	1. 法とはどのようなもので、なぜ必要なのかを理解し、概略を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分) なお、授業冒頭では、半期間の講義の進め方、評価方法、試験に関するガイダンスを行う。		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	法のしくみ①		
	授業内容	1. 法と道徳、成文法と不文法、公法と私法等の違いについて理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	5限
	講義室	C401		

担当者	植田			
テーマ	法のしくみ②			
授業内容	1. 法の機能、法の効力関係、条文の読み方、法の解釈方法等について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	日本国憲法の基礎知識①		
	授業内容	1. 近現代立憲主義の誕生と展開、日本国憲法制定史、日本国憲法の基本原則について理解し、説明できる。 2. 日本国憲法における人権分野の中で、特に自由権(精神的自由、経済的自由、身体的自由)と新しい人権等について、理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	日本国憲法の基礎知識②		
	授業内容	1. 日本国憲法における人権分野の中で特に社会権(生存権、教育を受ける権利、労働基本権等)と参政権について理解し、説明できる。 2. 日本国憲法25条と社会保障・保健医療制度の関係について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月08日(土)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	日本国憲法の基礎知識③		
	授業内容	1. 日本国憲法と平和主義について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	民法の基礎知識①		
	授業内容	1. 民法の構成、基本原則及び基本的な考え方を理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	民法の基礎知識②		
	授業内容	1. 日常生活における契約と法に関する基本的な考え方を理解し、説明できる。 2. 制限行為能力者制度について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	民法の基礎知識③		
	授業内容	1. 家族と法に関する基本的な考え方を理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	民法の基礎知識④		
	授業内容			

1. 民法以外で、日常生活において必要な、労働と法、企業と法等に関する基本的な考え方を理解し、説明できる。  
(予習時間30分、復習時間30分)

11	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	刑法の基礎知識①		
	授業内容	1. 刑事法の基本的な考え方、犯罪とは何か、犯罪の種類、犯罪の成立プロセス等について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	刑法の基礎知識②		
	授業内容	1. 裁判のシステムとルールについて理解し、説明できる。 2. 裁判員制度の特色・概要について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	刑法の基礎知識③		
	授業内容	1. 少年犯罪と法の関係について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	医療と法①		
	授業内容	1. 医療事故によって、いかなる法的責任が問われ得るのかについて理解し、説明できる。 2. 終末期医療と法の関係について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	医療と法②		
	授業内容	1. 臓器移植に関する法律の内容について理解し、説明できる。 2. 法律における「死」の概念と脳死判定等の問題について理解し、考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 後期定期試験期間に、筆記試験を行う。 2. 試験において、持ち込みは一切不可とする。 3. 遅刻・欠席等、授業への参加態度を評価に含む。 4. 定期試験不合格者には、試験終了後に1回のみ再試験を行う。
教科書	授業ごとに、内容に沿ったプリント・資料等を配布する。
参考書	1. 『法律学への案内(第2版)』(八千代出版、2021年)金津謙、足立文美恵、佐々木彩、今出和利、齋藤美喜 著 2. その他、各回の授業内で重要と思われるものを紹介する。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業内容に関する質問等は、授業後に教室にて受け付ける。
履修上の注意、履修要件	初学者を対象とする。 前もって配布したプリントを予習し、講義後は、学習内容の確認を行うこと。 また、日ごろのニュース(特に法律、政治、社会問題に関する報道)に積極的にアクセスすることを期待する。

講義名	社会学		
(副題)	基礎科目 (社会科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 勝野 有美	非常勤教員 (大学外部)

担当教員	勝野 有美
科目の目標	<p>社会の仕組みを観察したり社会問題を分析したりするための、基本的な枠組み・考え方を学ぶ。いくつかの具体的な領域をとりあげ、社会的存在としての人間がどのように関わり合い、どのようなシステムを運用しながら日常生活や社会生活を営んでいるのかを考察していく。それを通じて、日常生活・社会生活で直面しうる様々な問題の背景・構造を多面的に整理・分析する力を養う。</p> <p>また、講義内で実施するショートレポートに主体的に取り組むことにより、自らがこれまで抱えてきた“あたりまえ”や“良きこと”を批判的に検討することの意義を体感し、正解を教わるのではなく様々な社会的課題について自らの考えを言語化することができる社会人・職業人となる土台を構築する。</p>
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 社会的存在としての個人が営む社会的相互作用、集団・組織・制度の定義を理解する。</li> <li>2) 狭義の文化と広義の文化について、その内容を説明できる。</li> <li>3) 社会化のプロセス・種類、個人と社会のそれぞれにとって持つ意味を踏まえ、今日的課題を考察する。</li> <li>4) 近代家族の特質を理解し、その現代における変化について説明できる。</li> <li>5) 社会的資源および社会移動の内容・特徴を理解し、それらをめぐる現代的話題を考察する。</li> <li>6) 社会的弱者および社会的排除の概念を理解し、それらの現代的特徴について考察する。</li> <li>7) 障害者の権利条約が提示した、障害の社会モデルおよび合理的配慮・社会的障壁の内容を説明できる。</li> <li>8) ライフサイクルの変化と高齢期特有の課題の関係を分析し、現代社会における高齢期の意味を考察する。</li> <li>9) 児童の権利条約の理念を理解し、子どもをめぐる今日的課題への取り組み方を考察する。</li> <li>10) 性差を構成する要素について理解し、社会的性差や生殖に関する今日的課題について考察する。</li> <li>11) 少数者の問題ではなくすべての人に関わる問題として、性の多様性について考察する。</li> <li>12) 近代医学における病人役割と障害者役割の内容、医原病の性質と種類を説明できる。</li> <li>13) 現代における病や健康の意味の変化を理解し、エンハンスメントの功罪や優生思想の現代的様相について考察する。</li> <li>14) 専門職の特徴および現代的役割について説明できる。</li> <li>15) 国民国家やエスニシティの概念を理解し、グローバリズムに伴う現代的諸問題について考察する。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	社会学とは何か		
	授業内容			

1. 社会、相互行為などの概念説明を通じて、社会科学特有の視座や考え方の基本を理解する。
2. 地位・役割、制度、集団・組織などの概念を理解したうえで、社会の仕組みと個人の関わりについての社会学的な考え方を説明できる。
3. 社会学的想像力を持つ意義、批判的検討の意味を理解する。  
(予習時間30分、復習時間20分)

2	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	文化		
	授業内容	1. 文化の特質や内容、狭義の文化と広義の文化の区別を理解したうえで、複数の文化の関係性、異文化理解のプロセスについて説明できる。 2. ステレオタイプ、ラベリング、スティグマなどの概念を理解したうえで、偏見と差別の関係を考察する。 3. 情報化の歴史的変遷を踏まえて、情報が私たちの生活や社会のありように対して及ぼしている影響・問題を考察する。 4. 文化資本の概念を理解したうえで、世代を超えて受け継がれる構造を考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	社会化		
	授業内容	1. 社会化の種類や段階を説明し、個人と社会のそれぞれにとっての社会化の意義を理解する。また社会化に欠かせないものは何かを考察する。 2. 規範の種類を学び、その社会学的意義について考える。 3. 現代社会に特有の、社会化をめぐる諸問題を考察する。そのうえで、子ども期のみならず生涯に渡って行われる、多様な学び・育ちについて考える。 (予習時間30分、復習時間20分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	家族		
	授業内容	1. 近代家族の特質および機能と、日本社会における成立過程および歴史的な変化を説明できる。 2. 個人および社会それぞれにとって家族が果たしてきた役割を考察する。 3. 現代の家族をとりまく様々な問題を、社会学的に分析する。 4. さまざまな形態の家族について説明し、現代における家族の役割や今後の展望を考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	社会的資源		
	授業内容	1. 社会階層や社会階級の概念を説明できる。 2. 日常生活や社会生活を送るうえで必要な社会資源の内容・種類を理解し、その配分の仕方や社会移動のパターンについて分析を行う。 3. 現代の日本社会における不平等や格差について、社会学の観点から考察を行う。 (予習時間30分、復習時間20分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	社会福祉		
	授業内容	1. 社会福祉制度の歴史および基本的性質について説明できる。 2. 現代の社会福祉制度を分析する上でキーとなる概念について説明できる。 3. 社会的弱者の特徴、社会的排除と貧困の概念の違いを理解し、現代社会の変化との関係を考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	障害・障害者		
	授業内容			

1. 障害者の権利条約の理念および概要を理解し、社会的障壁および合理的配慮の意味を説明できる。
2. 障害をめぐる個人/医療モデルと人権/社会モデルの違いを理解し、日本が国連から受けている総括所見・勧告の内容を読み解く。
3. 障害理解や当事者参加の意義・方法と今日的課題について考察する。  
(予習時間30分、復習時間20分)

8	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	高齢者		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者福祉制度の枠組み、日本の制度の特徴および今日的な課題について説明できる。</li> <li>2. 現代社会における高齢期の特色を理解したうえで、家族の変質やライフサイクルの変化と高齢者福祉のありようとの関係を考察する。</li> <li>3. 高齢者にやさしいまちづくりの実践、多世代共生の取り組みやエイジング教育の必要性について考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)</li> </ol>		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	子ども		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童の権利に関する条約の理念および要点を理解したうえで、子どもが持つ権利が行使されるために社会が考えるべきことを理解する。</li> <li>2. 子ども基本法の成立およびそれに付随する制度的な動き、また子どもをめぐるニュースを概観しながら、子どもの福祉に関する今日的な課題を考察する。</li> <li>3. 子どもアドボカシーの概念・手段を学んだうえで、子どもの最善の利益を追求するための方途を考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)</li> </ol>		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	性〔性差、生殖〕		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 性を定義するさまざまな概念の内容およびそれら相互の関係性を理解する。</li> <li>2. 性を構成する要素のうち、文化的・社会的に規定される性差の考え方を理解する。また、現代における家族や労働、暮らしの変化と社会的性差・性別役割との関係を考察する。</li> <li>3. 生殖をめぐるさまざまな問題を学び、その社会学的な課題を考察する。特に、生殖に関する権利の確立過程を理解するとともに、現代における家族の多様性や子どもの権利の観点から生殖の問題を分析する。 (予習時間30分、復習時間20分)</li> </ol>		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	性〔多様性〕		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 選択可能な多様性とそうではない多様性を峻別したうえで、性の多様性を多面的に整理・分析し、グラデーションとして性を捉える考え方を理解する。</li> <li>2. LGBTQsをめぐる今日的な課題を考察するとともに、SOGIという概念が用いられるようになった背景を理解する。 (予習時間30分、復習時間20分)</li> </ol>		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	医学・医療〔近代編〕		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 近代医学の成り立ちと、医学・医療をめぐる諸問題を分析・評価するうえでキーとなる概念を説明できる。</li> <li>2. 社会学的な分析枠組みを用いて医療者と患者の関係を考察し、患者役割および障害者役割の概念を理解するとともに、それらのモデルが生み出された背景を理解する。</li> <li>3. 医療化と脱医療化の内容、医原病の定義と種類を説明できる。 (予習時間30分、復習時間20分)</li> </ol>		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		

テーマ	医学・医療〔現代編〕			
授業内容	1. 現代における病や健康の意味の変化を理解し、その背景にある疾病構造や社会生活の変化について考察する。 2. エンハンスメントの意味、特に治療との違いを理解するとともに、具体的な事例を通じて、その功罪を検討する。 3. 現代において優生学的思想が持ちうる形を理解し、資本主義社会の特色との関係を説明することができる。 (予習時間30分、復習時間20分)			
14	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	専門職		
	授業内容	1. 専門職の特質について社会学の観点から理解し、官僚制との共通点と相違点を説明できる。 2. 専門家主義の内容を理解し、特定の職業が専門職になることのメリットとデメリットについて考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	勝野		
	テーマ	国際化		
	授業内容	1. 地域・コミュニティ、都市、国民国家の概念を理解し、説明できる。 2. 民族・人種・エスニシティの概念を説明できる。 3. グローバル化がもたらしている今日的な課題について、社会学的な視点から考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
評価方法	1. 後期末定期試験期間に、筆記試験を行う。 (1) 講義で取り上げた用語・概念について、論述筆記する(多肢選択式)。 ※講義で配布した資料を含む紙資料は、すべて持込み可 (2) 受講者の関心を踏まえた課題文を指定し ①論旨を理解しているか否かを問う ②課題文の論旨に対する考えを問う ※課題文は、履修者の関心を踏まえて選定し、第15回講義までに事前配布する 2. 出席状況も評価対象に含める。 3. 講義内で実施するショートレポートの評価を加味して総合的に成績をつける。 4. 本試験の結果が合格点に満たない学生に対しては、必要に応じて、定められた期間中に再試験を実施する。			
教科書	授業ごとに、内容に沿った参考資料・補足資料を配布する。			
参考書	1. 森下伸也『社会学がわかる事典』日本実業出版社、2000年 2. 浅野智彦(編著)『考える力が身につく社会学入門』中経出版、2010年 3. 坏洋一『問いからはじめる社会福祉学 -不安・不利・不信に挑む』有斐閣、2016年 4. 松波めぐみ『「社会モデルで考える」ためのレッスン』生活書院、2024年 5. 日高庸晴『LGBTQ+の健康レポート』医学書院、2024年			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業および課題等に対する質問はメールにて受けつける。 E-mail: katsunoy@gmail.com			
履修上の注意、履修要件	1. 受講者の関心や講義理解の程度に応じた講義展開のため、講義内で適宜ショートレポートを実施する。主体的に取り組むことができる学生の履修が望ましい。 2. 配布する参考資料・参考論文を読んで講義内容の理解に努め、受講後には、講義資料を見返す、図書館を利用するなどして各自、自身の関心を踏まえて十分に学習を深めること。			

講義名	人体の科学入門		
(副題)	基礎科目（数学・自然科学）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 柴崎 智美	医学部教員

担当教員	柴崎 智美・米岡 裕美・高橋 幸子・金田 光平
科目の目標	医療人として自らの力を十分に発揮し、変化する社会のニーズに応えつつ自己実現に努めることができるようになるために必要な学び方、ヒューマンケアの考え方、多職種とチームで活動するための連携力について、基本的な知識と実践方法を身につける。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学における学習態度として、授業の受け方と自己学習法を身につける。</li> <li>2) 社会における医療専門職種の役割を説明できる。</li> <li>3) 大学における学びの特徴について説明できる。</li> <li>4) EBMとNBIMの特徴について説明できる。</li> <li>5) ヒューマンケアの概念を説明できる。</li> <li>6) 生老病死障害について説明できる。</li> <li>7) 健康の概念と専門職の役割について説明できる。</li> <li>8) 命の大切さについて説明できる。</li> <li>9) 老いるとはどのようなことか説明できる。</li> <li>10) リフレクションの方法と意義を説明できる。</li> <li>11) 課題に基づいてレポートを作成することができる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	柴崎		
	テーマ	オリエンテーション		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科目の概要、準備するもの、学習方法について説明できる。</li> <li>2. 学習するために必要となる技術を上げることができる。</li> <li>3. 大学における学びについて説明できる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間20分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	柴崎		
	テーマ	健康の概念		
	授業内容			

1. WHOの健康の定義について説明することができる。
2. 健康の概念の変遷について説明できる。
3. 健康を保持増進するために必要な行動について説明できる。  
(予習時間10分、復習時間20分)

3	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	柴崎		
	テーマ	大学における学び		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校までの学びとの違いについて説明できる。</li> <li>2. 具体的な学習方法を列挙できる。</li> <li>3. 「学び」のためのツールについて説明できる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間20分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	柴崎		
	テーマ	学びの基本		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 傾聴力向上のための方法について説明できる。</li> <li>2. 読解力向上のための方法について説明できる。</li> <li>3. ノートづくりの目的、重要性について説明できる。</li> <li>4. 様々な講義形態に合わせたノートの取り方を説明できる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	高橋		
	テーマ	キャリアデザイン		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワークライフバランスについて説明できる。</li> <li>2. 自らのキャリアについてデザインできる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間20分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	高橋		
	テーマ	生命について		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命の誕生について説明できる。</li> <li>2. 自らの命を大切にすることについて自分の考えを述べることができる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間20分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	柴崎		
	テーマ	医療系専門職種に対する社会のニーズ		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療系専門職種を列挙できる。</li> <li>2. わが国の社会の特徴と将来像について説明できる。</li> <li>3. 医療系専門職の担う役割について説明できる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間20分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	柴崎		
	テーマ	ヒューマン・ケア		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヒューマンケアの理念と行動のあり方について説明できる。</li> <li>2. ケアについて説明できる。</li> <li>3. ケアとキューアの違いについて説明できる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間20分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	柴崎		
	テーマ	EBM (Evidence Base Medicine)とNBM (Narrative Base Medicine)		

授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 根拠に基づく医療の5つのステップを列挙できる。</li> <li>2. データベースや二次文献からのエビデンスの検索方法を説明できる。</li> <li>3. エビデンスの確からしさについて説明できる。</li> <li>4. NBMの概念を説明できる。</li> <li>5. NBMが重要と思われる臨床の場面について説明できる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間20分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	米岡・柴崎・金田		
	テーマ	リフレクション		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 体験を振り返ることの重要性について説明できる。</li> <li>2. リフレクションの方法を説明できる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間20分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	米岡・柴崎・金田		
	テーマ	IPW論 (1)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. IPW (Interprofessional Work)とは何か説明できる。</li> <li>2. 専門職の役割、視点、考え方について説明できる。</li> <li>3. ヒューマンケアについて説明できる。</li> <li>4. グループワークに参加することができる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間20分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	米岡・柴崎・金田		
	テーマ	IPW論 (2)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. チーム形成のプロセスやチーム活動を促進する上で重要なことについて説明できる。</li> <li>2. 多職種連携する上で専門性を高めることの重要性について説明できる。</li> <li>3. 患者・利用者中心の支援計画をチームで作成することができる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間20分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	柴崎		
	テーマ	レポートの作成 (1)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レポートを書くときの手順を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	柴崎		
	テーマ	レポートの作成 (2)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学術論文を書くときに注意すべきことを列挙できる。</li> <li>2. 根拠のある資料とは何か説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	柴崎		
	テーマ	レポートの作成 (3)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テーマに沿ったレポートを指定された書式に合わせて作成できる。</li> <li>2. 引用文献を参照できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期試験期間中に筆記試験を行う。</li> <li>2. 再試験は1回行う。</li> <li>3. 講義の中で課されるレポート、小テスト、受講態度も評価に加える。</li> </ol>			
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. なせば成る！-スタートアップセミナー学習マニュアル、山形大学基盤教育院編、山形大学出版会</li> </ol>			

参考書	<p>1. 保健・医療・福祉のための 専門職連携教育プログラム -地域包括ケアを担うためのヒント-、柴崎智美、米岡裕美、古屋牧子編著、ミネルヴァ書房</p> <p>2. 新しいIPWを学ぶー利用者地域とともに展開する保健医療福祉連携一、埼玉県立大学編、中央法規出版</p>
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</p> <p>【柴崎】</p> <p>講義終了後、教室において、また、随時メールにて質問を受け付ける。</p> <p>E-mail : picorass@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>授業前日にはシラバスの該当部分を予習し、教科書でシラバスで出てくる言葉の意味を調べ、意味を理解しておくこと。</p> <p>講義終了後は、その日の講義内容について、講義ノートや教科書などを用いて理解を深め、課題を解くなど復習し、次の講義までにわからない部分を明らかにしておくようにすること。</p> <p>また、演習内でレポート課題が出た場合には、文献検索や教科書で調査するなど自らの力で課題を解決するよう努力すること。レポートは指示された期限までに提出してください。提出されたレポートは返却時にフィードバックを行います。</p> <p>講義、演習、グループワークなどを予定しているので、積極的に参加すること。講義時間中に配布されるプリントなどは、すべてファイルし、すべての講義に持参すること。講義の中で課される提出物は、すべて提出することを原則とする。</p>

講義名	統計学		
(副題)	基礎科目（数学・自然科学）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 椎橋 実智男	指定なし

担当教員	椎橋実智男
科目の目標	与えられたデータの性質を見極め、そのデータを解析するための統計手法を正しく用いて、データから得られる客観的な事実を示す能力を身につける。また、2年次以降での検査関係科目のための基礎的なデータ処理能力を身につける。なお、本科目の一部は、全学共通データサイエンスAI学修プログラムになっている。全学共通データサイエンスAI学修プログラムは、データサイエンス・AI・数理への関心を高め、かつそれを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成することを目的としている。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医学・医療における統計学の必要性について具体的に説明できる。</li> <li>2) データの分類や性質について説明でき、具体例を示すことができる。</li> <li>3) 得られたデータの特徴を客観的に示すために、記述統計の手法を使うことができる。</li> <li>4) 確率分布の概念を説明でき、代表的な確率分布について確率分布表を使って確率を示すことができる。</li> <li>5) 推測統計の概念を、母集団、標本、確率分布などの用語を使って説明できる。</li> <li>6) 与えられたデータ（標本）について、母集団の推定や検定ができる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	統計処理の基本概念		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 客観的な事実を示すために、統計学が必要とされる理由を説明できる。</li> <li>2. 記述統計と推測統計の違いを説明できる。</li> <li>3. 確率について説明できる。</li> <li>4. 誤差について説明できる。</li> <li>5. 計量データと計数データについて説明でき、それぞれの具体例を示すことができる。</li> <li>6. 名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比尺度について説明でき、それぞれの具体例を示すことができる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	記述統計の概要 1		
	授業内容			

1. データのソートについて説明でき、実施できる。
2. 度数分布表と早退度数分布表について説明でき、作成できる。
3. データの特性に応じ、データの特徴を示すためのグラフを作成することができる。
4. 平均値と中央値の意味を説明でき、それを計算することができる。

(予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	記述統計の概要 2		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 分散と標準偏差について説明でき、それを計算することができる。</li> <li>2. 変動係数について説明でき、それを用いて複数の集団の散布度を比較できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	2変数の相関関係		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与えられたデータから、散布図を作成することができる。</li> <li>2. 散布図から、2変数の相関関係を表現することができる(正の相関、負の相関、無相関)。</li> <li>3. 相関係数の意味を説明でき、それを計算できる。</li> <li>4. 回帰直線の意味を説明でき、回帰係数を計算できる。</li> <li>5. 散布図に回帰直線を引くことができる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月10日(土)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	確率と確率分布 1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 確率分布の意味と特性を説明できる。</li> <li>2. 離散型確率分布と連続型確率分布の違いを説明できる。</li> <li>3. 正規分布の意味を説明し、正規分布にしたがう現象の具体例を示すことができる。</li> <li>4. 正規分布の特徴を述べることができる。</li> <li>5. 正規分布の標準化、すなわち標準正規分布への変換(z変換)ができる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	確率と確率分布 2		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正規分布表を用いて、正規分布にしたがう現象の起こる確率を示すことができる。</li> <li>2. 正規分布を確率モデルとして用い、確率を用いた評価を行うことができる。</li> <li>3. 偏差値を計算し、平均や分散の異なるデータを比較することができる。</li> <li>4. 偏差値から、集団の中の位置を示すことができる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月17日(土)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	推測統計の概要		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 推測統計の概念を、母集団、標本、確率モデルの関係を図示することによって説明できる。</li> <li>2. 母集団と標本の意味を説明できる。</li> <li>3. 標本を用いる必要性を説明できる。</li> <li>4. 無作為抽出、層別抽出、多段抽出など標本抽出の抽出方法を列挙し、その違いを説明できる。</li> <li>5. 乱数表を用いて単純無作為抽出を行うことができる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	区間推定 1		
	授業内容			

1. 区間推定の概念を説明できる。
  2.  $\text{mean} \pm 2SD$  法を用いて、正常範囲を計算することができる。
  3. 区間推定にまつわる、信頼区間、信頼係数（信頼度）を説明することができる。
  4. 与えられたデータから、正規分布を用いた母平均の区間推定を行うことができる。
- （予習時間30分、復習時間30分）

9	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	区間推定 2		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. t 分布の特徴を説明し、t 分布にしたがう現象の具体例を示すことができる。</li> <li>2. t 分布表を用いて、t 分布にしたがう現象の起こる確率を示すことができる。</li> <li>3. 与えられたデータから、t 分布を用いた母平均の区間推定を行うことができる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	仮説検定の概要		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 仮説検定の概念を説明できる。</li> <li>2. 帰無仮説の意味を説明できる。</li> <li>3. 有意水準の意味を説明できる。</li> <li>4. 第1種の過誤、第2種の過誤、検出力について説明できる。</li> <li>5. 仮説検定の手順を箇条書きにして説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	1群の平均値の検定		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与えられたデータから、t 分布を用いた母平均の検定を行うことができる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	2群の平均値の検定 1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対応のないデータと対応のあるデータの違いを説明でき、具体例を示すことができる。</li> <li>2. 対応のない2群の平均値の差の検定を行うことができる。</li> <li>3. 与えられたデータから、F 分布を用いた等分散の検定を行うことができる。</li> <li>4. t 分布を用いた検定を実施する際の前提を説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	2群の平均値の検定 2		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対応のある2群の平均値の差の検定を行うことができる。</li> <li>2. 対応のない検定と対応のある検定の違いを説明でき、使い分けすることができる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		
	テーマ	カイ2乗検定 1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与えられたデータから、分割表を作成することができる。</li> <li>2. カイ2乗分布表を用いて、カイ2乗分布にしたがう現象の起こる確率を示すことができる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	椎橋		

テーマ	カイ2乗検定2
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カイ2乗検定を行う際の、期待値、帰無仮説について説明できる。</li> <li>2. 与えられたデータから、2×2分割表のカイ2乗検定を行うことができる。</li> <li>3. イエーツの補正、フィッシャーの直接確率法について説明できる。</li> <li>4. ケース・コントロール研究について概要を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期試験（論述式）の成績で評価する。</li> <li>2. 不合格者については、定期試験終了後に、再試験を行う。</li> </ol>
教科書	新訂版第2版 看護・医療系のための情報科学入門、椎橋実智男・鈴木康文、サイオ出版
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 診療情報管理〈3〉、武田隆久著、日本病院会</li> <li>2. 生物統計学入門、竹内正弘監訳、丸善出版</li> </ol>
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</p> <p>授業後に教室にて相談を受け付ける。</p> <p>随時、メールにて質問を受け付ける。</p> <p>Email : mshibas@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	授業前日までに教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館で参考書の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛けること。

講義名	数学		
(副題)	基礎科目(数学・自然科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 鈴木 正	医学部教員

担当教員	鈴木 正・勝浦 一雄
科目の目標	解析学の入門として、微積分学を学ぶ。基本的な計算法を習得し、具体例への適用ができるようになることを目指す。
学習の具体的な目標	<p>クラスを二つに分け、二人の教員がそれぞれのクラスを講義する。          学習上の具体的な目標は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 微分の意味するところを説明できる。</li> <li>2) いろいろな関数の微分を計算することができる。</li> <li>3) 微分を使って関数の増減を解析することができる。</li> <li>4) 関数を級数に展開することができる。</li> <li>5) 多変数関数の偏微分を計算し、その関数を解析することができる。</li> <li>6) 関数の積分の意味するところを説明できる。</li> <li>7) いろいろな関数の積分を計算することができる。</li> <li>8) 積分を使った求積問題を解くことができる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	高等学校の数学の復習と基礎調査		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三角関数について説明でき、加法定理を使った計算ができる。</li> <li>2. 指数関数の計算ができる。</li> <li>3. 対数関数について説明でき、対数の計算ができる。</li> </ol> (予習時間20分、復習時間20分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	微分1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 微分の定義と意味を説明できる。</li> <li>2. 微分の基本的性質を使って整式やその積と商の微分計算ができる。</li> </ol> (予習時間10分、復習時間20分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	微分2		
	授業内容	1. 合成関数の微分ができる。 2. 逆関数の微分ができる。 3. 無理関数の微分ができる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	微分3		
	授業内容	1. 対数関数の微分ができる。 2. 指数関数の微分ができる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	微分4		
	授業内容	1. 対数微分法が使える。 2. 三角関数の微分ができる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	微分5		
	授業内容	1. 逆三角関数のグラフを描くことができる。 2. 逆三角関数の微分ができる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	微分6		
	授業内容	1. 複雑な関数の微分を計算できる。 2. 微分係数を用いて接線の式を求めることができる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	微分7		
	授業内容	1. 高次微分を計算できる。 2. テーラー展開を使って関数を級数展開できる。 3. オイラーの公式を使って複素数のべき乗を計算できる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	積分1		
	授業内容	1. 積分の定義と意味を説明できる。 2. 積分の基本公式を使った積分の計算ができる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		

担当者	鈴木・勝浦			
テーマ	積分2			
授業内容	1. 置換積分を使って積分計算ができる。 (予習時間10分、復習時間20分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	積分3		
	授業内容	1. 部分積分を使って積分の計算ができる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	積分4		
	授業内容	1. 分数関数の積分計算ができる。 2. 積分を使ってリーマン和の計算ができる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	積分5		
	授業内容	1. 広義積分の計算ができる。 2. 無限積分の計算ができる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	偏微分1		
	授業内容	1. 偏微分の定義と意味を説明できる。 2. 偏微分の計算ができる。 3. 多変数関数の1次近似式を使って関数の近似値を求めることができる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	2限
	講義室	C207・C208		
	担当者	鈴木・勝浦		
	テーマ	偏微分2		
	授業内容	1. 合成関数の偏微分を計算することができる。 2. 多変数関数の増減を解析し、極大値・極小値を求めることができる。 (予習時間10分、復習時間20分)		
評価方法	1. 定期試験(記述式)の成績(80%)およびレポートの成績(20%)で評価する。 2. 不合格者については、再試験を行う。			
教科書	大学で学ぶやさしい微分積分、水田義弘著、サイエンス社			
参考書	やさしく学べる微分積分、石村園子著、共立出版			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 講義後に教室にて質問、相談を受け付ける。 また、随時メールでも質問を受け付ける。 【鈴木】E-mail: sei01@saitama-med.ac.jp 【勝浦】E-mail: katsuura@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	講義日までに教科書の該当ページを予習し、講義後は教科書の演習問題を解いて、学習内容の理解を深めておくこと。			

講義名	物理学		
(副題)	基礎科目 (数学・自然科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 齋賀 康宏	非常勤教員 (大学外部)

担当教員	齋賀 康宏
科目の目標	物理学は自然現象を説明するだけでなく、現在の科学技術には欠かせない重要な科目となっている。病院で診療や検査に使われる医療機器も物理学の原理を利用している。本講義では力学をはじめとして電磁気学、熱力学、波動、原子などの各分野の基本事項を学習する。また、医療分野との関連、応用例についても触れる。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 力学分野における物理量とその単位を列挙し、基本法則を説明できる。</li> <li>2) 電磁気学分野における物理量とその単位を列挙し、基本法則を説明できる。</li> <li>3) 熱力学分野における物理量とその単位を列挙し、基本法則を説明できる。</li> <li>4) 波動分野における物理量とその単位を列挙し、基本法則を説明できる。</li> <li>5) 原子・原子核・放射線分野における物理量とその単位を列挙し、基本法則を説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	物理学の考え方、国際単位系、有効数字		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物理学の考え方を説明できる。</li> <li>2. 国際単位系における基本単位と組立単位を説明できる。</li> <li>3. 有効数字の考え方に基づいた計算が実行できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	直線運動：位置、速度、加速度、等加速度運動		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 直線運動の位置、速度、加速度の概念を説明できる。</li> <li>2. 直線運動の等加速度運動の公式を説明できる。</li> <li>3. 自由落下運動における落下速度、落下距離を計算できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	1限

講義室	C203			
担当者	齋賀			
テーマ	平面・空間運動：位置、速度、加速度、放物運動			
授業内容	1. 平面・空間運動の位置ベクトル、速度ベクトル、加速度ベクトルの概念を説明できる。 2. 放物運動における速度、位置の式を書き、そこから最高点の高さや水平到達距離などの量を計算できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	運動の3法則、運動量と力積、垂直抗力と摩擦力		
	授業内容	1. ニュートンの運動の3法則を説明できる。 2. 運動量の変化と力積の関係を説明できる。 3. 垂直抗力、摩擦力について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	力のモーメント(トルク)、剛体のつりあい		
	授業内容	1. 力のモーメントの概念を説明できる。 2. 剛体に作用する力のつりあい条件を説明し、具体的な問題に適用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	仕事、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー保存則		
	授業内容	1. 仕事、仕事率の概念を説明できる。 2. 運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの概念を説明できる。 3. 力学的エネルギー保存則を説明し、具体的な問題に適用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	電荷と電荷保存則、電流、クーロンの法則、電場、電位		
	授業内容	1. クーロンの法則を説明し、電荷間に働く力を計算できる。 2. 電場の概念を説明し、電荷のつくる電場を計算できる。 3. 電位の概念を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	導体と電場、キャパシター(コンデンサー)、オームの法則、キルヒホッフの法則、電力		
	授業内容	1. キャパシターの働きを説明し、平行板キャパシターの電気容量やキャパシターの合成容量を計算できる。 2. オームの法則とキルヒホッフの法則を説明し、それらを使って回路の電流・電圧を計算できる。 3. 電力(電流の仕事率)を説明し、具体例で計算できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	磁石と磁場、電流のつくる磁場、ローレンツ力、電磁誘導		
	授業内容	1. 電流のつくる磁場を典型的な例で計算できる。 2. 運動する荷電粒子に作用する磁気力、および電流に作用する磁気力を説明できる。 3. 電磁誘導の法則を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

10	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	交流回路(抵抗、キャパシター、コイルを含む)のインピーダンス		
	授業内容	1. 交流回路における抵抗、キャパシター、コイルそれぞれの性質を説明できる。 2. 抵抗、キャパシター、コイルからなる直列回路のインピーダンスを計算できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	熱と温度、熱の移動、理想気体、熱力学の法則、熱機関		
	授業内容	1. 温度と熱の概念を説明できる。 2. 熱力学の第1法則と第2法則を説明できる。 3. 熱機関とその効率について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	波の性質、波の重ね合わせの原理、波の反射・屈折、定在波		
	授業内容	1. 波の振動数、波長、速さとそれらの関係を説明できる。 2. 波の反射の法則、屈折の法則を説明できる。 3. 波の干渉と定在波について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	音波、超音波、ドップラー効果、光波		
	授業内容	1. 音波と超音波の性質を説明できる。 2. ドップラー効果とその応用例を説明できる。 3. 光の反射・屈折とその応用例を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	原子の構造、金属・絶縁体・半導体、半導体の応用		
	授業内容	1. 原子の構造とそのエネルギー準位、原子からの光の放射について説明できる。 2. 金属・絶縁体・半導体の違いを説明できる。 3. 半導体の応用例を挙げることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	齋賀		
	テーマ	原子核の構成、放射能、放射線		
	授業内容	1. 原子核の構成要素を説明できる。 2. 放射線の種類、電離作用について説明できる。 3. 放射線の応用例を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		演習・レポートなどの課題(40%)と定期試験(60%)で評価する。		
教科書		『物理学入門(第3版)』、原康夫、学術図書出版社		
参考書		『医歯薬系の物理学』、林一(他)、丸善出版		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に教室にて相談を受け付ける。 随時、メールにて質問を受け付ける。 Email: ysaiga9@gmail.com		

履修上の注意、履修要件

予習としては教科書の該当部分を読んでおくこと。復習としては講義ノートを見直し、物理量の定義とその単位、基本法則を再現できるようにしておくこと。講義で扱った演習問題はもう一度解き直しておくこと。  
(予習時間30分、復習時間30分)

講義名	物理学実験		
(副題)	基礎科目(数学・自然科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	実験
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 鈴木 正	医学部教員

担当教員	鈴木 正・水谷 諭史・勝浦 一雄・齋賀 康宏
科目の目標	物理現象とその法則について実験を通して実証的に習得し、同時に、物理的機器の取り扱い、データの処理、レポートのまとめ方などの能力を身につける。
学習の具体的な目標	<p>種々の実験を通じて、以下の態度・能力を修得することを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実験の目的と原理を理解し、手順に従って実験を進めることができる。</li> <li>2) 実験機器の原理と使用法を理解し、活用することができる。</li> <li>3) 実験を行うにあたっての態度、注意点を身に付けることができる。</li> <li>4) 実験で得られたデータを処理し、結論を導き出すことができる。</li> <li>5) 実験の目的に従った適切な報告書を作成することができる。</li> <li>6) 実験を通して、物理現象とそれに関わる法則への理解を深め、応用することができる。</li> </ol> <p>本講で行う実験テーマは以下の通り。この中から各人に指定された実験を毎回ローテーションで行う。</p> <p>&lt;実験テーマ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・密度測定 ノギス、マイクロメーター、電子天秤を使って金属の密度を求めることができる。</li> <li>・テスター テスターを使って種々の電流量を測定し、回路の理論を検証することができる。</li> <li>・オシロスコープ オシロスコープを使って電気信号の波形分析を行うことができる。</li> <li>・音速 気柱の共鳴現象を用いて、音の伝搬速度を求めることができる。</li> <li>・超音波 超音波の伝搬の特徴を実験によって示すことができる。</li> <li>・レーザー レーザーの回折、干渉を観測することにより、光の波動性を検証し、その波長を測定することができる。</li> <li>・重力加速度 物体の自由落下の観測から重力加速度を求めることができる。</li> <li>・半導体 種々の半導体の電気特性を測定し、その働きを説明することができる。</li> <li>・電磁波 電磁波の反射、回折などの実験を行い、電磁波の性質について説明することができる。</li> <li>・弾性体 物質の弾性を表すヤング率を測定し、物の硬さ・柔らかさを定量的に説明することができる。</li> </ul>

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	3限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	物理学実験1：ガイダンスと基礎実験		
	授業内容	<p>1. 物理学実験の目的、原理、実験方法、実験の進め方についての概要説明。  2. データの処理と結論の導き方。  3. 報告書の作成と提出の方法。  4. ノギス・マイクロメータ、天秤を使用した金属の密度測定実験。  (予習時間20分)  実験レポートを作成する(作成時間4時間)。レポートは次週の授業開始時に提出すること。次週の実験後にレポートのフィードバックを行う。</p>		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	4限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
3	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	5限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
4	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	3限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	物理学実験2		
	授業内容	<p>4～6名のグループを編成し、「学習の具体的な目標」に挙げた実験テーマの中から、指定された実験を行う。  (予習時間20分、復習時間20分)</p>		
5	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	4限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	5限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	3限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	物理学実験3		
	授業内容	<p>4～6名のグループを編成し、「学習の具体的な目標」に挙げた実験テーマの中から、指定された実験を行う。  (予習時間20分)  実験レポートを作成する(作成時間4時間)。レポートは次週の授業開始時に提出すること。次週の実験後にレポートのフィードバックを行う。</p>		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	4限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		

授業内容	"			
9	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	5限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
10	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	3限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	物理学実験4		
	授業内容	4~6名のグループを編成し、「学習の具体的な目標」に挙げた実験テーマの中から、指定された実験を行う。 (予習時間20分) 実験レポートを作成する(作成時間4時間)。レポートは次週の授業開始時に提出すること。次週の実験後にレポートのフィードバックを行う。		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	4限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	5限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	3限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	物理学実験5		
	授業内容	4~6名のグループを編成し、「学習の具体的な目標」に挙げた実験テーマの中から、指定された実験を行う。 (予習時間20分) 実験レポートを作成する(作成時間4時間)。レポートは次週の授業開始時に提出すること。次週の実験後にレポートのフィードバックを行う。		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	4限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	5限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
16	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	3限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	物理学実験6		
	授業内容	"		

4～6名のグループを編成し、「学習の具体的な目標」に挙げた実験テーマの中から、指定された実験を行う。  
(予習時間20分、復習時間20分)

17	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	4限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
18	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	5限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
19	年月日(曜日)	令和 7年07月26日(土)	時限	1限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	行った実験についてのまとめを実施する。 (予習時間60分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年07月26日(土)	時限	2限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	行った実験についての小テストを実施する。 (予習時間20分、試験時間70分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	3限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	物理学実験7		
	授業内容	4～6名のグループを編成し、「学習の具体的な目標」に挙げた実験テーマの中から、指定された実験を行う。 (予習時間20分、復習時間20分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	4限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
23	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	5限
	講義室	B205・C209・C210		
	担当者	鈴木・水谷・勝浦・齋賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		

評価方法	定期試験、再試験は行わない。レポート(80%)、小テスト(20%)の成績で評価する。基準に満たないレポートは再提出になる。
教科書	初回実験日に各実験テーマの説明書を配布する。また、毎回実験の初めに補助資料を配布する。
参考書	なし
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 実験中または実験後、教室にて質問、相談を受け付ける。また、随時メールでも質問を受け付ける。 E-mail : 【鈴木】 sei01@saitama-med. ac. jp

	<p>【水谷】 mizutani@saitama-med.ac.jp  【勝浦】 katsuura@saitama-med.ac.jp  【齋賀】 ysaiga9@gmail.com</p>
履修上の注意、履修要件	<p>実験ガイダンスの際に、各回でどのテーマの実験を行うかを示す個人別実験テーマ割当表を配布する。実験日までに、実験テーマ割当表で実験テーマを確認し、教科書で実験内容の概要を把握しておくこと。また、実験終了時、担当教員が実験結果をチェックするが、その際、データの測定法について問われたときには答えられるように準備しておくこと。実験のレポートは次回の実験日に提出。レポートに誤りや不備がある場合は、指摘された部分を修正し、再度レポートを提出することになる。実験を欠席した場合は後日再実験を行う。</p>

講義名	化学 I		
(副題)	基礎科目 (数学・自然科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 土田 敦子	医学部教員

担当教員	土田 敦子
科目の目標	地球上の物質は全て原子・分子を構成要素としている。原子・分子の性質を知る、すなわち化学を学ぶことはあらゆる事象を本質から理解することにつながる。臨床検査学科で学ぶ臨床化学、生化学、薬理学といった専門基礎科目においても化学の知識はその土台をなしており、化学を学ぶことは必要不可欠である。本科目では化学の基本的知識を身につけ、活用することができるようになることを目標とする。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>物質の量 <ul style="list-style-type: none"> <li>原子量・分子量、モル、アボガドロ定数を説明できる。</li> <li>モル濃度、質量モル濃度を説明できる。</li> <li>物質量 (mol) および濃度の計算ができる。</li> </ul> </li> <li>物質の構造 <ul style="list-style-type: none"> <li>純物質と混合物、単体と化合物、原子・分子について説明できる。</li> <li>原子の構造 (電子、陽子、中性子)、電子配置、同位体、八隅子則を説明できる。</li> <li>周期表の構成、イオン化ポテンシャル、電気陰性度、電子親和力、原子軌道について説明できる。</li> <li>化学結合を説明できる。</li> </ul> </li> <li>物質の状態 <ul style="list-style-type: none"> <li>物質の状態図を説明できる。</li> <li>気体、液体、固体、コロイドの物質の状態を説明できる。</li> <li>ボイル・シャルルの法則、ドルトンの分圧の法則、気体の状態方程式を説明できる。</li> <li>溶解度、凝固点降下、沸点上昇を説明できる。</li> </ul> </li> <li>物質の変化 <ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応式、酸化還元反応を説明できる。</li> <li>酸・塩基と塩の定義と性質を説明できる。</li> <li>pHと水素イオン濃度、酸・塩基滴定 (中和滴定) を説明できる。</li> <li>水素イオン濃度の計算ができる。</li> </ul> </li> </ol>

授業計画表				
1	年月日 (曜日)	令和 7年04月17日 (木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	原子の構造と放射線 (第1章)		
	授業内容			

1. オリエンテーション (10分程度)
  2. 生体の構成元素を説明できる。
  3. 原子の構造を説明できる。
  4. 同位体を説明できる。
  5. 原子核の反応を説明できる。
  6. 放射能と放射線を説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

2	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	原子の電子構造 (第2章)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電子殻を説明できる。</li> <li>2. 軌道の形とエネルギー準位を説明できる。</li> <li>3. 電子配置を説明できる。</li> <li>4. 最外殻と価電子を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	周期表と元素 (第3章)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周期表の構成を説明できる。</li> <li>2. 元素の性質を説明できる。</li> <li>3. イオン化エネルギーを説明できる。</li> <li>4. 電子親和力を説明できる。</li> <li>5. 電気陰性を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	化学結合と分子1 (第4章)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イオン結合を説明できる。</li> <li>2. 共有結合を説明できる。</li> <li>3. 配位結合を説明できる。</li> <li>4. 金属結合を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	化学結合と分子2 (第4章)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 結合の極性を説明できる。</li> <li>2. 分子の極性を説明できる。</li> <li>3. 水素結合を説明できる。</li> <li>4. ファンデルワールス力を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	物質の量1 (第5章)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原子量、分子量について説明できる。</li> <li>2. アボガドロ定数について説明できる。</li> <li>3. 物質量(mol)の計算ができる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	物質の量2 (第5章)		
	授業内容			

1. 濃度について説明できる。
  2. パーセント濃度の計算ができる。
  3. モル濃度の計算ができる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

8	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	物質の量3 (第5章)		
	授業内容	1. オスモル濃度の計算ができる。 2. グラム当量の計算ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	物質の量4 (第5章)		
	授業内容	1. 希釈前・希釈後の溶液の濃度計算ができる。 2. パーセント濃度からモル濃度への換算ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	物質の状態 (第5章)		
	授業内容	1. 物質の三態を説明できる。 2. 気体の法則(ボイルの法則・シャルルの法則・ドルトンの分圧)を説明できる。 3. 状態図を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	溶液の化学1 (第6章)		
	授業内容	1. 溶解を説明できる。 2. 溶解度を説明できる。 3. 蒸気圧を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	溶液の化学2 (第6章)		
	授業内容	1. 浸透圧を説明できる。 2. 等張液・低張液・高張液を説明できる。 3. コロイドを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	酸・塩基1 (第7章)		
	授業内容	1. 酸・塩基を定義し、説明できる。 2. 中和について説明できる。 3. pHを計算できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	酸・塩基2 (第7章)		

授業内容	1. 電離平衡について説明できる。 2. 電離定数を説明できる。 3. 緩衝作用について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
15	年月日(曜日)	令和 7年07月24日(木)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	土田		
	テーマ	酸化・還元2(第7章)		
	授業内容	1. 酸化・還元を定義し、説明できる 2. 酸化数を説明できる。 3. 酸化還元反応を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験(90%)と課題(10%)の成績で評価する。 2. 再試験の有無: 有			
教科書	コ・メディカル化学[改訂版] -医療・看護系のための基礎化学- 齋藤勝裕 他、裳華房			
参考書	ブラディー一般化学(上・下) J.E. Brady 他、東京化学同人			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問は随時メールで受け付ける。 E-mail: n_tsuchi@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	講義で使用するレジュメは事前配布する。授業前日までにレジュメを用いて教科書の該当ページを予習し、授業後には授業内で実施した演習問題または講義後にに提示する課題を中心に教科書・参考書を用いて学習内容の見直しを行うこと。(予習時間30分、復習時間30分) 提出された課題は採点し、締め切りから1週間後に返却する。 疑問点・理解が難しい点があればそのまま放置せずに質問してください。			

講義名	化学Ⅱ		
(副題)	基礎科目(数学・自然科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 森口 武史	医学部教員

担当教員	森口 武史
科目の目標	臨床検査技師になるための基礎的な化学についての知識を身につけ、生化学、生理学、薬理学などのバックグラウンドとして、有機化合物・生体化学成分についての基本を深く学ぶ。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有機化合物の種類について説明することができる。</li> <li>2. 有機化合物の構造を描くことができる。</li> <li>3. 異性体について理解し、その構造を描くことができる。</li> <li>4. 有機化合物の反応の種類について説明することができる。</li> <li>5. 基本的な化学反応を示すことができる。</li> <li>6. 糖および多糖類について説明し、それらの構造を描くことができる。</li> <li>7. 脂質について説明し、その構造を描くことができる。</li> <li>8. アミノ酸およびタンパク質について説明し、その構造を描くことができる。</li> <li>9. 核酸について説明し、その構造を描くことができる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	有機化学の基礎		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有機化学の定義と意義について説明できる。</li> <li>2. 確認テスト (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	有機化合物の構造1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有機化合物の結合について説明できる。</li> <li>2. 炭化水素の種類について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	1限

講義室	C203			
担当者	森口			
テーマ	有機化合物の構造2			
授業内容	1. 置換基の種類について説明できる。 2. 有機化合物の種類（芳香族化合物、アルコール、アルデヒド、カルボン酸、アミン、ニトロ化合物）について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	異性体と立体化学		
	授業内容	1. 異性体について説明できる。 2. 構造異性体について説明できる。 3. 立体異性体について説明できる。 4. 光学異性体（D体、L体）について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	有機化学反応1		
	授業内容	1. 有機化合物の酸化還元反応について説明できる。 2. 置換反応について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	有機化学反応2		
	授業内容	1. 脱離反応と縮合について説明できる。 2. 付加反応について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	演習1		
	授業内容	1. 1回目から6回目までの講義内容の復習と演習を行う。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	高分子化合物1		
	授業内容	1. 高分子化合物の種類について説明できる。 2. 高分子化合物の分子構造について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	高分子化合物2		
	授業内容	1. 高分子化合物の性質について説明できる。 2. 機能性高分子について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		

テーマ	糖類と脂質1			
授業内容	1. 単糖類と二糖類について説明できる。 2. 多糖類について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	糖類と脂質2		
	授業内容	1. 脂質について説明できる。 2. 誘導脂質について説明できる。 3. 脂質と生体膜との関連について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	アミノ酸とタンパク質1		
	授業内容	1. アミノ酸の種類について説明できる。 2. 等電点と電気泳動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	アミノ酸とタンパク質2		
	授業内容	1. ポリペプチドについて説明できる。 2. タンパク質の立体構造について説明できる。 3. タンパク質の種類と機能について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	核酸		
	授業内容	1. 核酸の構造について説明できる。 2. DNAとRNAの違いについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	森口		
	テーマ	演習2		
	授業内容	1. これまでのまとめと演習を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 授業中の演習テスト(45%)、定期試験(45%)、出席状況(10%)で評価する。 2. 再試験の有無:有			
教科書	コ・メディカル化学(改訂版)-医療・看護系のための基礎化学- 齋藤勝裕 他、裳華房(前期「化学I」と同じ)			
参考書	1. 化学 基本の考え方を中心に、Alan Sherman他著、東京化学同人 2. バイオサイエンス化学-生命から学ぶ化学の基礎-、新井孝夫他著、東京化学同人 3. グレイ 化学-物質と人間-、Gray.H.B. 他著、東京化学同人 4. 臨床検査学講座 化学、岡崎三代 他、医歯薬出版			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に教室にて相談を受け付ける。 また、随時、メールにて質問を受け付ける。 メール: tksmorig@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	毎回の「授業内容」に書かれた項目について、教科書の該当箇所をあらかじめよく読んでおくこと。また、授業で出てくる化合物の構造、性質、反応などが説明できるよう、教科書、ノート、配布資料をもとにまとめて試験に臨むこと。			

講義名	化学実験		
(副題)	基礎科目 (数学・自然科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	実験
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 森口 武史	医学部教員

担当教員	森口 武史・土田 敦子・山本 梓司
科目の目標	実習を通して器具、分析機器、試薬などの取り扱いを学び、化学現象に対する観察眼を養う。また、臨床検査技師としての基本技術・姿勢を習得することを目標にする。
学習の具体的な目標	<p>実習を通して、以下1～8について習得することを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 信頼性ある実験データをとることができる。</li> <li>2. 化学実験に必要な基本的な操作や器具の適切な使用ができる。</li> <li>3. 測定値の精度、有効数字を理解し計算できる。</li> <li>4. 溶液のモル濃度が計算できる。</li> <li>5. 化学反応式がかけられる。</li> <li>6. 反応速度について説明できる。</li> <li>7. 機器分析や薄層クロマトグラフィー (TLC) を理解し、正しく扱うことができる。</li> <li>8. 実験結果をまとめ、レポートを作成できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	ガイダンス、基本操作		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 化学実験の進め方を説明できる。</li> <li>2. 電子天秤による秤量ができる。</li> <li>3. 規定された濃度の溶液調製ができる。</li> <li>4. ピペットによる分注ができる。</li> <li>5. モル濃度の計算ができる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		

3	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	5限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	中和滴定		
	授業内容	1. 標準液の調製ができる。 2. pHメーターを用いた中和滴定ができる。 3. 指示薬を用いた中和滴定ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	5限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
7	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	反応速度		
	授業内容	1. 過酸化水素水および塩化鉄水溶液の調製ができる。 2. 過酸化水素の分解速度の測定ができる。 3. 反応速度の計算ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
9	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	5限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	陽イオンの定性分析		
	授業内容	1. 様々な陽イオンの沈殿反応を観察し、その反応の原理について説明できる。 2. 炎色反応を観察し、その原理について説明できる。 3. 系統分離について考え、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	4限

講義室	B203			
担当者	森口・土田・山本			
テーマ	"			
授業内容	"			
12	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	5限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	吸収スペクトル		
	授業内容	1. 吸収スペクトルの原理について説明できる。 2. 検量線の作成ができる。 3. 濃度未知の水溶液の鉄イオン濃度の定量ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	5限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
16	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	クロマトグラフィー		
	授業内容	1. クロマトグラフィーの原理について説明できる。 2. TLCの手法を理解し、操作することができる。 3. Rf値の計算と化合物の同定ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
18	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	5限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
19	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	6,6-ナイロンの合成		

授業内容	1. 6,6-ナイロンの合成ができる。 2. 合成の化学反応式がかける。 3. 反応条件について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
20	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
21	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	5限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
22	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	総合演習		
	授業内容	1. 今までの実習のまとめと演習を行う。 2. 実験ノート提出。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	森口・土田・山本		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		

評価方法	<p>実験態度、レポート(実験ノート提出)、総合演習、出席による総合評価を行う。定期試験および再試験は行わない。 レポートは以下の点に注意して作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 目的、実験方法、結果、考察が正しく書けているか。</li> <li>2. 結果(濃度など)が正しく計算されているか。</li> <li>3. 誤字、脱字がなく、用語が正しく用いられているか。</li> </ol> <p>なお、各実習のレポートに対し、コメントを返す。</p>
教科書	臨床検査学科編「化学実習2025」テキスト(開講時配布)
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 化学基礎実験(改稿)、丸太銓二郎著、三共出版</li> <li>2. 実験化学講座、日本化学会、丸善出版</li> <li>3. 有機化学実験、フィーザー・L.F.他、丸善出版</li> <li>4. 続 実験を安全に行うために、化学同人編集部編、化学同人</li> </ol>
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 実験中、教室にて相談を受け付ける。 また、随時、メールにて質問を受け付ける。 【森口武史】E-mail: tksmorig@saitama-med.ac.jp 【土田敦子】E-mail: n_tsuchi@saitama-med.ac.jp 【山本梓司】E-mail: shinjiy@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>実習前日までに実習書の該当部分を予習し、実習内容を理解しておくこと。実習後はレポート作成のための文献検索や参考書での確認を怠らないこと。レポートは指定された期日までに提出すること。 また、実験に必要な物は以下の通り(各自準備)。 白衣 上履き用スニーカー 化学実験用ノート(B5版サイズを使用。ルーズリーフ等、ばらける物は不可。当日必ず持参すること。) 計算機 定規 方眼紙(1mm) 付箋紙</p>

講義名	生物学		
(副題)	基礎科目(数学・自然科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 大間 陽子	医学部教員

担当教員	大間 陽子
科目の目標	生物について学ぶことは、生物として生きている自らを理解するというだけでなく、生きていく上で様々な選択を迫られる際に役立つ予備知識を手に入れることでもある。感染症、薬効機序、生殖医療、栄養素、遺伝子組換え食品、等について真に理解するため、人を中心とした生物学の基礎を学ぶ。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生体内の分子の構造とその主な役割を説明できる。</li> <li>2) DNAの複製や修復の仕組みを説明できる。</li> <li>3) 遺伝子の転写、翻訳の仕組みを説明できる。</li> <li>4) 様々な遺伝子工学の手法について説明できる。</li> <li>5) 細胞内小器官の名前とその主な機能を説明できる。</li> <li>6) 細胞の情報伝達について説明できる。</li> <li>7) 細胞骨格タンパク質の構造と機能を説明できる。</li> <li>8) 細胞周期について説明できる。</li> <li>9) 減数分裂と受精について説明できる。</li> <li>10) 様々な遺伝子変異の種類と、その遺伝形式を説明できる。</li> <li>11) 体液性免疫と細胞性免疫の概略を説明できる。</li> <li>12) 細胞外マトリックス、細胞間の結合様式について説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	1限
	講義室	G203		
	担当者	大間		
	授業内容	テーマ 生体内の分子 1. 生体内の主な巨大分子の構造と役割を説明できる。 2. ATPについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	1限
	講義室	G203		
	担当者	大間		
	授業内容	テーマ タンパク質の構造と機能		

1. タンパク質の一次～四次構造について、それぞれ説明できる。
  2. 生体内で働く酵素の例を挙げて説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	DNAと染色体、DNAの複製		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 真核生物の染色体の構造を説明できる。</li> <li>2. 遺伝子と染色体、ゲノムの関係について説明できる。</li> <li>3. DNAの複製や修復の仕組みを説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	DNAからRNAへ(転写)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. DNAとRNAの違いを説明できる。</li> <li>2. DNAからRNAが転写される仕組みを説明できる。</li> <li>3. 真核生物のRNAプロセッシングについて説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	RNAからタンパク質へ(翻訳)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. RNAからタンパク質が作られる仕組みを説明できる。</li> <li>2. セントラルドグマについて説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	遺伝子とゲノムの解析		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. PCRについて説明できる。</li> <li>2. 様々な遺伝子工学の手法について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	生体膜と細胞内小器官		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生体膜の構造について説明できる。</li> <li>2. 各細胞内小器官について、名前と主な機能を説明できる。</li> <li>3. グルコースからATPが作られる仕組みを説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	細胞の情報伝達		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細胞の情報伝達とは何かを説明できる。</li> <li>2. 代表的な情報伝達経路について具体的に説明できる。</li> <li>3. 神経細胞の2種類の情報伝達について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	細胞骨格		
	授業内容			

1. 各細胞骨格タンパク質の構造と機能を説明できる。
  2. 筋収縮の仕組みを説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

10	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	細胞周期		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細胞周期について説明できる。</li> <li>2. 有糸分裂の過程を説明できる。</li> <li>3. がん細胞について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	減数分裂と受精		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 減数分裂の過程を説明できる。</li> <li>2. 哺乳類の受精の仕組みを説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	遺伝		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. メンデルの法則を説明できる。</li> <li>2. 様々な遺伝子変異の種類と、その遺伝形式を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	免疫		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 免疫に関わる各分子・細胞の名前と、その役割を説明できる。</li> <li>2. 体液性免疫と細胞性免疫の仕組みをそれぞれ説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	細胞の作る社会		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細胞外マトリックスについて説明できる。</li> <li>2. 細胞間の結合様式について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大間		
	テーマ	まとめ・演習		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. これまでの講義で学んだ各内容を自分の言葉で説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	定期試験の成績および出席状況を総合的に判断して評価する。不合格者がいた場合は再試験を行う。
教科書	サイエンスビュー 生物総合資料, 長野敬、牛木辰男 監修, 実教出版 ISBN : 978-4-407-36315-9
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Essential細胞生物学 原書第5版, 中村桂子/松原謙一/榊佳之/水島昇 監訳, 南江堂</li> <li>2. 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 第4版, 和田勝 著, 羊土社</li> </ol>
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどは下記の機会を利用すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業後に教室にて質問を受け付ける。</li> <li>・ 随時、WebClassのメッセージ機能においても質問を受け付ける。</li> </ul>

履修上の注意、履修要件

授業毎に小テストを課し、その内容について次の授業で解説する。定期試験までに、各回の授業内容と小テスト内容を理解しておくこと。予習は、シラバスに示す授業内容を教科書で確認すること（予習30分）。復習は、授業で配布した資料の内容を確認し、小テストに解答すること（復習30分）。

講義名	生物学実験		
(副題)	基礎科目(数学・自然科学)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	実験
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日	金曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 川村 勇樹	医学部教員

担当教員	川村 勇樹・山賀 貴
科目の目標	主に顕微鏡を用いて、細胞・組織の標本作製及び観察を行う。種々の実験を通して各細胞のもつ構造・機能的特徴を理解し、同時に生物材料の基本的な取扱法や標本作製法、光学顕微鏡の使用法を習得する。また、PCRに関する基礎的な実験を行うことにより分子生物学的な実験操作を体験する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 光学顕微鏡を正しく操作し、マイクロメータを用いて生物試料の形態を正確に測定できる。</li> <li>2) パンウニの初期発生段階標本を検鏡し、その発生段階を推定できる。</li> <li>3) 植物の体細胞分裂の観察標本作製・検鏡し、体細胞分裂の段階を推定できる。</li> <li>4) 植物細胞(タマネギ鱗茎表皮細胞)の観察標本作製・検鏡し、観察結果から細胞膜の半透性及び浸透圧、膨圧、原形質分離や植物の剛性維持の仕組みを説明できる。</li> <li>5) ヒト血液細胞の観察標本作製・検鏡し、血球の種類を同定できる。</li> <li>6) 血球計数盤を用いてヒト血球を正確に計数し、末梢血中の赤血球・白血球の存在比を算出できる。</li> <li>7) PCRのサンプルを調整して与えられたDNAの断片を増幅し、それを電気泳動で解析することができる。</li> </ol>

授業計画表				
A班				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	光学顕微鏡及びマイクロメータの取扱い、使用法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実験室使用におけるルールやマナーについて述べるができる。</li> <li>2. 光学顕微鏡の操作を習得し、マイクロメータを使用して生物試料の大きさを計測できる。(予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	5限

講義室	B207			
担当者	川村・山賀			
テーマ	"			
授業内容	"			
4	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	ウニの初期発生 of の仕組み		
	授業内容	1. ウニの初期発生 of の仕組みを説明できる。 2. 卵割と体細胞分裂の違いについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	体細胞分裂の観察		
	授業内容	1. 植物の体細胞分裂の観察に適した部位から標本を作製できる。 2. 植物の根端細胞の体細胞分裂過程について説明できる。 3. 細胞分裂と細胞の成長をキーワードに、「個体の成長」について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	植物細胞の観察(浸透圧・膨圧の役割)		
	授業内容	1. 植物細胞(タマネギ鱗茎表皮細胞)の観察標本を作製できる。 2. 植物細胞と動物細胞の構造上の違いについて説明できる。 3. 細胞膜の半透性及び浸透圧・膨圧をキーワードに、原形質分離の仕組みを説明できる。 4. 新鮮な野菜としおれた野菜や漬物野菜の間の「固さの違い」の仕組みを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	4限
	講義室	B207		

担当者	川村・山賀			
テーマ	"			
授業内容	"			
12	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	ヒト血液Ⅰ：血液細胞の観察		
	授業内容	1. 自己血液を微量採血し、ヒト血液細胞の観察標本を作製できる。 2. 血液細胞(血球)の種類や働きについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
16	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	ヒト血液Ⅱ：血液細胞の計数		
	授業内容	1. 血球計数盤を用いて総血球数及び白血球数を計数できる。 2. 計数データに基づき、末梢血中の赤血球数・白血球数及びその存在比を算出できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
18	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
19	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	PCRを用いたDNAの増幅		
	授業内容			

1. PCRの原理を理解し、プライマーを設計することができる。
  2. PCR反応液の調整ができ、PCRの反応プログラムを設定して増幅反応を行える。
  3. PCR産物の電気泳動を行い増幅反応の確認ができる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

20	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
21	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
22	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	3限
	講義室	C203		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 本実習の各実験の目的を理解し、各自が、それぞれの実際に得られた実験結果の妥当性について説明することができる。 2. 自分で書いたレポートが適切に書かれているか見直して、それを修正することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	4限
	講義室	C203		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		

#### B班

1	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	光学顕微鏡及びマイクロメータの取扱い、使用法		
	授業内容	1. 実験室使用におけるルールやマナーについて述べるができる。 2. 光学顕微鏡の操作を習得し、マイクロメータを使用して生物試料の大きさを計測できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	ウニの初期発生仕組み		

授業内容	1. ウニの初期発生の仕組みを説明できる。 2. 卵割と体細胞分裂の違いについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
5	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	体細胞分裂の観察		
	授業内容	1. 植物の体細胞分裂の観察に適した部位から、標本を作製できる。 2. 植物の根端細胞の体細胞分裂過程について説明できる。 3. 細胞分裂と細胞の成長をキーワードに、「個体の成長」について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	植物細胞の観察(浸透圧・膨圧の役割)		
	授業内容	1. 植物細胞(タマネギ鱗茎表皮細胞)の観察標本を作製できる。 2. 植物細胞と動物細胞の構造上の違いについて説明できる。 3. 細胞膜の半透性及び浸透圧・膨圧をキーワードに、原形質分離の仕組みを説明できる。 4. 新鮮な野菜としおれた野菜や漬物野菜の間の「固さの違い」の仕組みを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		

13	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	ヒト血液Ⅰ：血液細胞の観察		
	授業内容	1. 自己血液を微量採血し、ヒト血液細胞の観察標本を作製できる。 2. 血液細胞(血球)の種類や働きについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
16	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	ヒト血液Ⅱ：血液細胞の計数		
	授業内容	1. 血球計数盤を用いて総血球数及び白血球数を計数できる。 2. 計数データに基づき、末梢血中の赤血球数・白血球数及びその存在比を算出できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
18	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	5限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
19	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	PCRを用いたDNAの増幅		
	授業内容	1. PCRの原理を理解し、プライマーを設計することができる。 2. PCR反応液の調整ができ、PCRの反応プログラムを設定して増幅反応を行える。 3. PCR産物の電気泳動を行い増幅反応の確認ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
21	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	5限
	講義室	B207		

担当者	川村・山賀			
テーマ	"			
授業内容	"			
22	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	3限
	講義室	C203		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 本実習の各実験の目的を理解し、各自が、それぞれの実際に得られた実験結果の妥当性について説明することができる。 2. レポートが適切に書かれているか見直して、それを修正することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	4限
	講義室	C203		
	担当者	川村・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
評価方法	1. 実験レポートと出席状況、実習態度で評価する。 2. 定期試験は行わない。(再試験は行わない。)			
教科書	プリント配布(実習の手引き)			
参考書	サイエンスビュー生物総合資料— 生物基礎・生物・科学と人間生活対応、実教出版 ISBN:978-4-407-36315-9			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に教室にて相談を受け付ける。 また、随時、メールにても質問を受け付ける。 川村勇樹:kawamura@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	予習として実習書の該当部分を確認し、さらに参考書等を利用して実習の目的をよく理解しておくこと。 実習中は、教員の説明をよく聞き、理解して安全に作業すること。 進行状況により、実習の終了時間が遅くなることもありうる。 実験レポートは、その提出期限を厳守すること。 復習として、返却されたレポートを確認し、指摘された箇所がある場合はその理由を理解する。			

講義名	英語 I		
(副題)	基礎科目 (外国語)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 上滝 圭介	共通教育部門教員

担当教員	上滝 圭介・青木 啓子・オニヤヌシ ビオラ・深山 美樹
科目の目標	国際語としての英語を運用するための基礎的な力を養うことを科目の目標とする。基本的な文法を整理、確認しつつ、使用頻度の高い基本的な英語表現の習得を目指す。基本文法・表現を十分に活用して、基礎的なリスニング、リーディング、ライティング、スピーキング技能の充実を図る。 また、体の部位、臓器など基礎的な医療用語の学習も行う。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 基本的な英語語彙を覚えて、正しく運用できる。</li> <li>2) 英文を読み、全体の内容を説明できる。</li> <li>3) 日常的な場面で用いられる様々な英語を聞き取ることができる。その内容を日本語で説明できる。</li> <li>4) ある程度の長さの英文を正確に読むことができる。</li> <li>5) 状況に応じた、英語での受け答えができる。</li> <li>6) 医療関係の現場で用いられる基礎的な英語の綴りを正しく綴ることができる、また意味を日本語で答えられる。</li> </ol> 授業形態 プレゼンテーション、グループワーク、ディスカッション、PBLなど

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Orientation: 高校までの英語で学んだ発音や文法項目の確認と第2回から第15回までにむけての Orientation		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高校までで学んだ発音項目の復習を行い、正確な発音ができる。</li> <li>2. 高校までで学んだ文法項目の復習を行い、それらを活用して正確に作文ができる。</li> <li>3. 次回以降の授業にむけてシラバスにあわせて準備ができる。また、定期試験にむけての学習計画を立てることができる。</li> </ol> (予習時間および復習時間は各30分程度)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		

テーマ	Chapter 1: Laughter Is a Miracle Medicine/現在形			
授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)			
3	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 2: Florence Nightingale: Pioneer of Modern Nursing/過去形		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 3: Pearls of Wisdom/名詞・代名詞		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 4: Love Is Powerful/接続詞・前置詞		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 5: Land Farms for Fish/形容詞・副詞		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 6: The Key to Success/助動詞		
	授業内容			

1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。
2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。
3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。
4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。  
(予習時間および復習時間は各30分程度)

8	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 7: The Power of Positive Thinking／動名詞		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。</li> <li>2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。</li> <li>3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。</li> <li>4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)</li> </ol>		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 8: A Dog Is Man's Best Friend／不定詞		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。</li> <li>2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。</li> <li>3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。</li> <li>4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)</li> </ol>		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 9: Mushrooms Are a Miracle Food!／比較		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。</li> <li>2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。</li> <li>3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。</li> <li>4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)</li> </ol>		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 10: Protecting Man's Best Friend／分詞		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。</li> <li>2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。</li> <li>3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。</li> <li>4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)</li> </ol>		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 11: "Rice" from the Ocean／未来形・be going to～		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。</li> <li>2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。</li> <li>3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。</li> <li>4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)</li> </ol>		

13	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 12: Ocean-aged Wines／受動態		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 13: Angry People Aren' t Happy People／完了形		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 14: Fast Fashion Is a “Mixed” Blessing／関係詞		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		

評価方法	1. 前期定期試験内での筆記試験 2. 授業への出席状況、授業内の練習状況 3. 授業内の小テスト、レポートなどの課題（課題の内容に応じて添削や採点を行ったうえで返却する） 4. 再試験の有無：有
教科書	1. 『Good Grammar, Better Communication』Joan McConnell+山内圭：成美堂 2. プリント教材（医療英語やコミュニケーション英語を含む）
参考書	1. マーク ピーターセン『日本人の英語』岩波書店 1988年 2. 里中哲彦『英文法の魅力』中央公論新社 2012年 3. 永本義弘『冠詞と基本動詞がわかれば、英語がわかる』南雲堂 2012年
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 <b>【上滝】</b> オフィスアワー：月曜日12:10-13:10 上記時間帯での訪問が難しい場合は、Eメールでアポイントメントを取ること。 Eメール：kamitaki@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	予習については、教材をよく読んで、分からない箇所をまとめておく。復習については、間違えた箇所をもう一度自分で確認・整理して、それでも理解できない箇所は次の授業で質問できるようにまとめておくこと。

講義名	英語Ⅱ		
(副題)	基礎科目(外国語)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 上滝 圭介	共通教育部門教員

担当教員	上滝 圭介・青木 啓子・尼子 充久・オニヤヌシ ビオラ
科目の目標	英語Ⅰで学習した基礎的な英語力をよりいっそう充実させ、さらに応用的な英語学習を進めて、英語の言語知識と運用能力を発展・向上させる。教科書を用いて語彙の増強、英文読解力および英作文能力の強化を図る。教科書だけではなく、適宜、補助的な教材を用いて医療現場、医療に関連した分野で用いられる英語語彙、表現の習得も目指す。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 英文(一文)を日本語に正しく訳すことができる。</li> <li>2) 文章全体の意味を日本語で分かりやすく説明できる。</li> <li>3) 英文を聞いて、その内容を日本語で説明できる。</li> <li>4) 聞き取った英文を文字で表記できる。あるいは概要や要点を英語で書くことができる。</li> <li>5) 様々な英語語彙、表現を正しく運用(書く、話すことが)できる。</li> <li>6) 医療の現場および関連した状況で用いられる英語語彙、表現を運用(書く、話すことが)できる。</li> </ol> <p>授業形態 プレゼンテーション、グループワーク、ディスカッション、PBLなど</p>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	授業ガイダンス、英語Ⅰの学習内容の確認		
	授業内容	1. 英語Ⅰで学んだ文法・表現・発音の復習を通して、医療の内容を含む基本的な英語を読む、書く、聞く、発話することができる (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	4限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ			

Unit 1 What Country Is the Fattest in the World?

トピック：肥満

Listening Tips：英語のリズム

Reading Activity：Meeting the Challenge of Obesity

Communication：Summer review / Medical matters

医療関連英語：症状

授業内容

1. 肥満に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。
  2. 肥満に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。
  3. 英語のリズムに注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。
  4. 病気の症状に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

3

年月日(曜日)

令和 7年10月18日(土)

時限

4限

講義室

C405・C406・C407・C408

担当者

上滝・青木・尼子・オニヤヌシ

テーマ

Unit 2 What Do We Know about Sleep Talking?  
トピック：睡眠  
Listening Tips：「内容語」と「機能語」のリズム  
Reading Activity：Understanding Sleep Talking  
Communication：Summer review / Medical matters  
医療関連英語：症状

授業内容

1. 睡眠に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。
  2. 睡眠に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。
  3. 「内容語」と「機能語」のリズムに注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。
  4. 病気の症状に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

4

年月日(曜日)

令和 7年10月20日(月)

時限

4限

講義室

C405・C406・C407・C408

担当者

上滝・青木・尼子・オニヤヌシ

テーマ

Unit 3 Why Are Bug Bites Dangerous  
トピック：ウイルス感染 Listening Tips：機能語andの音変化  
Reading Activity：Unfamiliar Infectious Disease  
Communication：Summer review / Medical matters  
医療関連英語：症状

授業内容

1. ウイルス感染に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。
  2. ウイルスに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。
  3. 機能語andの音変化に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。
  4. 病気の症状に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

5

年月日(曜日)

令和 7年10月27日(月)

時限

4限

講義室

C405・C406・C407・C408

担当者

上滝・青木・尼子・オニヤヌシ

テーマ

Unit 4 What Kind of Bacteria Can Be Found in the Great Barrier Reef?  
トピック：バクテリア  
Listening Tips：音の融合同化  
Reading Activity：The Risk of Eating Sea Food  
Communication：Summer review / Medical matters  
医療関連英語：症状

授業内容

1. バクテリアに関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。
  2. バクテリアに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。
  3. 音の融合同化に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。
  4. 病気の症状に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

6

年月日(曜日)

令和 7年11月03日(月)

時限

4限

講義室

C405・C406・C407・C408

担当者

上滝・青木・尼子・オニヤヌシ

テーマ

Unit 5 How Much Caffeine Can We Take?  
 トピック：カフェインの大量摂取  
 Listening Tips：音の連結  
 Reading Activity：Caffeine Intake and Sleepless problems  
 Communication：Meeting patients / directions within a hospital  
 医療関連英語：病名

授業内容  
 1. カフェインの大量摂取に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。  
 2. カフェインの大量摂取に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。  
 3. 音の連結に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。  
 4. 病名に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。  
 (予習時間30分、復習時間30分)

7	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	4限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 6 How Does the Love Hormone Oxytocin Work to Improve Relationship? トピック：ホルモン Listening Tips：音の脱落 Reading Activity：Love and the Brain Communication：Meeting patients / directions within a hospital 医療関連英語：病名		
	授業内容	1. ホルモンに関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. ホルモンに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. 音の脱落に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 病名に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	4限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 7 What Can Happen When You' re Too Clean? トピック：衛生 Listening Tips：音の同化、連結、脱落 Reading Activity：Adequate Hygiene Communication：Meeting patients / directions within a hospital 医療関連英語：病名		
	授業内容	1. 衛生に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. 衛生に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. 音の同化、連結、脱落に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 病名に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	4限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 8 Does Gender Affect Cancer Susceptibility? トピック：癌とジェンダー Listening Tips：h音の脱落 Reading Activity：Gender Differences in Cancer Susceptibility Communication：Meeting patients / directions within a hospital 医療関連英語：病名		
	授業内容	1. 癌とジェンダーに関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. 癌とジェンダーに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. H音の脱落に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 病名に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	4限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ			

Unit 9 Why Do many of Us Develop Fear of heights with Age?

トピック：恐怖症

Listening Tips：同化、連結、脱落

Reading Activity：Perception and Fear of Heights

Communication：Interview in English

医療関連英語：医療器具類

授業内容

1. 恐怖症に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。
  2. 恐怖症に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。
  3. 音の同化、連結、脱落に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。
  4. 医療器具、装置に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

11	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	4限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 10 What Are the dangers of a Sweltering Summer? トピック：熱中症、夏バテ Listening Tips：-ingの発音されない音 Reading Activity：Excessive Heat Can Be Dangerous Communication：Interview in English 医療関連英語：医療器具類		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 熱中症、夏バテに関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。</li> <li>2. 熱中症、夏バテに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。</li> <li>3. -ingの発音に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。</li> <li>4. 医療器具、装置に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。</li> </ol> <p>(予習時間30分、復習時間30分)</p>		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	4限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 11 Which Makes a Better Athlete, Being a Night Owl or an Early Bird? トピック：睡眠と活動 Listening Tips：/t/と発音されないt Reading Activity：Your Biological Clock Communication：Interview in English 医療関連英語：医療器具類		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 睡眠と活動に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。</li> <li>2. 睡眠と活動に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。</li> <li>3. /t/と発音されないtに注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。</li> <li>4. 医療器具、装置に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。</li> </ol> <p>(予習時間30分、復習時間30分)</p>		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	4限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 12 How Better to Release Your Stress? トピック：ストレス Listening Tips：英語らしい発音(1) Reading Activity：Silent Killer Communication：Interview in English 医療関連英語：医療器具類		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ストレスに関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。</li> <li>2. ストレスに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。</li> <li>3. 英語らしい発音に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。</li> <li>4. 医療器具、装置に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。</li> </ol> <p>(予習時間30分、復習時間30分)</p>		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	4限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ			

Unit 13 What Are the Differences between Real and Robotic Pets? トピック：高齢化社会 Listening Tips：英語らしい発音(2) Reading Activity：Live Happily with Pets 医療関連英語：医療器具類				
授業内容		1. 高齢化社会に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. 高齢化社会に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. 英語らしい発音に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 医療器具、装置に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	4限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	第1回から第14回までのまとめ		
	授業内容	1. 第1回から第14回までの学習内容を振り返り、身についたこと、理解できていない点を確認する (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 後期定期試験内での筆記試験 2. 授業への出席状況、授業内の練習状況 3. 授業内の小テスト、レポートなどの課題(課題の内容に応じて添削や採点を行ったうえで返却する) 4. 再試験の有無：有		
教科書		1. 『Good Health, Better Life』西原俊明、西原真弓、Pino Cutrone：金星堂 2. プリント教材(医療英語やコミュニケーション英語を含む)		
参考書		1. マーク ピーターセン『日本人の英語』岩波書店 1988年 2. 里中哲彦『英文法の魅力』中央公論新社 2012年 3. 永本義弘『冠詞と基本動詞がわかれば、英語がわかる』南雲堂 2012年		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【上滝】 オフィスアワー：月曜日12:10-13:10 上記時間帯での訪問が難しい場合は、Eメールにてアポイントメントを取ること。 Eメール：kamitaki@saitama-med.ac.jp		
履修上の注意、履修要件		予習については、教材をよく読んで、分からない箇所をまとめておく。復習については、間違えた箇所をもう一度自分で確認・整理して、それでも理解できない箇所は次の授業で質問できるようにまとめておくこと。		

講義名	英会話		
(副題)	基礎科目(外国語)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 上滝 圭介	共通教育部門教員

担当教員	上滝 圭介・オニヤヌシ ビオラ
科目の目標	英語のリスニングとスピーキングの基礎力を活性化し、向上させることを目標とする。日常の身の回りのことを英語で表現する、あるいは英語で表現されたものを聴き取る練習を行う。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日常の会話で用いられる英語を正しく聴き取れる。</li> <li>2) 聴き取った会話全体の内容を説明できる。</li> <li>3) 学習する様々な表現を活用して、自ら英語で発話できる。</li> <li>4) 相手の発話に対して、英語で適切に応答できる。</li> <li>5) できるだけナチュラルな英語の発音で発話できる。</li> </ol> 授業形態 プレゼンテーション、グループワーク、ディスカッション、PBLなど

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	オリエンテーション		
	授業内容	1. 第2回から第15回の授業計画をふまえて学習計画をたてることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	自分・家族・友人/数量表現(1)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分・家族・友人に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>2. 数量表現に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウェブリサーチに応用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		

3	年月日(曜日)	令和 7年10月18日(土)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	洋服・ファッション・アクセサリ／数量表現(2)		
	授業内容	<p>1. 洋服・ファッション・アクセサリに関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</p> <p>2. 数量表現に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</p> <p>3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに活用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	電車・バス・飛行機／身体部位(1)		
	授業内容	<p>1. 電車・バス・飛行機に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</p> <p>2. 身体部位に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</p> <p>3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに活用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	スマートフォン・SNS／身体部位(2)		
	授業内容	<p>1. スマートフォン・SNSに関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</p> <p>2. 身体部位に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</p> <p>3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに活用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	大学・サークル・アルバイト／診療科・部署(1)		
	授業内容	<p>1. 大学・サークル・アルバイトに関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</p> <p>2. 診療科・部署に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</p> <p>3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに活用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	スポーツ・エクササイズ／診療科・部署(2)		
	授業内容	<p>1. スポーツ・エクササイズに関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</p> <p>2. 診療科・部署に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</p> <p>3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに活用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	旅行・観光／医療用語(1)		
	授業内容			

1. 旅行・観光に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。
2. 医療用語に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。
3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに活用できる。  
(予習時間30分、復習時間30分)

9	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	食事・料理・栄養/医療用語(2)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食事・料理・栄養に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>2. 医療用語に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに活用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	パソコン・インターネット/病気の名称(1)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パソコン・インターネットに関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>2. 病気の名称に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに活用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	伝統文化・信仰/病気の名称(2)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伝統文化・信仰に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>2. 病気の名称に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに活用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	経済・両替・ショッピング/病気の症状(1)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済・両替・ショッピングに関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>2. 病気の症状に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに活用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	読書・映画・音楽/病気の症状(2)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 読書・映画・音楽に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>2. 病気の症状に関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。</li> <li>3. 上記2項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに活用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	3限
	講義室	C405・C406		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		

テーマ	ライフプランニング／最終回にむけてのオリエンテーション			
授業内容	1. ライフプランニングに関するトピックや特有の単語を用いた英語表現を聴きとることができる。また、それについて英語で発話できる。 2. 上記項目の学修を英語の読みとりや書きとり、英作文、英語ウエブリサーチに応用できる。 3. 最終回の授業計画をふまえて、学修計画をたてることことができる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
15	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	3限
	講義室	C405・C406		
	担当者	上滝・オニヤヌシ		
	テーマ	まとめとふりかえり		
	授業内容	1. インタビューテスト 2. 第1回から第14回のまとめと最終回のふりかえり (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験は行わない。 2. 課題やインタビューなどのアクティビティを総合的に評価する。			
教科書	1. プリント教材			
参考書	1. マーク ピーターセン『日本人の英語』岩波書店、1988年 2. 里中哲彦『英文法の魅力』中央公論新社、2012年 3. 永本義弘『冠詞と基本動詞がわかれば、英語がわかる』南雲堂、2012年			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【上滝】 オフィスアワー：月曜日12:10-13:10 上記時間帯での訪問が難しい場合は、Eメールでアポイントメントを取ること。 Eメール：kamitaki@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	予習については、教科書の講義予定の章をよく読んで、分からない箇所をまとめておく。復習については、毎授業内で行った練習箇所をもう一度自分で確認・整理して、理解できない箇所は次の授業で質問するようにまとめておくこと。			

講義名	ドイツ語		
(副題)	基礎科目 (外国語)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ Markus Alexander Heinrich Freiherr von Freyberg	非常勤教員 (大学外部)

担当教員	マルクス・フォン・フライベルク
科目の目標	この授業では、ドイツ語の基礎文法と旅行中に使える簡単な会話のバリエーションを学びながら、EU圏の牽引役とも言えるドイツの言語と文化についての理解を深めていきます。 ドイツ語圏に生活する人々の日常についての知識も語学を学びながら修得できます。
学習の具体的な目標	①ドイツ語で簡単な日常会話を行える。 ②ドイツ語の平易な文章が読めるようになる。 ③ドイツ語圏の文化の特徴を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	ドイツ語圏の重要都市を地図で紹介 ドイツ語のアルファベットと発音		
	授業内容	・ドイツ語のアルファベットを発音できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月10日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	ドイツ語での挨拶と自己紹介		
	授業内容	・注意すべき母音の綴りを正しく発音できる。 ・注意すべき子音の綴りを正しく発音できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	食事・買い物 1		

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意すべき母音の綴りを正しく発音できる。</li> <li>・注意すべき子音の綴りを正しく発音できる。</li> <li>・ドイツ語で一人で買い物ができるようになる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	食事・買い物2		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意すべき母音の綴りを正しく発音できる。</li> <li>・注意すべき子音の綴りを正しく発音できる。</li> <li>・ドイツ語で一人で買い物ができるようになる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	レストランにて		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語で一人でレストランでの注文と支払いができる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	町中で1		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地で一人で街を歩くことができる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	町中で2		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地で一人で街を歩くことができる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	職業1		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業をドイツ語で説明できるようになる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	職業2		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業についてドイツ語で質問することができる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	衣服		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語で衣服について説明できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		

テーマ	色			
授業内容	・ドイツ語で色について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	身体		
	授業内容	・ドイツ語で体の各部分について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	健康		
	授業内容	・ドイツ語で健康状態について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	病気		
	授業内容	・ドイツ語で具合の悪い部分や症状について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	・この授業で学んだすべてのテーマを復習する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	授業への貢献度(50%)、最終授業時に出す課題のテスト(50%)で総合的に評価します。			
教科書	授業毎に、内容に沿った資料を配布する予定です。			
参考書	アクセス独和辞典(三修社) アポロン独和辞典(同学社) クラウン独和辞典(三省堂) キャンパス独和辞典(同学社)			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業および課題等に対する質問や相談などは、授業前後に教室にて受け付けます。			
履修上の注意、履修要件	この授業では各回の復習が重要になります。  この演習は主に語学力を培うための授業ですが、言語は諸外国の文化に触れるための重要なツールであることを意識してもらえればと思います。ドイツに限らず、諸外国の文化や生活・風土に興味関心のある学生の受講を期待しています。 また、演習形式の授業ということもありますので、疑問・質問などについて積極的な発言を期待しています。			

講義名	スポーツ科学		
(副題)	基礎科目(体育)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 古泉 一久	非常勤教員(大学外部)

担当教員	古泉 一久
科目の目標	医療従事者としてスポーツ、運動、トレーニングや、健康との関わりについて正しい知識を習得する。
学習の具体的な目標	<p>本授業は講義形式で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) スポーツにおける科学の在り方、考え方について説明できる。</li> <li>2) トレーニングによる筋肉の肥大について理論的に説明できる。</li> <li>3) 体重を減量するための運動と、その評価方法について説明できる。</li> <li>4) 運動時のエネルギー代謝について説明できる。</li> <li>5) 運動時に産生される乳酸と筋肉の疲労との関係について考察できる。</li> <li>6) スポーツ技術を習得する過程について説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	授業のガイダンス スポーツにとって科学的とは		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎教育科目における本授業の位置づけについて説明できる。</li> <li>2. 本授業の目標、内容、計画、評価の方法などについて説明できる。</li> <li>3. スポーツにおける科学の在り方について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	ヒトにとって筋肉とは何か		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 筋肉の増殖、抑制に関わる因子について説明できる。</li> <li>2. スポーツ選手におけるドーピングについて説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	1限

講義室	C306			
担当者	古泉			
テーマ	スポーツと筋線維組成との関係			
授業内容	1. 筋線維の構造について説明できる。 2. スポーツ選手における種目別の筋線維組成の違いについて説明できる。 3. トレーニングによる筋線維タイプの変化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	筋肉をつけるには(肥大させる、見栄えを良くする)どうすればよいか		
	授業内容	1. 筋肉が大きくなるためのプロセスについて説明できる。 2. 筋力トレーニングの強度とその効果について説明できる。 3. これまで行われてきた様々なトレーニング方法について説明できる。 4. 筋肥大を誘発する理論について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	筋肉痛と筋収縮の様式について		
	授業内容	1. EMSによるトレーニングの長所、短所について説明できる。 2. 筋肉痛発症の機序について説明できる。 3. 筋肉痛についての誤った認識について説明できる。 4. 筋収縮の様式の違いについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	スポーツ種目別の筋力特性		
	授業内容	1. 等速性筋力の測定について説明できる。 2. スポーツ選手別の筋力特性について説明できる。 3. 筋力と収縮速度との関係について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	身体組成の評価について		
	授業内容	1. 身体のエネルギー量の出納について説明できる。 2. 肥満とはどのような状態なのか説明できる。 3. 身体組成の評価方法について説明できる。 4. 身体に対する体脂肪の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	減量するための運動(体脂肪を減らす)とは		
	授業内容	1. 脂肪細胞による生理活性物質の役割について説明できる。 2. 脂肪細胞の種類とその特徴について説明できる。 3. 筋肉における脱共役タンパク質の役割について説明できる。 4. 減量のための運動について効果的な方法とは何か説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	乳酸は身体の疲労の原因である!?		
	授業内容			

1. 運動時のエネルギー代謝について説明できる。
  2. 乳酸が産生される状況について説明できる。
  3. 乳酸の代謝のされ方について説明できる。
  4. 筋疲労の要因について考えられている知見について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

10	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	スポーツ能力のパラメーターとしての呼吸機能と心拍数		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 呼吸機能の測定について説明できる。</li> <li>2. 運動時の呼吸機能の変化について説明できる。</li> <li>3. 無酸素性作業閾値について説明できる。</li> <li>4. 運動強度としての心拍数の算出方法について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	運動中の突然死について		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心臓震盪について説明できる。</li> <li>2. スポーツ心臓について説明できる。</li> <li>3. 運動中の突然死における対策について考察できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	運動の技術はどのように身につけることができるのか		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動の巧みさの要素について説明できる。</li> <li>2. ヒトの状況把握能力について説明できる。</li> <li>3. 動作の自動化(身体で覚えるとは何か)について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	スポーツ選手の“見る”能力		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 動体視力について説明できる。</li> <li>2. 中心視と周辺視について説明できる。</li> <li>3. 滑動性追従眼球運動について説明できる。</li> <li>4. 視覚に関する脳内での情報処理過程について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	スポーツ選手にみられる潜在的知覚とは		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 錯視について説明できる。</li> <li>2. 潜在的知覚と運動行動との関係について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	古泉		
	テーマ	スポーツ選手の「ゾーンに入る」とは		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ゾーンに入る」とはどのような状況をいうのか説明できる。</li> <li>2. 兵法書としての不動智神妙録とは何かを説明できる。</li> <li>3. 古武術とは何かを説明できる。</li> <li>4. 古武術の動きとスポーツ技術の接点について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	定期試験（論述及び選択式）の成績で評価する。100点満点中60点以上を合格とする。 定期試験で合格に満たない場合再試験を実施する。
教科書	資料を授業ごとに配布する。
参考書	「身体トレーニング 運動生理学からみた身体機能の維持・向上」、宮村実晴編集、真興交易
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業終了後に質問、相談を受け付ける。
履修上の注意、履修要件	授業終了後には当日配布された資料などで学習内容の見直しを行うこと。 疑問、質問点などがある場合には、次回授業時に質問できるように考えをまとめておくこと。 履修者はスポーツ科学に興味のあることが望ましい。 (予習時間30分、復習時間30分)

講義名	医療の基本 I		
(副題)	専門基礎科目 (医療の基本)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 辻 美隆	共通教育部門教員

担当教員	辻 美隆・茅野 秀一・嶋崎 晴雄・酒井 純・大野美佐子・是村 利幸
科目の目標	将来、患者さんやその家族、医療スタッフに信頼される、役に立つ医療人となるために、基礎的なコミュニケーション能力を身につけるとともに、医療人としての適正な倫理観のもとに、病める人の気持ちを理解し共感できる下地を修得する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) グループで活動する時に、気をつけるべきことを説明できる。</li> <li>2) 未知の人に“応接する”時に気をつけるべきことを説明できる。</li> <li>3) 目上の人への“電話”や“訪問”の際に気をつけるべきことを説明できる。</li> <li>4) 目上の人への“手紙”を書く時に気をつけるべきことを説明できる。</li> <li>5) お年寄りと“応対する”時に気をつけるべきことを説明できる。</li> <li>6) 患者さんと医療人とが良好な関係を構築することの意義を説明できる。</li> <li>7) 患者さんと医療人との関係に破綻を招く種々の要因およびそれらへの対応について、自分の考えを述べるができる。</li> </ol> <p>各主題について、グループワークののちプレゼンテーションを行いお互いに評価する。</p>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月02日(木)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション1：危機からの脱出		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生を8グループに分ける。</li> <li>2. コミュニケーション・ゲーム“危機からの脱出”を行う。</li> <li>3. このゲームを通して、グループで活動することの重要性や、その際に気をつけるべきことについて考える。(予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション2：応接		
	授業内容			

1. 学生を8グループに分ける。
2. 外来者に対する社員の応接場面のシナリオを提示し、より「好ましい言い方」に言い換える作業と発表、全体討論を行う。
3. これらの事例を通して、応接における「好ましい言葉遣い」や「好ましい態度」について考える。  
(予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション3:手紙1		
	授業内容	1. マルチメディア教室に移動し、高校時代の恩師にあてた近況報告を「手紙」としてワードファイルに収め、辻宛てにメールに添付して送付する。 (携帯への転送処理が済んでいれば、着いたかどうか確認メールを送ります) 時間内に終了しなかった場合は、10月16日(木)中に提出すること。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション4:手紙2		
	授業内容	1. 2グループに分かれ、スクリーンに写した手紙文を教員が説明しながら添削する。 2. ついで、指名された学生が同様に添削を行う。 3. この作業を通じて、定型的な手紙文のスタイルにふれ、敬語や丁寧語の適切な使用と、許される範囲での逸脱について考える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション5:電話・訪問1		
	授業内容	1. 学生を8グループに分ける。 2. ABの4グループずつに分かれ、下記のようにA班は電話、B班は訪問のセッションを行う。 ①A班 部活の大先輩に電話で忘年会のご案内をする、あるいは友人のご両親に行事の予定変更について伝言をお願いするという状況設定で、学生同士のロールプレイを行う。 これらの事例を通して、電話における「好ましい言葉遣い」や「好ましい態度」について考える。 ②B班 部活の大先輩に忘年会のご案内状を届けるため、ご自宅を訪問するという状況設定で、招聘した模擬患者さんを相手にロールプレイを行う。(ビデオ収録) 収録したビデオを再生しながら討論を行う。 これらの事例を通して、ご自宅を訪問する際の「好ましい言葉遣い」や「好ましい態度」について考える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション6:電話・訪問2		
	授業内容	1. 内容を交代して実施する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション7:お年寄りとの対応1		
	授業内容	1. まず教室でKJ法と今回のテーマについて説明する。 2. ついで、学生を5-6名の8グループに分ける。 3. お年寄りとの対応をテーマにKJ法を用いて討論し、各グループでプロダクトを作成する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション8:お年寄りとの対応2		

授業内容		1. 各グループ10分の持ち時間でプロダクトを発表した上で、全体討論を行う。 2. この作業を通じて、お年寄りとのコミュニケーションを円滑にする方策について考える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション9: コミュニケーションのまとめ		
	授業内容	1. コミュニケーションについての振りかえり、まとめ (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係1: 良い医療人と悪い医療人1		
	授業内容	1. まず教室で今回のテーマについて説明する。 2. ついで、学生を5-6名の8グループに分ける。 3. 各自がこれまでに見聞きした「良い医療人」と「悪い医療人」についてKJ法を用いて討論し、各グループでプロダクトを作成するとともに、「理想の医療人とは」を箇条書きにする。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係2: 良い医療人と悪い医療人2		
	授業内容	1. 各グループ5分の持ち時間でプロダクトを発表した上で、全体討論を行う。 2. この作業を通じて、患者さんと医療人との好ましい関係について考える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係3: 医療人の話		
	授業内容	1. 臨床検査技師、薬剤師、看護師および診療放射線技師の現役医療人各1名ずつを招聘し、各職場における患者さんとのかかわりとその失敗例、困った患者さんへの対応などについて、講演と質疑応答を行う。 2. これらの事例を通して、患者さんと医療人との好ましい関係について考える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係4: 無口になったAさん1		
	授業内容	1. まず教室で今回のテーマについて説明する。 2. ついで、学生を5-6名の8グループに分ける。 3. Aさんの事例における問題点とその解決策についてKJ法を用いて討論し、各グループでプロダクトを作成する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係5: 無口になったAさん2		
	授業内容	1. 各グループ5分の持ち時間でプロダクトを発表した上で、全体討論を行う。 2. この作業を通じて、患者さんと医療人との関係に破綻を招く種々の要因およびその対応について考える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	辻・茅野・嶋崎・酒井・大野・是村		
	テーマ	患者-医療人関係6: 患者-医療人関係のまとめ		

授業内容	1. 患者さん－医療人関係についての振りかえり、まとめ (予習時間30分、復習時間30分)
評価方法	出席状況、受講態度、プロダクトの作成・発表状況などをもって、総合的に評価する。作成したプロダクトおよび発表については、学生による同僚評価も実施し、評価の集計をフィードバックする。なお、授業回数の4/5以上に出席しなければ不合格となる。(遅刻は0.5回相当) 再試験：なし
教科書	プリント教材を適宜配布する。
参考書	なし
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【辻 美隆】 月曜・水曜・木曜の12：15～13：00、木曜・金曜の17：00～18：00 上記時間帯での訪問が難しい場合は、事前にメールにてアポイントメントをとること。 メールによる質問等は随時受け付けます。 メールアドレス：ytsuji@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日にはシラバスの該当部分を確認し、記載されたテーマについて図書館やインターネットで予習すること。また授業後には自ら調べた資料の整理・分析、発表用資料の構成検討、発表の練習などを怠らないこと。

講義名	人体の構造と機能 I (解剖学)		
(副題)	専門基礎科目 (基礎医学系)		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年通年		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 山岸 敏之	臨床検査学科教員

担当教員	山岸 敏之・小野 公嗣
科目の目標	細胞は人体の最小の生命単位である。いくつかの細胞は集まり組織をつくる。異なる組織は一定の形態と機能を備えている器官を構成する。共通の働きを持つ器官は集まって器官系（運動器系、呼吸器系、循環器系、消化器系など）をつくっている。本科目では器官系ごとに、それらを構成する器官の正常構造を肉眼解剖学・組織学レベルで学修する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ヒトの体の部位や方向、平面・断面などの解剖学用語について説明できる。</li> <li>2) 細胞、組織の基本的構造と機能について説明できる。</li> <li>3) 器官、器官系について説明できる。</li> <li>4) 皮膚の組織構造を説明できる。</li> <li>5) 骨組織の構造を説明できる。</li> <li>6) 主要な骨格をあげ、その働きについて説明できる。</li> <li>7) 筋組織の構造について説明できる。</li> <li>8) 主要な筋をあげ、その働きについて説明できる。</li> <li>9) 心臓と血管系の基本構造とその働きについて説明できる。</li> <li>10) リンパ管、リンパ組織の構造について説明できる。</li> <li>11) 消化器を構成する器官について説明できる。</li> <li>12) 消化器の構造について説明できる。</li> <li>13) 実質臓器、管腔臓器の違いについて説明できる。</li> <li>14) 消化管の組織構造を説明できる。</li> <li>15) 肝、胆、膵の組織構造を説明できる。</li> <li>16) 呼吸器を構成する器官について説明できる。</li> <li>17) 気管の構造について説明できる。</li> <li>18) 肺の肉眼的・組織学的構造について説明できる。</li> <li>19) ニューロンの構造について説明できる。</li> <li>20) 中枢神経系の構造について説明できる。</li> <li>21) 末梢神経系の構造について説明できる。</li> <li>22) 交感神経と副交感神経の違いについて説明できる。</li> <li>23) 特殊感覚系の構造について説明できる。</li> <li>24) 尿路を構成する器官について説明できる。</li> <li>25) 腎臓の肉眼的・組織学的構造について説明できる。</li> <li>26) 尿路の組織学的な構造について説明できる。</li> <li>27) 内分泌器官の名称をあげることができる。</li> <li>28) 内分泌器官の構造を説明できる。</li> <li>29) 男性、女性生殖器の構造を説明できる。</li> <li>30) 人体発生の概略を説明できる。</li> </ol>

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	山岸		
	テーマ	§人体の成り立ち、細胞、組織 解剖学用語、細胞の構造、組織の分類		
	授業内容	1. 解剖学用語について説明できる。 2. 体壁と体腔を理解し、漿膜について説明できる。 3. 細胞の構造について説明できる。 4. 細胞と組織について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	小野		
	テーマ	§皮膚		
	授業内容	皮膚の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	組織学実習-1 上皮組織、筋組織、結合組織		
	授業内容	1. 上皮組織の特徴を説明できる。 2. 筋組織の特徴を説明できる。 3. 結合組織の特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	小野		
	テーマ	運動器系(§骨格系、§筋系) 骨の構造、筋の構造、全身の筋		
	授業内容	1. 骨の構造を説明できる。 2. 全身のおもな骨の名称をあげることができる。 3. 骨の発生と成長、再生について説明できる。 4. 骨格筋の構造を説明できる。 5. 骨格筋と神経支配について説明できる。 6. 身体のおもな運動の種類において働く主な筋の名称をあげることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	運動器実習(§骨格系、§筋系) 骨の構造、筋の構造、全身の筋		
	授業内容	1. 脊柱を構成する骨格を説明できる。 2. 胸郭、骨盤を構成する骨格を説明できる。 3. 上肢・下肢を構成する骨格を説明できる。 4. 頭部を構成する骨格を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	山岸		
	テーマ	§心臓血管系 心臓の構造と血管の種類		

授業内容	1. 心臓の構造を説明できる。 2. 血管の種類をあげ、それぞれの構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
8	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	山岸		
	テーマ	§ 心臓血管系 血管と循環、胎児循環		
	授業内容	1. 肺循環と体循環の主要な動脈と静脈の名称をあげることができる。 2. 体循環の動脈の走行を説明できる。 3. 体表から触知できる動脈の名称をあげることができる。 4. 特別な循環路(門脈、脳、胎児)を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	山岸		
	テーマ	§ リンパ系と免疫		
	授業内容	1. リンパ管の構造、リンパの流れを説明できる。 2. リンパ器官・組織の構造が説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	組織学実習-2 循環器系、免疫系		
	授業内容	1. 血管の種類と組織学的特徴を説明できる。 2. リンパ性器官の組織学的特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	山岸		
	テーマ	§ 内分泌系 内分泌腺と内分泌細胞を含む器官の構造		
	授業内容	1. 内分泌腺、内分泌細胞の特徴が説明できる。 2. 下垂体、甲状腺、副腎の構造が説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	山岸		
	テーマ	§ 泌尿器系 腎、尿路		
	授業内容	1. 腎臓の構造を説明できる。 2. 尿管、膀胱、尿道の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	山岸		
	テーマ	§ 生殖器系、発生 男性・女性生殖器、人体発生		
	授業内容			

1. 男性生殖器の構造を説明できる。
  2. 女性生殖器の構造を説明できる。
  3. 人体発生の過程を説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

15	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	組織学実習-3 内分泌系、泌尿器系、生殖器系		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内分泌腺の組織学的特徴を説明できる。</li> <li>2. 腎臓・尿路の組織学的特徴を説明できる。</li> <li>3. 女性生殖器、男性生殖器の組織学的特徴を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
17	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	3限
	講義室	C203		
	担当者	小野		
	テーマ	§呼吸器系 気道・肺・縦隔		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気道(鼻腔・咽頭・喉頭・気管・気管支)の構造を説明できる。</li> <li>2. 肺の構造を説明できる。</li> <li>3. 胸膜、縦隔を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	3限
	講義室	C203		
	担当者	山岸		
	テーマ	§消化器系 口腔、咽頭、食道、胃		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口腔の構造を説明できる。</li> <li>2. 食物の通過する順に消化管の名称をあげることができる。</li> <li>3. 食道の構造を説明できる。</li> <li>4. 胃の構造を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	3限
	講義室	C203		
	担当者	山岸		
	テーマ	§消化器系 小腸、大腸、肝・胆・膵		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小腸・大腸の構造を説明できる。</li> <li>2. 肛門の構造を説明できる。</li> <li>3. 肝臓と膵臓の構造を説明できる。</li> <li>4. 胆汁の合成と排出経路を説明できる。</li> <li>5. 腹膜と腹部内臓の位置関係を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	組織学実習-4 消化器系(中空器官)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食道・胃・小腸・大腸の組織学的特徴を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	山岸・小野		

テーマ	"			
授業内容	"			
22	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	組織学実習-5 消化器系(実質器官)、呼吸器		
	授業内容	1. 肝臓・膵臓の組織学的特徴を説明できる。 2. 気管、肺の組織学的特徴を説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
24	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	3限
	講義室	C203		
	担当者	小野		
	テーマ	§ 神経系 神経組織、中枢神経		
	授業内容	1. 神経系を区分できる。 2. 神経組織を説明できる。 3. 脳脊髄膜と髄液について説明できる。 4. 中枢神経系を区分し、構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	3限
	講義室	C203		
	担当者	小野		
	テーマ	§ 神経系 末梢神経、自律神経		
	授業内容	1. 脳神経の名称と働きを説明できる。 2. 脊髄神経の前根・後根、前枝・後枝、神経叢について説明できる。 3. 自律神経〔交感神経と副交感神経〕の走行、支配部位を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	3限
	講義室	C203		
	担当者	小野		
	テーマ	§ 特殊感覚 視覚、聴覚、平衡覚、味覚、嗅覚		
	授業内容	1. 眼球とその付属器の構造を説明できる。 2. 外耳・中耳・内耳の構造を説明できる。 3. 嗅覚器と味覚器の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
27	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	組織学実習-6 神経系、特殊感覚器		
	授業内容	1. 神経組織の特徴を説明できる。 2. 特殊感覚器の組織学的特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	"		

授業内容	"			
29	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	3限
	講義室	毛呂山キャンパス・医学部解剖学実習室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	肉眼解剖学実習 神経系、循環器系、胸部・腹部内臓		
	授業内容	1. 中枢神経系の解剖を説明できる。 2. 口腔・鼻腔・咽頭の解剖を説明できる。 3. 循環器系の解剖を説明できる。 4. 胸部内臓の解剖を説明できる。 5. 腹部内臓の解剖を説明できる。 6. 骨盤内臓の解剖を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	4限
	講義室	毛呂山キャンパス・医学部解剖学実習室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回の中間試験を実施する。第1～16回の講義内容を対象とした試験を7月に、第17～28回の講義内容を対象とした試験を1月に、さらに12月には全組織実習を範囲とした実技試験を実施する。これらの中間試験の詳細については改めて連絡する。</li> <li>・前期と後期の全範囲を対象とした試験を後期定期試験期間中に実施する。</li> <li>・上記の4回の試験成績を総合して60%に満たなかった場合、後期再試験期間中に前期、後期の全範囲を対象とした再試験を1回行う。</li> <li>・各試験は、多肢選択（五者択一あるいは五者択二）問題と記述式問題で行う。</li> <li>・成績評価は試験の成績、出席状況、学習態度（出席カード、レポート提出など）を含め総合的に判断する。</li> </ul>			
教科書	入門組織学（牛木辰男 著、南江堂） 入門人体解剖学（藤田恒夫 著、南江堂） ひとの組織学（梶ヶ谷博、熊谷祐子、松並平晋 著、interzoo）			
参考書	トートラ人体解剖生理学 原書11版（トートラ著、佐伯ほか 編訳、丸善出版） 日本人体解剖学（金子丑之助 原著、南山堂）			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 山岸 敏之 e-mail: toshiya@saitama-med.ac.jp 火曜日 12時～13時  小野公嗣 e-mail: onok@saitama-med.ac.jp 火曜日 12時～13時  上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。			
履修上の注意、履修要件	○本科目では、限られた時間で膨大な内容を習得する必要がある。そのため、講義時間を有効に活用し、遅刻・欠席をしないように心がけること。なお、前期、後期とも演習として扱われる。 ○疑問点は遠慮なく教員に質問すること（重要）。 ○試験前日は対応できないことがあるので、わからないところは早めに質問に来ること。			

講義名	人体の構造と機能Ⅱ（生理学）		
（副題）	専門基礎科目（基礎医学系）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	通年	講義区分	講義
基準単位数	3	時間	45.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	3単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年通年		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 藤原 智徳	臨床検査学科教員

担当教員	藤原 智徳・金子 優子・山本 梓司
科目の目標	<p>人体は細胞の集合体であり、個々の細胞の活動が個体の生命現象の基本である。個体の生命活動が適切に行える環境は、多数の細胞により構成された各臓器の構造的、機能的特性により制御されている。本科目では、酸素の供給、栄養の供給、老廃物の排泄の制御（呼吸、血液、循環、消化、泌尿器、体温調節、pH調節、イオン濃度調節）、外部から得た情報に対する対応（神経系、感覚系、内分泌系、筋肉系）、からだ全体の協調的動きのための制御機構（神経系と内分泌系）、個体の維持（神経系、内分泌系、生殖系）について基礎的知識を習得する。</p>
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ヒトの細胞と組織の基本的構造と機能について説明できる。</li> <li>2) 神経系・筋系の情報伝達の仕組み、静止膜電位、活動電位の発生機序について説明できる。</li> <li>3) 筋収縮の仕組みを説明できる。</li> <li>4) ニューロンの構造と機能について説明できる。</li> <li>5) 感覚の生じる仕組みおよび手足を動かす仕組みを説明できる。</li> <li>6) 交感神経と副交感神経の構造と機能について説明できる。</li> <li>7) 思考、記憶、学習、睡眠、感情等を起こす神経系について説明できる。</li> <li>8) 視覚や聴覚などの特殊感覚の感覚受容機構と脳内情報処理について説明できる。</li> <li>9) 内分泌器官の構造と機能を説明できる。</li> <li>10) ホルモンの作用機序について説明できる。</li> <li>11) 女性性周期におけるホルモンの変化について説明できる。</li> <li>12) 血液成分の働きを説明できる。</li> <li>13) リンパ系の働きと生体防御機構について説明できる。</li> <li>14) 血液によるガスの運搬機構について説明できる。</li> <li>15) 肺気量の意味、および肺と組織の間でのガス交換機構について説明できる。</li> <li>16) 吸息と呼息の運動を起こす機構や呼吸中枢について説明できる。</li> <li>17) 消化器の構造と機能を説明できる。</li> <li>18) 栄養素の代謝について説明できる。</li> <li>19) 心臓と血管系について基本構造と働きを説明できる。</li> <li>20) 心臓の自律的リズム生成のメカニズムを説明できる。</li> <li>21) 心電図や心音の成因を心臓の活動との対応で説明できる。</li> <li>22) 血圧の成因と変動要因を説明できる。</li> <li>23) 腎臓の働きについて説明できる。</li> <li>24) 腎臓による水分調節の仕組み、体液pH調節の仕組みについて説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	3限
	講義室	C307		

担当者	藤原			
テーマ	オリエンテーション 1章 生理学の基礎			
授業内容	1. 生命維持のための条件を説明できる。 2. 生体を構成する成分について説明できる。 3. 細胞内小器官の働きを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
2	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	1章 生理学の基礎		
	授業内容	1. 細胞膜の構造と機能について説明できる。 2. 物質の細胞膜通過機序について説明できる。 3. 浸透圧について説明できる。 4. ホメオスタシスについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	2章 神経の基本的機能		
	授業内容	1. 神経細胞(ニューロン)の働きを説明できる。 2. 生体膜を介したイオンの移動について説明できる。 3. 静止膜電位形成のしくみを説明できる。 4. 活動電位発生のしくみを説明できる。 5. 活動電位の特性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	山本		
	テーマ	4章 筋肉の基本的機能		
	授業内容	1. 筋の働きを説明できる。 2. 骨格筋、平滑筋、心筋の働きの特徴について説明できる。 3. 筋収縮の仕組みを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	山本		
	テーマ	4章 筋肉の基本的機能		
	授業内容	1. 筋収縮のエネルギーについて説明できる。 2. 等尺性収縮と等張性収縮の違いを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	5章 神経系の構成 9章 中枢神経系の高次機能		
	授業内容	1. 神経系の構成について説明できる。 2. 脊髄の働きについて説明できる。 3. 膝蓋腱反射等を例に取り、ニューロン回路について説明できる。 4. 感覚情報が、末梢神経から中枢神経に伝わる仕組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	8章 体性運動系と運動機能		
	授業内容			

1. 運動系の働きについて説明できる。
  2. 手足を動かすとき、脳、脊髄、末梢神経で起こっている仕組みを説明できる。
  3. 脳の各部位の働きを説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

8	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	7章 自律神経系と内臓機能 9章 中枢神経系の高次機能		
	授業内容	1. 自律神経系の働きについて具体例をあげて説明できる。 2. 高次脳機能を起こす神経系について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	金子		
	テーマ	6章 さまざまな感覚		
	授業内容	1. 視覚の生じる機構を眼から脳を含めた総体として説明できる。 2. 聴覚と平衡感覚の生じる機構を内耳から脳を含めた総体として説明できる。 3. 嗅覚と味覚の生じる機構を感覚細胞から脳を含めた総体として説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	10章 内分泌系の機能		
	授業内容	1. 細胞間情報伝達について説明できる。 2. ホルモンの分類をすることができる。 3. ホルモンの作用機序を説明することができる。 4. 視床下部による内分泌機能の制御について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	10章 内分泌系の機能		
	授業内容	1. 下垂体で分泌されるホルモンの作用について説明できる。 2. 甲状腺におけるホルモン分泌の調節について説明できる。 3. 上皮小体におけるホルモン分泌の調節について説明できる。 4. レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系の作用について説明できる。 5. 血漿Ca濃度の調節について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	10章 内分泌系の機能 11章 生殖機能		
	授業内容	1. 血糖値の調節に関わるホルモンの作用について説明できる。 2. 性の決定と分化について説明できる。 3. 精子形成について説明できる。 4. 女性性周期とホルモンの変動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	4限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	13章 消化器系の機能		
	授業内容			

1. 消化管の機能の神経性調節について説明できる。
  2. 消化管の機能の液性調節にかかわる消化管ホルモンとその作用について説明できる。
  3. 栄養素の消化と吸収の仕組みについて説明できる。
  4. 消化酵素を列挙しそれらの働きについて説明できる。
  5. 胃の機能について説明できる。
  6. 膵液と胆汁の特徴について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

14	年月日(曜日)	令和 7年10月10日(金)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	19章 消化器系の機能 12章 栄養と代謝		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小腸の機能について説明できる。</li> <li>2. 便の形成と排便について説明できる。</li> <li>3. 肝臓の機能について説明できる。</li> <li>4. 栄養素の代謝について説明できる。</li> <li>5. エネルギー代謝について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	4限
	講義室	C307		
	担当者	山本		
	テーマ	14章 血液の生理		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 血液中の細胞成分とその働きについて説明できる。</li> <li>2. 血漿蛋白質の働きについて説明できる。</li> <li>3. 酸素と二酸化炭素の運搬について説明できる。</li> <li>4. ヘモグロビンの構造について説明できる。</li> <li>5. 酸素解離曲線について説明できる。</li> <li>6. 酸素解離曲線に影響する因子について説明できる。</li> <li>7. 血液凝固機構について説明できる。</li> <li>8. 不適合輸血について説明できる。</li> <li>9. リンパ系の機能を説明できる。</li> <li>10. 生体防御にかかわる細胞や生理活性物質について説明できる。</li> <li>11. 免疫系の働きについて説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	金子		
	テーマ	15章 循環系の機能		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心臓の自律的収縮機構を説明できる。</li> <li>2. 心電図測定の概略を説明できる。</li> <li>3. 心電図や心音についてその成因を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	金子		
	テーマ	15章 循環系の機能		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心周期について説明できる。</li> <li>2. 心拍数や心拍出量の調節機構について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	4限
	講義室	C307		
	担当者	金子		
	テーマ	15章 循環系の機能		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 血圧の発生機構およびその変動について説明できる。</li> <li>2. 血圧の調節機構を説明できる。</li> <li>3. 血圧測定の原理を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	4限
	講義室	C307		

担当者	藤原			
テーマ	17章 尿の生成と排泄			
授業内容	1. 腎臓の様々な働きについて説明できる。 2. ネフロン各部位の機能について説明できる。 3. 糸球体の機能について説明できる。 4. 尿生成の概略について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
20	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	17章 尿の生成と排泄		
	授業内容	1. 尿生成の過程における各成分の挙動について説明できる。 2. 腎クリアランスについて説明できる。 3. 排尿について説明できる。 4. 利尿の機序について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	18章 体液とその調節		
	授業内容	1. 腎臓による水分の調節の仕組みについて説明できる。 2. 腎臓による塩分の調節の仕組みについて説明できる。 3. 腎臓と肺による体液のpH調節の仕組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	4限
	講義室	C307		
	担当者	山本		
	テーマ	16章 呼吸の生理		
	授業内容	1. 呼吸運動(吸息と呼息)を引き起こす機構について説明できる。 2. 肺気量の意味と測定の仕方およびスパイログラムの分画を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	4限
	講義室	C307		
	担当者	山本		
	テーマ	16章 呼吸の生理		
	授業内容	1. 肺および組織におけるガス(酸素、二酸化炭素)交換の仕組みを説明できる。 2. 呼吸機能障害を起こす様々な要因を説明できる。 3. 呼吸中枢の役割および呼吸運動を調節する仕組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1～12回の講義内容を対象とした中間試験を7/31(木)3限に実施する。</li> <li>第13～23回の講義内容を対象とした中間試験1/23(金)3限に実施する。</li> <li>前期、後期の全範囲を対象とした試験を後期試験期間中に実施する。</li> <li>上記3回の試験の総合得点が60%に満たなかった場合、後期再試験期間中に前期、後期の全範囲を対象とした再試験を行う。</li> <li>各試験は、多肢選択(五者択一あるいは五者択二)問題と記述式問題で行う。</li> </ul>			
教科書	シンプル生理学 改訂第8版 貴邑、根来 南江堂			
参考書	1. トートラ人体の構造と機能 第5版(トートラ著、桑木ほか編訳、丸善出版) 2. トートラ人体解剖生理学 原書11版(トートラ著、佐伯ほか編訳、丸善出版) 3. 看護学生のために解剖生理学 よくわかるBook 第2版(江連・村田著、メヂカルフレンド社)			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 藤原 智徳 e-mail: tfuj@saitama-med.ac.jp 木曜日 3、4限 金子 優子 e-mail: yukaneko@saitama-med.ac.jp 火曜日 4、5限目 山本 梓司 e-mail: shinjiy@saitama-med.ac.jp 水曜日 12時～13時  上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。			

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"><li>○本科目では、限られた時間で膨大な内容を習得する必要がある。そのため、事前に教科書の該当箇所に目を通しておくことが望ましい。</li><li>○講義後の復習として、各人でノートをまとめることが重要である。</li><li>○講義ごとに確認試験がWebClassに公開されているので、必ず実施すること。（試験対策にもなる）</li><li>○疑問点は遠慮なく質問すること。</li><li>○試験対策は早めに取り掛かること。</li><li>○試験前日は対応できないことがあるので、わからないところは早めに質問に来ること。</li></ul>
-------------	--

講義名	人体の構造と機能Ⅲ（生化学A）		
（副題）	専門基礎科目（基礎医学系）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
管理栄養士	◎ 伴場 裕巳	臨床検査学科教員

担当教員	伴場 裕巳
科目の目標	生化学は生命現象を化学的方法で解明しようとする生物科学である。生化学Aでは、生命体の構造単位である細胞の構造を理解し、生体を構成する成分の化学的性質や機能について説明できるようにする。また、体内の化学反応の主役である酵素の性質について理解する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生体成分を列挙できる。</li> <li>2) アミノ酸・タンパク質の構造と性質について説明できる。</li> <li>3) 糖質の構造と役割について説明できる。</li> <li>4) 脂質の構造と役割について説明できる。</li> <li>5) 核酸の構造と物理化学的性質について説明できる。</li> <li>6) 水と無機質の体内における分布と機能について説明できる。</li> <li>7) 細胞内小器官の名称と形態および役割について説明できる。</li> <li>8) 酵素の様々な特徴と機能について説明できる。</li> <li>9) ビタミンの分類、種類と機能について説明できる。</li> <li>10) 生体内代謝の概要について説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	アミノ酸・タンパク質の構造と機能Ⅰ（アミノ酸）		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生体を構成する成分を列挙できる。</li> <li>2. タンパク質の役割について説明できる。</li> <li>3. タンパク質を構成するアミノ酸の基本構造について説明できる。</li> <li>4. アミノ酸の種類と性質について説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	アミノ酸・タンパク質の構造と機能Ⅱ（タンパク質）		
	授業内容			

1. ペプチド結合について説明できる。
  2. タンパク質の一次～四次構造について説明できる。
  3. タンパク質の変性条件について説明できる。
  4. 血清タンパク質の分類と役割について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	糖質の構造と機能Ⅰ(単糖と単糖誘導体)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 単糖の名称と立体異性について説明できる。</li> <li>2. 単糖の環状構造について説明できる。</li> <li>3. 単糖の性質について説明できる。</li> <li>4. 重要な単糖とその誘導体について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	糖質の構造と機能Ⅱ(二糖類、多糖類、複合糖質)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 二糖類の構造と性質について説明できる。</li> <li>2. 多糖類の構造と性質について説明できる。</li> <li>3. プロテオグリカンの構造と役割について説明できる。</li> <li>4. 糖タンパク質について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	脂質の構造と機能Ⅰ(脂肪酸と単純脂質)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脂質の性質について説明できる。</li> <li>2. 脂質の分類ができる。</li> <li>3. 脂肪酸の構造と種類について説明できる。</li> <li>4. トリアシルグリセロールの構造と機能について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	脂質の構造と機能Ⅱ(複合脂質、誘導脂質)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リン脂質、糖脂質の構造と機能について説明できる。</li> <li>2. 両親媒性と脂質二重層について説明できる。</li> <li>3. リポタンパク質の構造と機能について説明できる。</li> <li>4. ステロイドについて説明できる。</li> <li>5. エイコサノイドについて説明できる。</li> <li>6. テルペンについて説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	ヌクレオチドと核酸		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 染色体の構造とゲノムについて説明できる。</li> <li>2. ヌクレオチドと塩基組成について説明できる。</li> <li>3. DNAの分子構造と物理化学的性質について説明できる。</li> <li>4. RNAの分子構造について説明できる。</li> <li>5. RNAの種類について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	体液と酸塩基平衡		
	授業内容			

1. 体液の区分と組成について説明できる。
  2. 電解質の役割について説明できる。
  3. 水の動態について説明できる。
  4. 血液、肺、腎臓の連関による酸・塩基平衡について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

9	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	無機質(多量元素と微量元素)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生体内に存在する無機質を列挙できる。</li> <li>2. 多量元素と微量元素について説明できる。</li> <li>3. 体の構成成分としての無機質について説明できる。</li> <li>4. 無機質による生体機能調節について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	細胞の構造と機能		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命の基本単位である細胞の構造について説明できる。</li> <li>2. 生体膜の構成とその機能について説明できる。</li> <li>3. 核について説明できる。</li> <li>4. 細胞内小器官の名称とその機能について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	酵素Ⅰ(酵素の特性と活性調節)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生体触媒である酵素の構造について説明できる。</li> <li>2. 酵素の基質特異性について説明できる。</li> <li>3. 酵素活性に及ぼす環境の影響について説明できる。</li> <li>4. 酵素活性の調節について説明できる。</li> <li>5. 補因子について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	酵素Ⅱ(酵素反応の阻害、酵素の分類)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 反応速度論について説明できる。</li> <li>2. 酵素反応の阻害について説明できる。</li> <li>3. 酵素の命名と分類について説明できる。</li> <li>4. アイソザイムについて説明できる。</li> <li>5. 血清中の酵素活性と疾患との関わりについて説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	水溶性ビタミン		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水溶性ビタミンを列挙できる。</li> <li>2. ビタミンB群の役割について説明できる。</li> <li>3. ビタミンCの役割について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	脂溶性ビタミン		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脂溶性ビタミンを列挙して構造と機能について説明できる。</li> <li>2. ビタミンの欠乏症について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		

15	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	生体エネルギーと代謝		
授業内容	1. 異化と同化について説明できる。 2. ATPの構造と産生について説明できる。 3. 糖質・脂質・タンパク質の代謝の概要について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
評価方法	1. 後期定期試験(多肢選択式、論述式、正誤問題等)の成績で評価する。 2. 試験内容は講義内容の全範囲とする。 3. 定期試験不合格者については、追再試期間に再試験を行う。 4. 再試験は1回のみ行う。			
教科書	コンパス生化学 改訂第2版、前田正知、浅野真司 編集、南江堂			
参考書	1. シンプル生化学 改訂第7版、林 典夫他監修、南江堂 2. イラストレイテッド ハーパー・生化学 原書30版 清水孝雄 監訳、丸善出版			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 水曜日の12:10~13:10 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail : bam@saitama-med. ac. jp			
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、授業中に理解するように努め、疑問点は教員に質問すること。 毎回実施する小テストで知識を確認し、理解不足の点を解決すること。 授業後は提示する課題により、教科書での確認や図書館の蔵書を用いて発展的な内容を学ぶ姿勢を養い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。 毎回実施する小テストや課題に対するフィードバックは解説を示す。			

講義名	人体の構造と機能Ⅱ（生理学実験）		
（副題）	専門基礎科目（基礎医学系）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実験
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日	金曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 藤原 智徳	臨床検査学科教員

担当教員	藤原 智徳・金子 優子・山本 梓司・水谷 諭史
科目の目標	生体活動は、様々な物理的、化学的な原理に基づいている。生体の機能を評価するため、機械工学的あるいは電子工学的な装置を用いた測定が行われる。本実験では、講義で学んだ様々な生理機能に関して、その原理・原則の理解を深めるべく、動物や学生自身を対象とした体験的な学習を行う。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生体膜を介した物質の輸送を説明できる。</li> <li>2) 拡散、浸透圧について説明できる。</li> <li>3) 膜電位の成因について説明できる。</li> <li>4) 電気刺激装置や記録計を操作できる。</li> <li>5) 神経伝導の機序について説明できる。</li> <li>6) 神経の伝導速度を測定できる。</li> <li>7) 被験者の誘発筋電図を記録できる。</li> <li>8) 刺激と誘発筋電図の解析から、体内で起きている神経情報伝達を説明できる。</li> <li>9) 心臓の刺激伝導系を説明できる。</li> <li>10) 心臓の活動電位の記録法を説明できる。</li> <li>11) 尿量の変化に影響を及ぼす各種の因子について説明できる。</li> <li>12) 腎クリアランスについて説明できる。</li> <li>13) 糸球体濾過量を測定できる。</li> </ol>

授業計画表				
A班				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	4限
	講義室	C208		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習オリエンテーション 第一クールの説明		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習の心得を説明できる。</li> <li>2. 実習レポートの書き方を説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	3限
	講義室	B203・B205		

担当者	藤原・金子・山本・水谷			
テーマ	実習1 生体膜			
授業内容	1. 半透膜の性質について説明できる。 2. 生体膜を介した物質の輸送について説明できる。 3. 膜電位の発生について説明できる。 4. 浸透圧について説明できる。 5. 膠質浸透圧について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	4限
	講義室	B203・B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習1 生体膜		
	授業内容	1. 半透膜の性質について説明できる。 2. 生体膜を介した物質の輸送について説明できる。 3. 膜電位の発生について説明できる。 4. 浸透圧について説明できる。 5. 膠質浸透圧について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	5限
	講義室	B203・B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習1 生体膜		
	授業内容	1. 半透膜の性質について説明できる。 2. 生体膜を介した物質の輸送について説明できる。 3. 膜電位の発生について説明できる。 4. 浸透圧について説明できる。 5. 膠質浸透圧について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習2 神経伝導		
	授業内容	1. 電気刺激装置や記録計を操作できる。 2. 活動電位の発生のメカニズムを説明できる。 3. カエル坐骨神経標本を作製し、活動電位の誘発・記録ができる。 4. 刺激強度と活動電位の発生との関係を説明できる。 5. カエル坐骨神経の伝導速度を測定できる。 6. 神経構造と伝導速度との関係を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習2 神経伝導		
	授業内容	1. 電気刺激装置や記録計を操作できる。 2. 活動電位の発生のメカニズムを説明できる。 3. カエル坐骨神経標本を作製し、活動電位の誘発・記録ができる。 4. 刺激強度と活動電位の発生との関係を説明できる。 5. カエル坐骨神経の伝導速度を測定できる。 6. 神経構造と伝導速度との関係を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	5限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習2 神経伝導		
	授業内容			

1. 電気刺激装置や記録計を操作できる。
  2. 活動電位の発生のメカニズムを説明できる。
  3. カエル坐骨神経標本を作製し、活動電位の誘発・記録ができる。
  4. 刺激強度と活動電位の発生との関係を説明できる。
  5. カエル坐骨神経の伝導速度を測定できる。
  6. 神経構造と伝導速度との関係を説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

8	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習3 筋電図		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分あるいは被験者から筋電図を記録することができる。</li> <li>2. 筋電図をもとに、筋活動とそれを引き起こす神経活動を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習3 筋電図		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分あるいは被験者から筋電図を記録することができる。</li> <li>2. 筋電図をもとに、筋活動とそれを引き起こす神経活動を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	5限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習3 筋電図		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分あるいは被験者から筋電図を記録することができる。</li> <li>2. 筋電図をもとに、筋活動とそれを引き起こす神経活動を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	第一クールのまとめ		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第一クールで学んだことを説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	4限
	講義室	C208		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	第一クールの確認試験 第二クールの説明		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第一クールで学んだことを説明できる。</li> <li>2. 第二クールで実施する実習の概要を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習5 心臓		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電極、増幅器、オシロスコープ、記録器に配線することができる。</li> <li>2. カエルを用いて心電図の記録ができる。</li> <li>3. 心電図波形を説明できる。</li> <li>4. 異常心電図の発生のメカニズムを説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習5 心臓		

授業内容	1. 電極、増幅器、オシロスコープ、記録器に配線することができる。 2. カエルを用いて心電図の記録ができる。 3. 心電図波形を説明できる。 4. 異常心電図の発生のメカニズムを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
15	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	5限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習 5 心臓		
	授業内容	1. 電極、増幅器、オシロスコープ、記録器に配線することができる。 2. カエルを用いて心電図の記録ができる。 3. 心電図波形を説明できる。 4. 異常心電図の発生のメカニズムを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習 6 腎臓		
	授業内容	1. 尿生成に関して糸球体と尿細管の機能について説明できる。 2. クリアランスについて説明できる。 3. 糸球体濾過量を求めることができる。 4. 尿量の変化に及ぼす各種の因子について説明できる。 5. 比色定量ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習 6 腎臓		
	授業内容	1. 尿生成に関して糸球体と尿細管の機能について説明できる。 2. クリアランスについて説明できる。 3. 糸球体濾過量を求めることができる。 4. 尿量の変化に及ぼす各種の因子について説明できる。 5. 比色定量ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	5限
	講義室	B203		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習 6 腎臓		
	授業内容	1. 尿生成に関して糸球体と尿細管の機能について説明できる。 2. クリアランスについて説明できる。 3. 糸球体濾過量を求めることができる。 4. 尿量の変化に及ぼす各種の因子について説明できる。 5. 比色定量ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習 4 誘発筋電図		
	授業内容	1. 皮膚上から神経を電氣的刺激することができる。 2. 誘発された筋電図から、体内情報伝達の神経経路を説明することができる。 3. 刺激強度と誘発筋電図の関係を解析し体内で起こっている現象を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習 4 誘発筋電図		
	授業内容			

1. 皮膚上から神経を電氣的刺激することができる。
  2. 誘発された筋電図から、体内情報伝達の神経経路を説明することができる。
  3. 刺激強度と誘発筋電図の関係を解析し体内で起こっている現象を説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

21	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	5限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習4 誘発筋電図		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 皮膚上から神経を電氣的刺激することができる。</li> <li>2. 誘発された筋電図から、体内情報伝達の神経経路を説明することができる。</li> <li>3. 刺激強度と誘発筋電図の関係を解析し体内で起こっている現象を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	第二クールのまとめ		
	授業内容	第二クールで学んだことを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	4限
	講義室	C208		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習のまとめ 第二クールの確認試験		
	授業内容	実習内容の確認試験を行い、実習の内容を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

B班

1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	4限
	講義室	C208		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習オリエンテーション 第一クールの説明		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習の心得を説明できる。</li> <li>2. 実習レポートの書き方を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	3限
	講義室	B203・B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習1 生体膜		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 半透膜の性質について説明できる。</li> <li>2. 生体膜を介した物質の輸送について説明できる。</li> <li>3. 膜電位の発生について説明できる。</li> <li>4. 浸透圧について説明できる。</li> <li>5. 膠質浸透圧について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	4限
	講義室	B203・B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習1 生体膜		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 半透膜の性質について説明できる。</li> <li>2. 生体膜を介した物質の輸送について説明できる。</li> <li>3. 膜電位の発生について説明できる。</li> <li>4. 浸透圧について説明できる。</li> <li>5. 膠質浸透圧について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	5限

講義室	B203・B205			
担当者	藤原・金子・山本・水谷			
テーマ	実習1 生体膜			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 半透膜の性質について説明できる。</li> <li>2. 生体膜を介した物質の輸送について説明できる。</li> <li>3. 膜電位の発生について説明できる。</li> <li>4. 浸透圧について説明できる。</li> <li>5. 膠質浸透圧について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)			
5	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習2 神経伝導		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電気刺激装置や記録計を操作できる。</li> <li>2. 活動電位の発生のメカニズムを説明できる。</li> <li>3. カエル坐骨神経標本を作製し、活動電位の誘発・記録ができる。</li> <li>4. 刺激強度と活動電位の発生との関係を説明できる。</li> <li>5. カエル坐骨神経の伝導速度を測定できる。</li> <li>6. 神経構造と伝導速度との関係を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習2 神経伝導		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電気刺激装置や記録計を操作できる。</li> <li>2. 活動電位の発生のメカニズムを説明できる。</li> <li>3. カエル坐骨神経標本を作製し、活動電位の誘発・記録ができる。</li> <li>4. 刺激強度と活動電位の発生との関係を説明できる。</li> <li>5. カエル坐骨神経の伝導速度を測定できる。</li> <li>6. 神経構造と伝導速度との関係を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	5限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習2 神経伝導		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電気刺激装置や記録計を操作できる。</li> <li>2. 活動電位の発生のメカニズムを説明できる。</li> <li>3. カエル坐骨神経標本を作製し、活動電位の誘発・記録ができる。</li> <li>4. 刺激強度と活動電位の発生との関係を説明できる。</li> <li>5. カエル坐骨神経の伝導速度を測定できる。</li> <li>6. 神経構造と伝導速度との関係を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習3 筋電図		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分あるいは被験者から筋電図を記録することができる。</li> <li>2. 筋電図をもとに、筋活動とそれを引き起こす神経活動を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習3 筋電図		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分あるいは被験者から筋電図を記録することができる。</li> <li>2. 筋電図をもとに、筋活動とそれを引き起こす神経活動を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	5限
	講義室	B205		

担当者	藤原・金子・山本・水谷			
テーマ	実習3 筋電図			
授業内容	1. 自分あるいは被験者から筋電図を記録することができる。 2. 筋電図をもとに、筋活動とそれを引き起こす神経活動を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	第一クールのまとめ		
	授業内容	1. 第一クールで学んだことを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	4限
	講義室	C208		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	第一クールの確認試験 第二クールの説明		
	授業内容	1. 第一クールで学んだことを説明できる。 2. 第二クールで実施する実習の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習4 心臓		
	授業内容	1. 電極、増幅器、オシロスコープ、記録器に配線することができる。 2. カエルを用いて心電図の記録ができる。 3. 心電図波形を説明できる。 4. 異常心電図の発生のメカニズムを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習4 心臓		
	授業内容	1. 電極、増幅器、オシロスコープ、記録器に配線することができる。 2. カエルを用いて心電図の記録ができる。 3. 心電図波形を説明できる。 4. 異常心電図の発生のメカニズムを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	5限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習4 心臓		
	授業内容	1. 電極、増幅器、オシロスコープ、記録器に配線することができる。 2. カエルを用いて心電図の記録ができる。 3. 心電図波形を説明できる。 4. 異常心電図の発生のメカニズムを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習4 誘発筋電図		
	授業内容	1. 皮膚上から神経を電氣的刺激することができる。 2. 誘発された筋電図から、体内情報伝達の神経経路を説明することができる。 3. 刺激強度と誘発筋電図の関係解析し体内で起こっている現象を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	4限

講義室	B205			
担当者	藤原・金子・山本・水谷			
テーマ	実習4 誘発筋電図			
授業内容	1. 皮膚上から神経を電氣的刺激することができる。 2. 誘発された筋電図から、体内情報伝達の神経経路を説明することができる。 3. 刺激強度と誘発筋電図の関係を解析し体内で起こっている現象を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
18	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	5限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習4 誘発筋電図		
	授業内容	1. 皮膚上から神経を電氣的刺激することができる。 2. 誘発された筋電図から、体内情報伝達の神経経路を説明することができる。 3. 刺激強度と誘発筋電図の関係を解析し体内で起こっている現象を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習5 腎臓		
	授業内容	1. 尿生成に関して糸球体と尿細管の機能について説明できる。 2. クリアランスについて説明できる。 3. 糸球体濾過量を求めることができる。 4. 尿量の変化に及ぼす各種の因子について説明できる。 5. 比色定量ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習5 腎臓		
	授業内容	1. 尿生成に関して糸球体と尿細管の機能について説明できる。 2. クリアランスについて説明できる。 3. 糸球体濾過量を求めることができる。 4. 尿量の変化に及ぼす各種の因子について説明できる。 5. 比色定量ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	5限
	講義室	B203		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習5 腎臓		
	授業内容	1. 尿生成に関して糸球体と尿細管の機能について説明できる。 2. クリアランスについて説明できる。 3. 糸球体濾過量を求めることができる。 4. 尿量の変化に及ぼす各種の因子について説明できる。 5. 比色定量ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	第二クールのまとめ		
	授業内容	第二クールで学んだことを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	4限
	講義室	C208		
	担当者	藤原・金子・山本・水谷		
	テーマ	実習のまとめ 第二クールの確認試験		

授業内容	実習内容の確認試験を行い、実習の内容を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)
評価方法	実習レポート、実習態度、確認試験で総合的に評価する。 そのため、レポートを定められた期日までに提出することは必須である。 第一クールのまとめ(11/14)、第二クールのまとめ(1/9)で行う確認試験で合格点に達していない場合、再試験を行う。
教科書	「人体の構造と機能 生理学実習書」(オリエンテーション時に配布)
参考書	シンプル生理学 改訂第8版 貴邑、根来 南江堂 トートラ人体解剖生理学・原著11版、佐伯他、丸善出版
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 藤原 智徳 e-mail: tfuj@saitama-med.ac.jp 木曜日 3、4限 金子 優子 e-mail: yukaneko@saitama-med.ac.jp 火曜日 4、5限目 山本 梓司 e-mail: shinjiy@saitama-med.ac.jp 水曜日 12時～13時 水谷 諭史 e-mail: mizutani@saitama-med.ac.jp 金曜日 12時～13時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。
履修上の注意、履修要件	1. 本実験は、人体の構造と機能Ⅱ(生理学)と一体を成す。 2. 実験前には、実習書の該当部分を読み、講義内容を復習しておく。 3. 各実習には、予習課題が出される。予習課題は指定された用紙に記し、実習当日に提出する。 4. 生理学の教科書を必ず持参する。 5. 実習室の利用法を厳守する。白衣と実習用の靴を着用してくる。 6. 指定された期日までに必ず実習レポートを提出する。 7. 実習レポートは、第一クールのまとめ、第二クールのまとめで返却する。再提出を指示された場合、指摘された箇所を修正・加筆して、指定された期日までに必ず提出する。 8. 疑問点は遠慮なく教員に質問する。

講義名	病理学		
(副題)	専門基礎科目（基礎医学系）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
臨床検査技師	◎ 木下 勇一	臨床検査学科教員

担当教員	木下 勇一・茅野 秀一・黒田 真代
科目の目標	<p>病理学は疾病の成り立ちを理解することを目的としており、基礎医学と臨床医学の架け橋であるとともに、臨床検査の主要分野の一つである病理検査学の学修の基盤となる。また、病理学は、「ヒトの病気Ⅰ～Ⅳ」をはじめとする他の科目で学ぶ疾病の基礎的知識とも大きく関連しており、医療人にとって必須の知識である。</p> <p>具体的には、疾患（疾病）の原因、発生機序、形態異常を説明できることが科目の目標であり、医学・医療に関する基本的な専門用語の定義が説明できるようになることが求められる。結果として医学・医療に専門書の記述を正しく読解できるようになり他科目の理解にも資することができる。</p> <p>目標の一つは能動的な学修態度の育成である（アクティブラーニング）。講義中の質疑を繰り返し、口頭で回答する体験を通して知識を再確認したり、その場で調べる、討論するなどの活動を含む。</p>
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疾患に関わる基礎的医学用語を列挙し、かつ説明できる。</li> <li>2) 正常の構造と機能を踏まえて疾患によって生じる形態異常を説明できる。</li> <li>3) 疾病の病理学総論的6大分類を列挙し、かつ説明できる。</li> <li>4) 臓器別気管別に代表的な疾患の成り立ちを説明できる。</li> <li>5) 他の科目で学ぶ疾患の概要を病理学的に基礎的な医学用語を用い適切に説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	オリエンテーション・病理学の概要・染色体遺伝子異常症		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病理学の意義を説明できる。</li> <li>2. 疾病の成り立ちと病因について概説できる。</li> <li>3. 代表的な染色体遺伝子異常症を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	細胞傷害と修復、退行性病変、物質代謝障害		
	授業内容			

1. ストレスに対する細胞の反応（適応、可逆的障害、不可的障害）を説明できる。
  2. ネクロシスとアポトーシスの違いについて説明できる。
  3. 創傷治癒について概説できる。
- （予習時間30分、復習時間30分）

3	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	循環障害 1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. うっ血、充血、虚血の定義とそれらの相違点および各々の代表的病態を説明できる。</li> <li>2. 血栓および塞栓の定義とそれらの相違点ならびに代表的疾患を説明できる。</li> <li>3. 様々な染色法の意義を説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	循環障害2		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 梗塞について説明できる。</li> <li>2. 浮腫の機序を説明できる。</li> <li>3. ショックの病態と分類を説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	炎症 1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 炎症の意味を理解し、概念を説明できる。</li> <li>2. 炎症の5主徴を説明できる。</li> <li>3. 炎症の分類、特に化膿性炎と肉芽腫性炎について説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	炎症 2		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 代表的な感染性疾患についてその病原体の種類および主な徴候を説明できる。</li> <li>2. 感染症に伴う全身性合併症について説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	腫瘍 1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 腫瘍の定義、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いについて説明できる。</li> <li>2. 浸潤・転移・再発を説明できる。</li> <li>3. 腫瘍の組織学的分類を概説できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	腫瘍 2		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 腫瘍発生に関わる7項目とそれにかかわる分子異常を説明できる。</li> <li>2. がん遺伝子とがん抑制遺伝子の違いについて説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	循環器疾患の病理学		

授業内容	1. 先天性心疾患を概説できる。 2. 心不全の病態を説明できる。 3. 動脈硬化症の転帰について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	呼吸器疾患の病理学		
	授業内容	1. 代表的な炎症性疾患についてその組織学的特徴を説明できる。 2. 代表的な腫瘍性疾患についてその組織学的特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	消化器疾患の病理学(1)消化管編		
	授業内容	1. 代表的な消化管炎症性疾患の病理学的特徴を説明できる。 2. 代表的な消化管腫瘍性疾患の病理学的特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	消化器疾患の病理学(2)肝・胆・膵編		
	授業内容	1. 代表的な肝・胆・膵炎症性疾患の病理学的特徴を説明できる。 2. 代表的な肝・胆・膵腫瘍性疾患の病理学的特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	内分泌疾患の病理学		
	授業内容	1. 内分泌系のホメオスタシスについて説明できる。 2. 糖尿病・クッシング症候群について説明できる。 3. 代表的な内分泌系腫瘍を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	神経疾患の病理学		
	授業内容	1. 神経組織を構成する細胞を列挙できる。 2. 代表的な脳腫瘍・脱髄疾患・神経変性疾患を概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	木下・茅野・黒田		
	テーマ	泌尿・生殖器疾患の病理学・まとめと授業評価		
	授業内容	1. 代表的な腎疾患(糸球体腎炎・腫瘍)を説明できる。 2. 代表的な尿路疾患を説明できる。 3. 代表的な生殖器疾患を説明できる。 4. 総まとめと授業評価アンケート実施。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	定期試験(多選択肢式:論述式=8:2)の成績で評価する。 再試験は原則として実施しない。			
教科書	最新臨床検査学講座 病理学/病理検査学、松原修他著、医歯薬出版			

参考書	<p>1) カラーイラストで学ぶ集中講義病理学改訂2版、清水道生・内藤善哉編、メジカルビュー社  2) 標準病理学 第5版 医学書院  3) カラーアトラス ひとの組織学、インターズー社</p>
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。  原則的に来室前に予約をすること。  【木下 勇一】  連絡先： kinoshyu@saitama-med.ac.jp  オフィスアワー：水曜日、金曜日の昼休み。</p>
履修上の注意、履修要件	<p>正常の構造・機能を十分に復習してから授業に臨むこと。  授業までには教科書の該当ページを予習すること、授業後に復習することを習慣づけること。  余暇を利用して参考書を自ら探すなどの積極的な学習態度が望ましい。</p>

講義名	臨床検査概論		
(副題)	専門科目（臨床検査系）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	火曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
臨床検査技師	◎ 小野川 傑	臨床検査学科教員

担当教員	小野川 傑・山本 晃司
科目の目標	初めて学ぶ臨床検査について、その概略と診断過程における役割について学ぶ。併せて、臨床検査技師として備えておくべき知識、専門領域を学ぶために必要になる基礎事項を学ぶ。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療における臨床検査の意義について説明できる。</li> <li>2) 臨床検査技師の役割と使命について説明できる。</li> <li>3) 臨床検査技師の行う業務およびそれに伴う各種管理について説明できる。</li> <li>4) 検査値の変動が示す意味について説明できる。</li> <li>5) 汎用機器、器具の仕組みについて説明できる。</li> <li>6) 臨床検査で利用される単位、計算などを正確に利用できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	小野川		
	テーマ	臨床検査の役割（臨床検査技師の役割と使命、職業倫理）		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床検査技術の変遷について説明できる。</li> <li>2. 臨床検査技師の役割と使命について説明できる。</li> <li>3. 臨床検査における倫理について説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	小野川		
	テーマ	臨床検査の種類（臨床検査部門の業務と各種管理）		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 検査部門の組織と業務について説明できる。</li> <li>2. 臨床検査の目的について説明できる。</li> <li>3. 臨床検査の種類について説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
3	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	4限

講義室	C306			
担当者	小野川			
テーマ	臨床検査でわかること：生体（生理）検査（高校で学んだ「生物基礎」の知識を活かして）			
授業内容	1. 生体（生理）検査の種類について説明できる。 2. 循環器、血液を例にして関連する検査値の変動が何を表すのか説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	山本		
	テーマ	臨床検査でわかること：検体検査（高校で学んだ「生物基礎」の知識を活かして）		
	授業内容	1. 検体検査の種類について説明できる。 2. 肝臓、腎臓や膵臓を例にして関連する検査値の変動が何を表すのか説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	山本		
	テーマ	検体を処理する（採取した血液を検査に使用するための準備を例に）		
	授業内容	1. 採取した検体を検査目的に応じて適切に扱うことができる（採血管の選択など）。 2. 遠心分離の必要性について説明することができる。 3. 遠心分離器の仕組みを説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	山本		
	テーマ	基礎検査技術-1：細胞をみる技術（顕微鏡の原理や使用方法）		
	授業内容	1. 顕微鏡の原理や種類について説明できる。 2. 顕微鏡で観察する部位に応じた基本的な染色について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	山本		
	テーマ	基礎検査技術-2：検体を測定する技術（汎用単位、マイクロピペットの仕組み、比色法）		
	授業内容	1. 臨床検査で汎用される単位について説明できる。 2. マイクロピペットの仕組みについて説明できる。 3. 検体中の測定対象物を測定する方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	4限
	講義室	C306		
	担当者	小野川		
	テーマ	基礎検査技術-3：検体を採取する（血液を採取する方法を例に）		
	授業内容	1. 臨床検査における検体の種類について説明できる。 2. 採血の目的、技術について説明できる。 3. 採血に適した静脈を選択できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験試験期間中に行う筆記試験で評価する。 2. 再試験を実施する。			
教科書	最新臨床検査学講座 検査総合管理学、高木康、三村邦裕編、医歯薬出版			
参考書	なし			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【小野川 傑】 火曜日12:10-13:10 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にメールにてアポイントメントをとること。 連絡先は「学生便覧」を参照。			

履修上の注意、履修要件

講義後は復習し、学習内容の見直しを行きましょう。さらに余暇を利用して講義で使用した配布資料や図書館での参考書などを活用し、学習内容の理解を深めることに心掛けてください。

講義名	基礎臨床検査技術		
(副題)	専門科目（臨床検査系）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	水曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年通年		

担当教員		
職種	氏名	所属
臨床検査技師	◎ 小野川 傑	臨床検査学科教員

担当教員	小野川 傑・山岸 敏之・小野 公嗣・黒田 真代・内田 康子・山本 晃司・山本 梓司・大村 一之・高橋 祐介・山賀 貴・川田 真衣・古川 敏基
科目の目標	はじめて臨床検査を学ぶにあたり、今後様々な科目で使用する頻度の高い汎用機器や器具の原理および使用方法を理解する。また臨床検査の対象となる「からだ」について、自分自身のバイタルサインを観察（測定）することで、「からだ」について関心をもつ。 本演習では実用器具の扱いにも重点を置き、正確なデータを出すための技術を習得する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 臨床検査で汎用される機器について説明できる。</li> <li>2) 容量器の種類と使用方法を説明できる。</li> <li>3) 所定濃度の試薬作製に必要な計算ができる。</li> <li>4) 微量ピペットの原理と使用方法を説明できる。</li> <li>5) pHメータの原理と使用方法を説明できる。</li> <li>6) 分光光度計の原理と使用方法を説明できる。</li> <li>7) 顕微鏡の種類と使用方法を説明できる。</li> <li>8) 消毒・滅菌の原理と方法を説明できる。</li> <li>9) 遠心分離器の原理と種類および使用方法を説明できる。</li> <li>10) 天秤の種類と構造および使用方法を説明できる。</li> <li>11) 純水製造法の原理を説明できる。</li> <li>12) バイタルサインについて説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
前期				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	小野川		
	テーマ	ガイダンス・臨床検査に必要な基礎技術		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本演習の学修到達目標を説明できる。</li> <li>2. 実習室内の望ましい行動・態度、望ましくない行動・態度を挙げることができる。</li> <li>3. 実習室内で適切に行動できる。</li> <li>4. 実習室内での望ましくない行動や態度を指摘できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	4限

講義室	B203			
担当者	山本晃・高橋・山賀・川田			
テーマ	手指衛生と个人防护具			
授業内容	1. 消毒薬を正しく選択できる。 2. 感染防止策として手指洗浄を正しく行える。 3. マスクやガウンなどの个人防护具の選択や脱着を正しく行える。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	黒田・山岸・小野・山賀・川田		
	テーマ	光学顕微鏡の使い方		
	授業内容	1. 顕微鏡を保管場所から実習台に正しく設置できる。 2. 顕微鏡の操作部分の名称を説明できる。 3. 低倍率(対物4倍)から段階的に倍率を上げて観察できる。 4. 標本のルーペ像と顕微鏡像の見え方の違いを説明できる。 5. コンデンサーや開口絞りの調節について説明できる。 6. 接眼マイクロメーターの装着と取り外しができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	黒田・山岸・小野・山賀・川田		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	高橋・山本晃・山賀・古川		
	テーマ	秤量(天秤、ピペットの扱い方)		
	授業内容	1. 試料を正しく秤量できる。 2. 秤量したい量に応じたはかりを選択できる。 3. メスピペット、ホールピペットを正しく使える。 4. 微量ピペットを正しく使える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	高橋・山本晃・山賀・古川		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
7	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	山賀		
	テーマ	試薬調整(紙上演習)		
	授業内容	1. 臨床検査に必要な試薬類の調整の際に求められる計算ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	山本晃・山本梓		
	テーマ	試薬の調整(所定濃度への調整)		

授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要な試薬の準備ができる。</li> <li>2. 天秤を正しく使用できる。</li> <li>3. 遠心器を正しく使用できる。</li> <li>4. 赤血球浮遊液を作製できる。</li> <li>5. 純粋製造法の原理を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	山本晃・山本梓		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	山本晃・山賀		
	テーマ	所定濃度への希釈、連続希釈		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要な試薬の準備(計算)ができる。</li> <li>2. 天秤を正しく使用できる。</li> <li>3. ピペット類を正しく使用できる。</li> <li>4. 連続希釈系列を自分で組み立てることが出来る。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	山本晃・山賀		
	テーマ	"		
	授業内容	"		

後期

1	年月日(曜日)	令和 7年10月02日(木)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	内田・大村		
	テーマ	バイタルサイン		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. バイタルサインとはなにか説明できる。</li> <li>2. 脈拍とはなにか説明できる。</li> <li>3. 血圧とはなにか説明できる。</li> <li>4. 呼吸、酸素飽和度とはなにか説明できる。</li> <li>5. 体温の恒温性について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月02日(木)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	内田・大村		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	小野川		
	テーマ	採血		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 採血の目的について説明できる。</li> <li>2. 臨床検査技師による採血ができる血管(部位)について説明できる。</li> <li>3. 採血部位の解剖学的構造を説明できる。</li> <li>4. 採血時の合併症について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	小野川・山本晃・山賀・川田		

テーマ	採血（演習）			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初対面の人に挨拶と採血の際に必要な説明ができる。</li> <li>2. 目的に応じた採血準備（注射針やシリンジ等）ができる。</li> <li>3. 採血が可能な血管を確認できる。</li> <li>4. 採血部位の消毒が正しくできる。</li> <li>5. シミュレータを使った血管穿刺ができる（留置針を含む）。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）			
5	年月日（曜日）	令和 7年10月16日（木）	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	山本晃・川田		
	テーマ	検体の取扱い、遠心分離、塗抹標本の作製		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 検査目的に応じた採血管を選択できる。</li> <li>2. 採血の手順を説明できる。</li> <li>3. 採血できる血管を探ることができる。</li> <li>4. 採血部位の消毒が正しくできる。</li> <li>5. 採血後の採血器具の廃棄が正しくできる。</li> <li>6. 遠心分離器を正しく使用できる。</li> <li>7. 血液塗抹標本を作製できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年10月16日（木）	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	山本晃・川田		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
7	年月日（曜日）	令和 7年10月23日（木）	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	高橋		
	テーマ	汎用機器の構造、使用方法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床検査において汎用する機器類の使用目的について説明できる。</li> <li>2. これら汎用機器の構造について説明できる。</li> <li>3. これら汎用機器の使用時の注意点について説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年10月23日（木）	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	高橋		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
9	年月日（曜日）	令和 7年10月30日（木）	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	高橋・古川		
	テーマ	吸収曲線、反応の経時変化		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有色物質がもつ特定波長で測定する意味について説明できる。</li> <li>2. ピペットを正しく使うことが出来る。</li> <li>3. 分光光度計が正しく使うことが出来る。</li> <li>4. 反応の経時変化について説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日（曜日）	令和 7年10月30日（木）	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	高橋・古川		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
11	年月日（曜日）	令和 7年11月06日（木）	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	高橋・古川		

テーマ	電気泳動			
授業内容	1. 電気泳動法の原理を説明できる。 2. 易動度に影響を及ぼす因子について説明出来る。 3. 電気泳動の方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	高橋・古川		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
13	年月日(曜日)	令和 7年11月13日(木)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	高橋・古川		
	テーマ	直線性		
	授業内容	1. 必要な試薬の秤量ができる。 2. 反応の直線性について説明できる。 3. 天秤を正確に使用出来る。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年11月13日(木)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	高橋・古川		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	高橋・古川		
	テーマ	検量線		
	授業内容	1. 試薬のpHが調整できる。 2. 試薬調整が正確にできる。 3. 標準液の希釈系列を作製できる。 4. 検量線から濃度を求めることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	高橋・古川		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
17	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	3限
	講義室	B203		
	担当者	小野川・黒田・内田・大村・山本晃・高橋・山賀・川田・古川		
	テーマ	基礎臨床検査技術に関する技能評価		
	授業内容	1. これまで演習してきた内容について、ひとりで適切に行うことができる。 2. 使用する器具を適切に取り扱うことができる。 3. 器具の洗浄と片付けができ、消毒作業を実施できる。 4. 試料の準備および廃棄を適切に行える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	4限
	講義室	B203		
	担当者	小野川・黒田・内田・大村・山本晃・高橋・山賀・川田・古川		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
評価方法	1. 後定期試験期間の筆記試験(50%)、技術習得度確認試験(50%)により評価する。			

教科書	臨床検査学実習書シリーズ 臨床検査学基礎実習 日本臨床検査学教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
参考書	ニガテを克服! ここからはじめる臨床検査の計算入門 医歯薬出版
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【小野川 傑】 火曜日の昼休み 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前アポイントメントをとること。 E-mail: 「学生便覧」を参照のこと。
履修上の注意、履修要件	レポートは提出期限を厳守すること。 試薬調整や希釈などの「考え方」をきちんと理解すること。

講義名	情報科学		
(副題)	専門科目（総合科目）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 鈴木 康文	指定なし

担当教員	鈴木 康文
科目の目標	自然科学における情報論的な見方と情報処理機器としてのコンピュータについて学習する。また、情報処理関連用語を理解する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 情報量の考え方を説明できる。</li> <li>2) データ形式の表現法を説明できる。</li> <li>3) 論理演算と論理回路について説明できる。</li> <li>4) 情報通信の考え方を説明できる。</li> <li>5) コンピュータシステムの仕組みを説明できる。</li> <li>6) プログラミングの方法について説明できる。</li> <li>7) ネットワークの仕組みについて説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	鈴木		
	テーマ	情報とは		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報の定義を述べることができる。</li> <li>2. 情報科学の成り立ちを説明できる。</li> <li>3. 情報量の定義を説明できる。</li> <li>4. 情報量を計算できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	鈴木		
	テーマ	情報源の性質		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報源（無記憶情報源）の性質を説明できる。</li> <li>2. マルコフ情報源について説明できる。</li> <li>3. エルゴード情報源について述べるすることができる。</li> <li>4. いろいろな自然現象の情報論的な扱いができる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	鈴木		
	テーマ	数の表現と演算1		
	授業内容	1. 進数表示の考え方を説明できる。 2. 数の表現として位取り記数法の考え方を説明できる。 3. 2進数、8進数、16進数表現を扱うことができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	鈴木		
	テーマ	数の表現と演算2		
	授業内容	1. それぞれの進数への変換法を説明できる。 2. 2進数を使って四則演算ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	鈴木		
	テーマ	数の表現と演算3		
	授業内容	1. 補数の概念を理解できる。 2. 浮動小数点法と固定小数点法の違いを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	鈴木		
	テーマ	論理演算1		
	授業内容	1. ブール代数の考え方を説明できる。 2. 基本的な論理演算を挙げ、その機能を真理値表やベン図を使って説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	鈴木		
	テーマ	論理演算2		
	授業内容	1. ド・モルガンの定理を説明できる。 2. 万能演算系について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	鈴木		
	テーマ	論理素子		
	授業内容	1. 論理素子を説明できる。 2. 基本的な論理演算回路を説明できる。 3. 正論理と負論理を説明でき、論理回路との関係を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	鈴木		
	テーマ	情報理論のまとめ		
	授業内容	1. 情報量の概念を説明できる。 2. エントロピーおよび冗長度を求めることができる。 3. N進数の計算ができる。 4. 論理関数の作成、簡略化、回路の作成ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	3限

講義室	C302			
担当者	鈴木			
テーマ	論理回路			
授業内容	1. 組合わせ回路および順序回路を説明できる。 2. カルノー図を用いて論理関数を簡略化できる。 3. 論理回路の活用法を説明できる。 4. 各種フリップフロップの特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	鈴木		
	テーマ	ハードウェアシステム		
	授業内容	1. コンピュータの構成要素について説明できる。 2. CPUの仕組みと動作について説明できる。 3. 記憶装置の種類と特徴から、その使われ方を説明できる。 4. 入出力装置との結合方法(インターフェース)について説明できる。 5. 各種入出力装置とCPUの関係を説明できる。 6. いろいろな入出力装置を挙げ、その働きを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	鈴木		
	テーマ	ソフトウェア1		
	授業内容	1. コンピュータシステムの仕組みを説明できる。 2. ソフトウェアシステムの仕組みを説明できる。 3. OSの構成と役割を説明できる。 4. コンピュータの起動と終了の方法を説明できる。 5. プログラムの実行形式を挙げ、その違いを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	鈴木		
	テーマ	ソフトウェア2		
	授業内容	1. プログラムの作成手順を説明できる。 2. コンパイラ、インタープリタ、リンカの働きを述べることができる。 3. フローチャートとアルゴリズムについて説明できる。 4. プログラム言語の種類を挙げ、その特徴を述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	鈴木		
	テーマ	情報の書式と符号化		
	授業内容	1. 数値のいろいろな表現法を挙げることができる。 2. 文字のいろいろな表現法を挙げることができる。 3. 画像・動画・音声などの各種表現法を説明できる。 4. 通信に用いられる符号の考え方(圧縮、誤り訂正、暗号)を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	鈴木		
	テーマ	情報ネットワーク		
	授業内容	1. ネットワークの利用方法を挙げ、説明できる。 2. ネットワークの仕組みと各要素の役割を説明できる。 3. ネットワークとコンピュータの接続の考え方を説明できる。 4. コンピュータ間通信の仕組みを説明できる。 5. 情報セキュリティのために使われているネットワークの仕組みを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	<p>以下の事項を総合的に判断して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 筆記試験（定期試験期間中に実施）</li> <li>2. 小テスト</li> <li>3. 学習態度</li> </ol> <p>なお、再試験は1回だけ行う。</p>
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報科学概論（補訂版）、小野厚夫他著、培風館</li> <li>2. 臨床検査学講座 情報科学、松戸隆之著、医歯薬出版</li> </ol>
参考書	新訂版 看護・医療系のための情報科学入門 第2版、椎橋実智男・鈴木康文、サイオ出版
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</p> <p>授業後に教室にて相談を受け付ける。</p> <p>随時、メールにて質問を受け付ける。</p> <p>Email : suzuyasu@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛けてください。</p> <p>○数学の場合の数、確率、論理、対数の知識が、物理学の電気電子の知識が必要である。授業を受ける前に学習しておいてほしい。</p>

講義名	情報科学実習		
(副題)	専門科目（総合科目）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日	火曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年通年		

担当教員		
職種	氏名	所属
臨床検査技師	◎ 水谷 諭史	臨床検査学科教員

担当教員	水谷 諭史・是村 利幸・竹内 慶太・田口 宣行
科目の目標	<p>臨床検査技師は医療者として検査情報、医療情報、個人情報を取り扱う。情報の取り扱い方や注意しなければならないことを学修する。</p> <p>コンピュータの基本として電子計算機の操作を関数電卓を用い修得する。コンピュータの一般的なアプリケーションソフトを用い、医療者として自分の考えを他者に伝達するスキルを修得する。</p> <p>また、情報科学・データサイエンスに関する知識およびコンピュータシステム、ネットワークについての知識を合わせて学習する。</p> <p>なお、本科目の一部は、全学共通データサイエンスAI学修プログラムになっている。全学共通データサイエンスAI学修プログラムは、データサイエンス・AI・数理への関心を高め、かつそれを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成することを目的としている。</p>
学習の具体的な目標	<p>本科目は実習形式で行う。</p> <p>ディスカッションをグループ単位で行い、学生自ら医療者としての考えをプレゼンテーションする。</p> <p>&lt;基礎知識&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 情報の基本的な性質を説明できる。</li> <li>2) コンピュータシステムの構成とその役割を説明できる。</li> <li>3) ネットワークの基本的な構成とその役割を説明できる。</li> <li>4) 情報の安全管理の基本的な考え方を説明できる。</li> </ol> <p>&lt;基礎技術&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 関数電卓の基本的な操作をすることができる</li> <li>2) OSの基本的な操作をすることができる。</li> <li>3) タッチタイプができる。</li> <li>4) 文書処理の基本操作ができる。</li> <li>5) ワークシートの基本的な操作ができる。</li> <li>6) データベース操作をし、適切な学術資料を和文および欧文で収集できる。</li> <li>7) プレゼンテーション資料を作ることができる。</li> </ol> <p>&lt;応用技術&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) コンピュータを用い、他者の考えを適切に収集できる。</li> <li>2) コンピュータを用い、医療者として自分の考えを適切に発信できる。</li> </ol> <p>&lt;全学共通データサイエンスAI学修プログラム&gt;</p> <p>データサイエンス・AI・数理を医療の現場で活用するために必要な基礎的な素養を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療におけるデータサイエンス・AIの必要性を説明できる。</li> <li>2) AI等を扱う際に、人間中心の適切な判断を行うための倫理等について説明できる。</li> <li>3) 公表されている統計データを活用し、論理的に説明できる。</li> </ol>

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	実習室の使い方、コンピュータとネットワークの利用、Windowsソフトの基本的な使い方、文字処理、セキュリティ、正しいメールの送り方		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. マルチメディア講堂の使い方を実践できる。</li> <li>2. コンピュータシステム（ハードとソフト）の構成と役割を説明できる。</li> <li>3. OSの役割を説明でき、基本的な操作を実践できる。</li> <li>4. ファイルシステムを操作できる。</li> <li>5. ウィンドウズソフトの基本的な操作を実施できる。</li> <li>6. ネットワークの仕組みを説明でき、コンテンツ（電子メール、ホームページ、共有資源）を利用できる。</li> <li>7. キーボードとマウスを操作できる。</li> <li>8. 日本語入力システムを使うことができる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	5限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内・田口		
	テーマ	文献検索		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 種々の情報源から得られる資料を適切に選び出すことができる。</li> <li>2. テーマに合わせて資料を適切に組み合わせることができる。</li> <li>3. 得られた文献情報の内容をまとめることができる。</li> <li>4. PubMedを用い、必要な医学論文を検索し取得できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	5限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	データサイエンスの役割		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会とデータサイエンスの結びつきを理解し説明できる。</li> <li>2. データの種類や性質について説明できる。</li> <li>3. データサイエンス利活用の実例を示すことができる。</li> <li>4. 医学におけるデータサイエンスの必要性を説明できる。</li> </ol> 準備：自分の身の回りで、AIが使われていると思われるものを3つ挙げられるように考えておく。 （予習時間：30分、復習時間：60分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	プレゼンテーション1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プレゼンテーション資料作成の要点を述べることができる。</li> <li>2. プレゼンテーション作成ソフトの基本操作ができる。</li> <li>3. 簡単なプレゼンテーション資料を作成することができる。</li> <li>4. マルチメディア資料を使ったプレゼンテーション資料を作成することができる。</li> <li>5. プレゼンテーションすることができる。</li> <li>6. 文書資料とプレゼンテーション資料の相違を述べることができる。</li> <li>7. 特定のテーマに合ったプレゼンテーション資料を作成できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間60分）		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	3限

講義室	MM教室			
担当者	水谷・是村・竹内			
テーマ	他已評価			
授業内容	1. 課題について適切な評価を行える。 2. 課題の趣旨を理解し、互いに意見を交わすことができる。 (予習時間30分、復習時間60分)			
8	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	表計算処理1		
	授業内容	1. ワークシートに色々なデータを入力できる。 2. データ集計することができる。 3. ワークシート関数を用い計算することができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	プレゼンテーション2		
	授業内容	1. 積極的に自ら前に立ち、聴衆に対して自分の考えをプレゼンテーションできる。 2. 積極的に挙手し、プレゼンテーションに対し質問・意見・感想を述べるができる。 3. 聴衆からの質問・意見・感想に対し適切に対応できる。 4. 教員からの質問・意見・感想に対し適切に対応できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	5限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	表計算処理2		
	授業内容	1. ワークシートで作表、グラフを作成することができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	文書処理		
	授業内容	1. 読みやすい文書を作成することができる。 2. 効率良く文書を作成することができる。 3. 表や、図を使って文書を作成することができる。 4. 文書にオブジェクトを利用した多彩な文章を作ることができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	関数電卓を使用した基本的な計算		
	授業内容			

1. 関数電卓を用いて四則演算ができる。
  2. 関数電卓を用いて関数計算ができる。
  3. 関数電卓を用いて指数計算ができる。
  4. 関数電卓を用いて対数計算ができる。
  5. 関数電卓を用いて統計計算モードを用いて表を作成できる。
  6. 関数電卓の統計計算モードを用いて総和を求めることができる。
  7. 関数電卓の統計計算モードを用いて標本数を求めることができる。
  8. 関数電卓の統計計算モードを用いて平均を求めることができる。
  9. 関数電卓の統計計算モードを用いて標準偏差を求めることができる。
  10. 関数電卓の統計計算モードを用いて最大値・最小値を求めることができる。
  11. 関数電卓の統計計算モードを用いて回帰演算をすることができる。
- (予習時間30分、復習時間60分)

14	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村		
	テーマ	コンピュータの仕組み		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電子計算機について説明できる。</li> <li>2. ハードウェアシステムについて説明できる。</li> <li>3. ソフトウェアシステムについて説明できる。</li> <li>4. プログラムの実行形式について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間60分)		
16	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
17	年月日(曜日)	令和 8年01月15日(木)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村		
	テーマ	ネットワークの仕組み		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ネットワークの構成について説明できる。</li> <li>2. 通信プロトコルについて説明できる。</li> <li>3. ネットワークセキュリティについて説明できる。</li> <li>4. 病院情報システム・医療情報システムについて説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間60分)		
18	年月日(曜日)	令和 8年01月15日(木)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
19	年月日(曜日)	令和 8年01月20日(火)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	ネットリテラシー・データサイエンスと情報倫理		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ネットリテラシーとは何か説明できる。</li> <li>2. ネットリテラシーについて事例をあげ、自分の考えを述べることができる。</li> <li>3. 個人情報保護・情報の秘匿・暗号について説明できる。</li> <li>4. データの利活用に関するルールを守ることができる。</li> <li>5. 情報漏洩の危険性を説明できる。</li> <li>6. 情報を適切に管理する方法を説明できる。</li> <li>7. インターネットを利用する際にマナーを守ることができる。</li> </ol> 準備：インターネットを使うときに注意しないといけないことを3つ挙げられるように考えておく。 (予習時間30分、復習時間60分)		

20	年月日(曜日)	令和 8年01月20日(火)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
21	年月日(曜日)	令和 8年01月21日(水)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	統計処理		
	授業内容	1. 統計とは何か説明できる。 2. 統計の種類について説明できる。 3. ワークシート上で統計計算ができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
22	年月日(曜日)	令和 8年01月21日(水)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村・竹内		
	テーマ	政府統計(e-Stat)が公表している実データの利用		
	授業内容	1. 国が公表している統計データを取得できる。 2. 取得した統計データを加工・解析・可視化できる。 3. 統計データからわかることを他者に伝達できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
23	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	水谷・是村		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. マルチメディア教室で与えられた課題について、適切なアプリケーションソフトを用いて処理することができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		

評価方法	以下を合わせて評価する。 1. 各情報処理法の演習課題 2. 小テスト 3. 授業態度 4. 定期試験
教科書	1. 臨床検査学講座 情報科学、松戸隆之著、医歯薬出版 2. 医療系のための情報リテラシー：Windows 11・Office 2021対応 第2版、川上準子編、共立出版 3. プリント配布
参考書	1. 情報リテラシー入門、中川祐治ほか著、日経BP 2. データサイエンス体系 データサイエンス入門 第2版 編/竹村彰通他 学術図書出版社 3. 教養としてのデータサイエンス、内田誠一・川崎能典ほか、講談社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 下記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。  【水谷 諭史】 金曜 (12:00 - 13:00) Email: mizutani@saitama-med.ac.jp  【是村 利幸】 火曜・金曜の昼休み (12:00 - 13:00) E-mail: kore@saitama-med.ac.jp  【竹内 慶太】 火曜・金曜の昼休み (12:00 - 13:00) E-mail: k_take@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	実習内で関数電卓を使用する。必ず持参すること。 まずは自分の関数電卓やPCを使えるようになることが重要である。自分のノートPCを持っている場合は実習に自分のPCを持参のこと。 知識の学習と情報処理技術を体得する授業である。関数電卓の操作およびコンピュータの操作を身につけるには、授業時間以外の練習が必要である。 提出期限は厳守すること。また再提出が課された場合も期限内に提出すること。 授業内容を理解する上での予習と、授業によって身につけた技術を忘れないためにも授業終了後も継続してコンピュータを使うように心掛けること。

自分の考えを他者に伝えるツールとして、他科目でのレポート作成や論文作成等にも関数電卓やコンピュータを十分に活用すること。